



取扱説明書

ATDM-1012

デジタルスマートミキサー

ATDM-1012DAN

デジタルスマートミキサー（Dante搭載）

はじめに

お買い上げありがとうございます。

ご使用前にクイックスタートガイドを必ずお読みのうえ、必要に応じてこの取扱説明書を参照して正しくご使用ください。

同梱品の確認

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。

万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、当社プロフェッショナルSS課までご連絡ください。

- ATDM-1012 / ATDM-1012DAN 本体
- ユーロブロックコネクター ×22
- 電源ケーブル
- クイックスタートガイド

商標について

- SMARTMIXER™ は株式会社オーディオテクニカの商標または登録商標です。
- Apple、Apple ロゴは米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Google ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Android™ は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。



警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。



注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本製品について

警告

- 付属の電源ケーブル以外使用しない
電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- 火気に近付けない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない
火災の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- 水をかけない／水滴や水しぶきのかかる場所に置かない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- じゅうたんや布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

注意

- すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができる場所に置く
電源ボタンを切っても、コンセントからは完全に遮断されていません。故障、不具合の原因になります。
- 不安定な場所に置かない
本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。
- 換気の良い場所に置く
本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほごりの多い場所に置かない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。
- 本製品の上に物（花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など）を置かない
万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

安全上の注意

電源ケーブルについて

警告

- 表示している電源電圧以外で使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品以外には使用しない
電流容量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- ケーブルは釘などで固定しない、束ねたまま使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
- ケーブルを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
- ケーブルの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- 布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
長い間掃除をしないと、火災など事故の原因になります。
- すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにする
電源ボタンを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜く
火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。また、省エネルギーにご配慮ください。
- 足に引っ掛かりやすい場所にケーブルを引き回さない
故障や事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ケーブルの抜き差しは、本製品の電源を切ってから行ってください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。

お手入れ

- 汚れたときやほこりが付いたときは電源ケーブルを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ペンジン、シンナー、接点復活保護剤など、薬品は使用しないでください。変形、破損、故障の原因になります。
- 長い間保存するときには、本製品をビニールなどで包み、湿気を帯びないようにしてください。

特長

ATDM-1012 / ATDM-1012DANの特長

- 8サブ入力系統を含む22入力×12バスのフルマトリクスミキサーを搭載
- ディスクリートアンプによる高音質マイクプリを実装した10マイク/ライン入力(CH7/8、9/10はステレオリンク可)
- マイク入力には最大2つのマイクロホンアレイ(別売)が対応可能
対応機種:ハンギングマイクロホンアレイ ES954 / バウンダリーマイクロホンアレイ ES964
- BTL回路による8バランス出力
- マイクレベルで出力可能な2アンバランスステレオ出力
- USB オーディオ入出力(1ステレオ入力、1ステレオ出力)
- ゲインシェアリング、ゲートモードのいずれかを選択可能な独立した4グループのSmartMixer 搭載
- 同時使用が可能なエコーキャンセラー(最大10マイク入力)とノイズキャンセラーを搭載
- 各入力系統に4バンドEQ(サブ入力はLow Cutのみ)、各出力系統に12バンドのEQを搭載
- 各入出力系統にインサーション可能なコンプレッサー/ディエッサーを10基、8バンドのフィードバックサブレッサーを8基搭載
- 2アンバランスステレオ入力にDucker 機能を搭載
- 各出力系統にリミッターを搭載
- 各出力系統の音声チェックに便利なオシレーター機能を搭載
- 音声入出力の設定はフロントパネルから行うことができ、詳細設定はウェブリモートを使いパソコンから設定可能
- IP Remote Protocolによる外部からの制御が可能
- Dante 搭載モデル(ATDM-1012DAN)をラインナップ

Audio-Technica LINKについて

本製品は、最大8台のATDM-1012をデジチェーン接続し、システム全体で最大80マイク/ライン入力、16アンバランスステレオ入力の音声入力に対応可能です。機器間の音声バス信号の伝送に、独自フォーマット「Audio-Technica LINK」を採用し、低レイテンシーの高速信号伝送により、安定した制御と非圧縮音声信号の伝達を可能としています。また、イーサネット規格に準拠し、汎用的なLANケーブル(Cat5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを必ず使用)による接続が可能のため、高い施工性を実現しています。

システムの設置について

ラックに設置する

- 本製品をラックに設置する場合は、ラック内の温度が40℃以上にならないようにしてください。内部に悪影響を与え、故障の原因となります。
- ほかの機器やラックとの隙間は、天面、側面、背面に各10cm以上確保してください。
- ラックの仕様要件は以下のとおりです。
 - EIA規格の19インチラック
 - 1Uサイズ取り付け対応のラック
 - 本製品を支えるガイドレールや本製品を載せる棚板があるラック

システムの設置について

アンバランス(不平衡)接続について

シャーシ電位の違いによる誘導ノイズを受けやすくなるため、各機器間のシャーシ電位を合わせて使用してください。

- 各機器間の電源位相を合わせてください。
- 電源系統を統一してください。
- 各機器のGND(グラウンド)端子またはシャーシを接続してください。

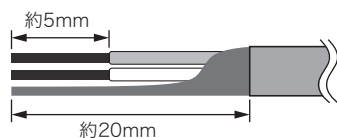
電源ケーブルの接続について

- 電源プラグを保護接地されている適切なコンセントに接続してください。確実に接地しないと、感電の原因になります。

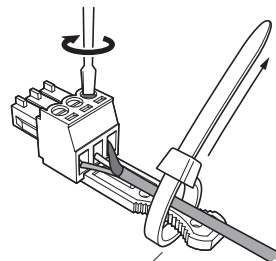
ユーロブロックコネクターの接続のしかた

1. ケーブルを図のようにむき出して配線します。

・より線ははんだ処理しないでください。

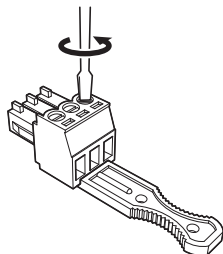


4. ねじを締め、結束バンドでケーブルをまとめます。

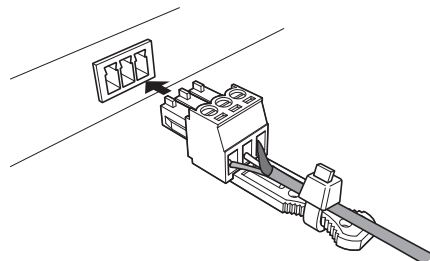


結束バンドは市販品をご使用ください。

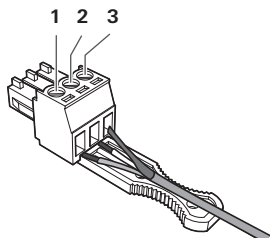
2. マイナスドライバーで、ねじを緩めます。



5. ユーロブロックコネクターを本製品に接続します。



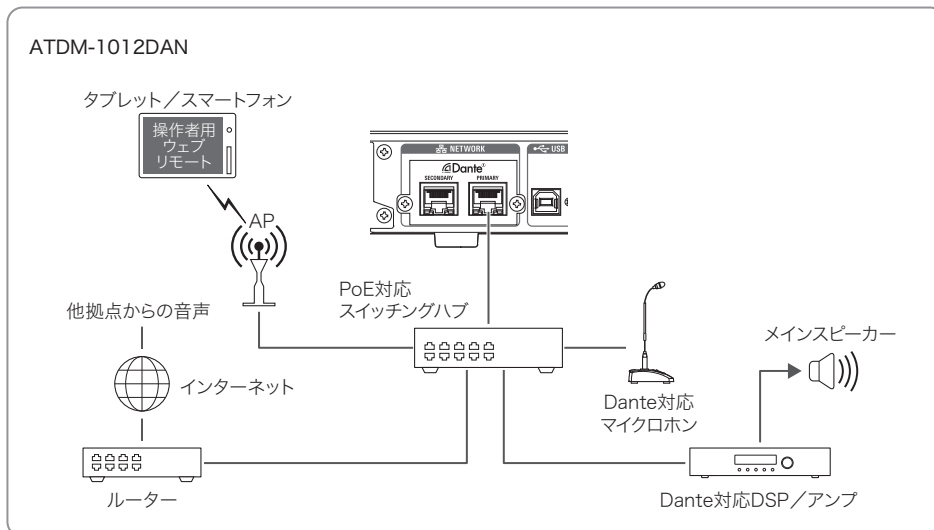
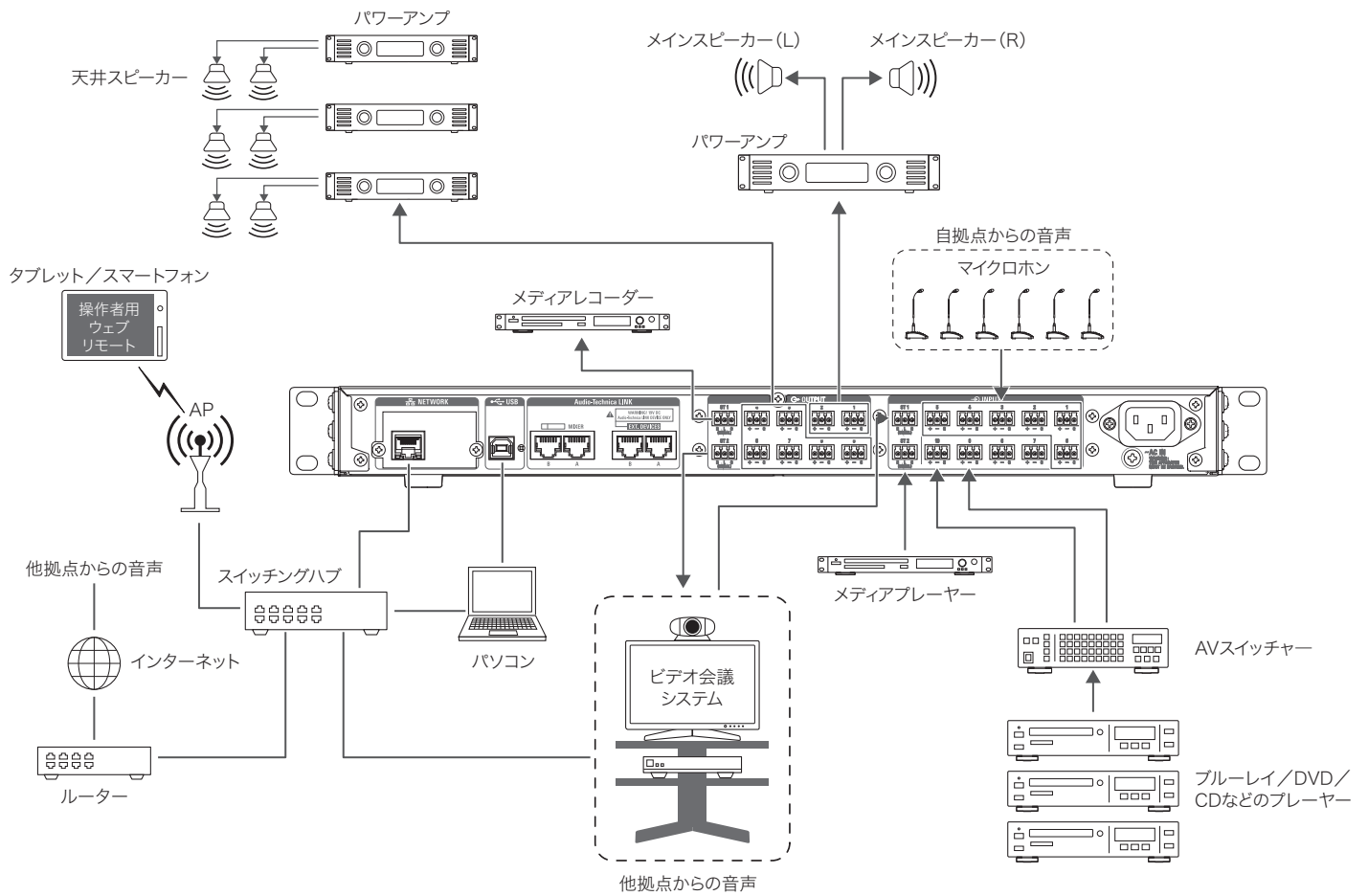
3. ピンアサインを確認し、それぞれケーブルを接続します。



ピンアサインについて

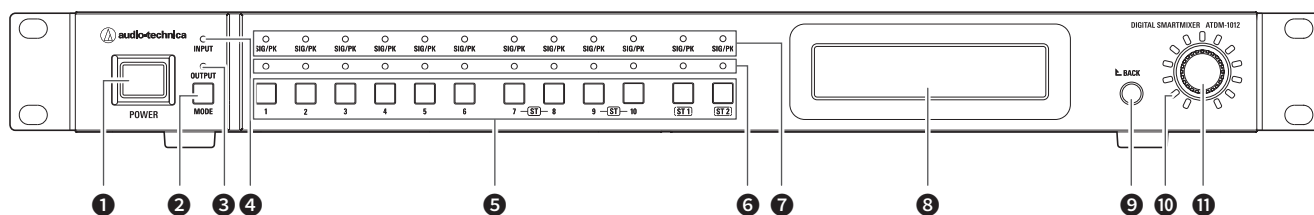
		1	2	3
INPUT	1~10	+: HOT	-: COLD	G: GND
	ST1, ST2	R: RIGHT	L: LEFT	G: GND
OUTPUT	1~8	+: HOT	-: COLD	G: GND
	ST1, ST2	R: RIGHT	L: LEFT	G: GND

システム接続例



各部の名称と機能

フロントパネル



- ① 電源ボタン
本製品の電源をON / OFFします。
- ② MODEボタン
入力 / サブ入力 / 出力チャンネルモードを切り換えます。
- ③ OUTPUT LED
出力チャンネルモードのときにLEDが赤点灯します。
- ④ INPUT LED
入力チャンネルモードのときにLEDが赤点灯します。
サブ入力チャンネルモードのときはLEDが赤点滅します。
- ⑤ チャンネル選択ボタン
入力 / 出力チャンネルやプリセット番号を選択します。
- ⑥ チャンネル選択LED
入力 / 出力チャンネルやプリセット番号の選択状態を表示します。
- ⑦ SIG/PK LED
入力信号のレベルを表します。
- ⑧ ディスプレイ
ディスプレイ
- ⑨ BACKボタン
1段階前 / 1階層上へ戻ります。
- ⑩ ボリュームLED
レベルまたはゲイン調整時、選択されたチャンネルの現在の設定値を表します。
- ⑪ ダイヤルボタン
ダイヤルボタンを回して選択し、押して決定します。

• LEDの状態には、5種類の動作があります。

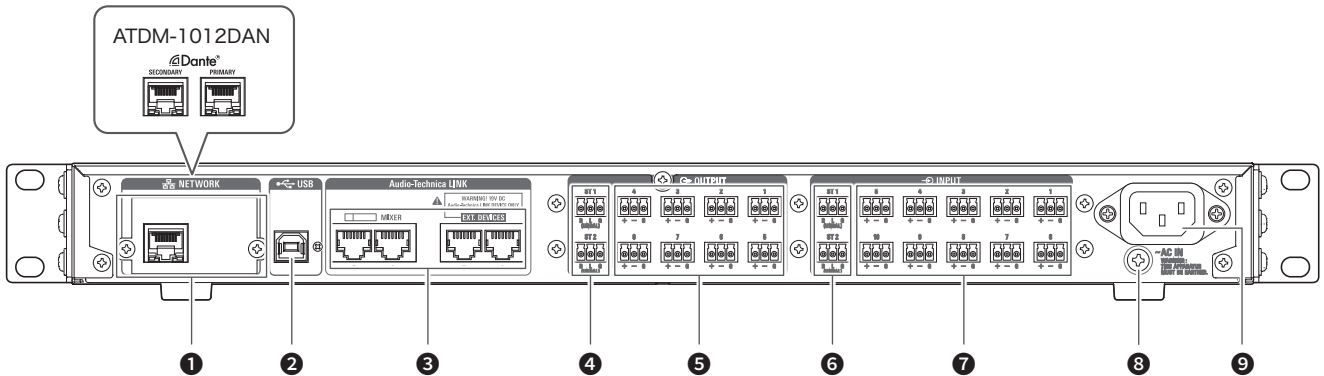
- (1) 点灯: 選択されていること、機能がONになっていることなどを表します。
- (2) 消灯: 選択されていないこと、機能がOFFになっていることなどを表します。
- (3) 点滅: 選択中などを表します。500ms周期でステータスが変わるまで繰り返します。
- (4) 速い点滅: 操作の拒否を表します。200ms周期で3回点滅を繰り返します。
- (5) デイマール点灯: 輝度を落として点灯します。

• SIG/PK LEDの点灯色と信号レベルの範囲は以下のとおりです。

- LED点灯(赤): 0dBFS ~ -5dBFS
- LED点灯(黄): -6dBFS ~ -24dBFS
- LED点灯(緑): -25dBFS ~ -59dBFS
- LED消灯: -60dBFS以下

各部の名称と機能

リアパネル



① ネットワーク端子 / Dante ネットワーク端子 (ATDM-1012DAN)

- NETWORK 端子です。LANケーブル (CAT5e 以上) を接続します。ローカルエリアネットワークに接続し、ウェブリモートやIPコントロールによる外部制御を行う場合に接続します。
- Dante ネットワーク端子の場合は、Dante オーディオネットワークへの接続およびウェブリモート・IPコントロールによる外部制御を行う場合に接続します。
- PRIMARY 端子、SECONDARY 端子は端子モード設定により以下の表のようになります。

モード	接続機器	
	PRIMARY	SECONDARY
Switched (デフォルト)	Dante ネットワーク ウェブリモート / 外部制御	Dante ネットワーク ウェブリモート / 外部制御
Redundant	Dante ネットワーク (Primary) ウェブリモート / 外部制御	Dante ネットワーク (Secondary)
Split	ウェブリモート / 外部制御	Dante ネットワーク

② USB 端子

USB 端子 (USB Type-B) です。USBケーブル (フェライトコア付き) を接続します。

③ Audio-Technica LINK A / B / C / D 端子

LINK A / B / C / D 端子です。Audio-Technica LINK で使用します。LANケーブル (CAT5e 以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを必ず使用) を接続します。

④ アンバランス出力端子 (ST1、ST2)

アンバランス出力端子です。アンバランスケーブルを接続します。
ピンアサインは、R: STEREO R、L: STEREO L、G: GNDです。

⑤ バランス出力端子 (1~8)

バランス出力端子です。バランスケーブルを接続します。
ピンアサインは、+: HOT、 -: COLD、G: GNDです。

⑥ アンバランス入力端子 (ST1、ST2)

アンバランス入力端子です。アンバランスケーブルを接続します。
ピンアサインは、R: STEREO R、L: STEREO L、G: GNDです。

⑦ バランス入力端子 (1~10)

バランス入力端子です。バランスケーブルを接続します。
ピンアサインは、+: HOT、 -: COLD、G: GNDです。

⑧ アース用ねじ

付属の電源ケーブルは2芯プラグのため、電源ケーブルではアース接続されません。必要に応じてアース接続を行ってください。

⑨ ACインレット

電源ケーブルを接続します。

DANTE について(ATDM-1012DANのみ)

ATDM-1012DANはDante ネットワークオーディオに対応しています。

ATDM-1012DANの音声をDante 機器へ出力もしくはDante 機器からの音声をATDM-1012DANに入力することが可能です。

Dante ネットワークオーディオについて詳しくは、audinate ホームページ(www.audinate.com)を参照してください。

ネットワーク端子モードの設定

ATDM-1012DAN 本体から設定する

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Set」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「System Setting」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、「IP Setting」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. ダイヤルボタンを回して、「IP Port Set.」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
5. ダイヤルボタンを回して、「IP Config Mode」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
6. ダイヤルボタンを回して、「Auto」/「Static」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
7. 電源ボタンを押して、本製品を再起動します。

Web Remote から設定する

「ネットワーク(システム設定) (P.48)」を参照してください。

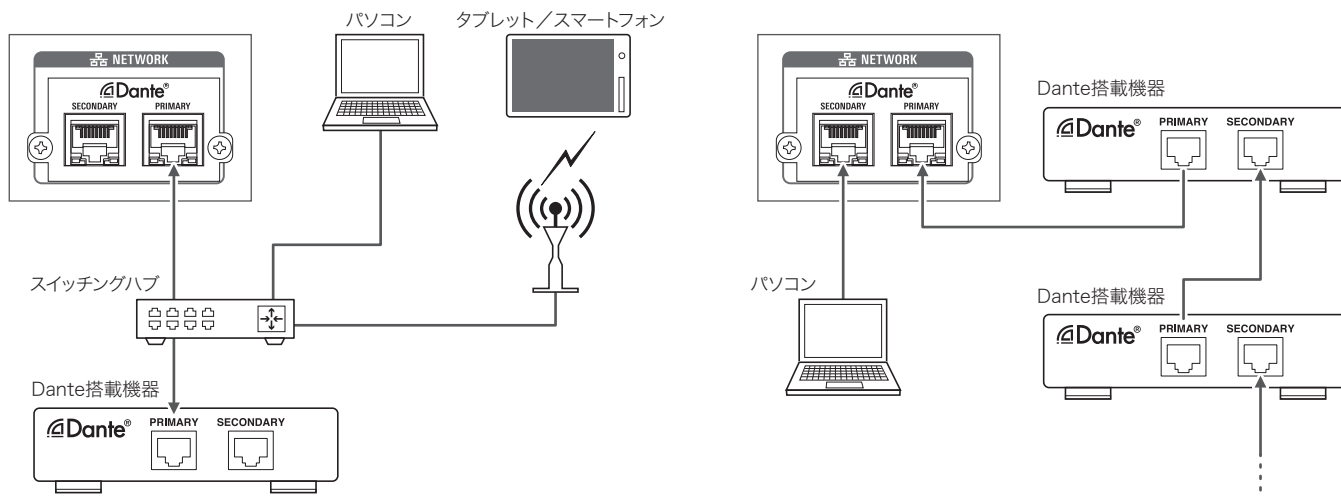
- Dante Controller (audinate 提供のアプリケーション) から設定変更可能です。Dante Controller については audinate ホームページ (www.audinate.com) を参照してください。

DANTE について(ATDM-1012DANのみ)

各モードにおける接続

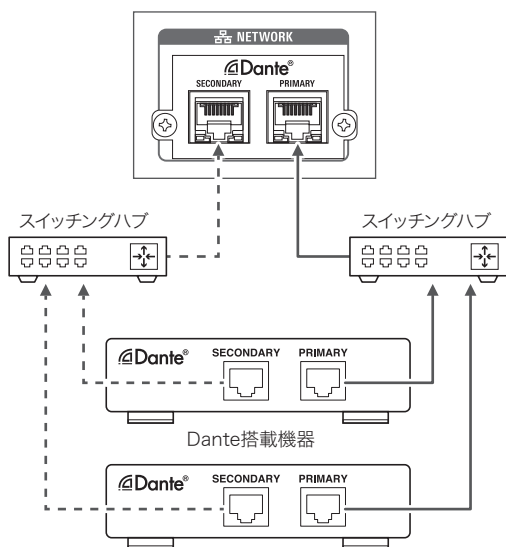
Switched(Default 設定)

- Dante ネットワークに使用するスイッチングハブはギガビット対応のものである必要があります。使用するスイッチングハブの要求仕様は audinate のページなどを参照してください。
- PRIMARY もしくは SECONDARY 端子のどちらか一方に Dante オーディオおよび ATDM-1012DAN の外部制御を接続します。図のように ATDM-1012DAN の Dante ネットワーク端子へ直接パソコン、Dante 機器を接続することも可能です。



Redundant Audio

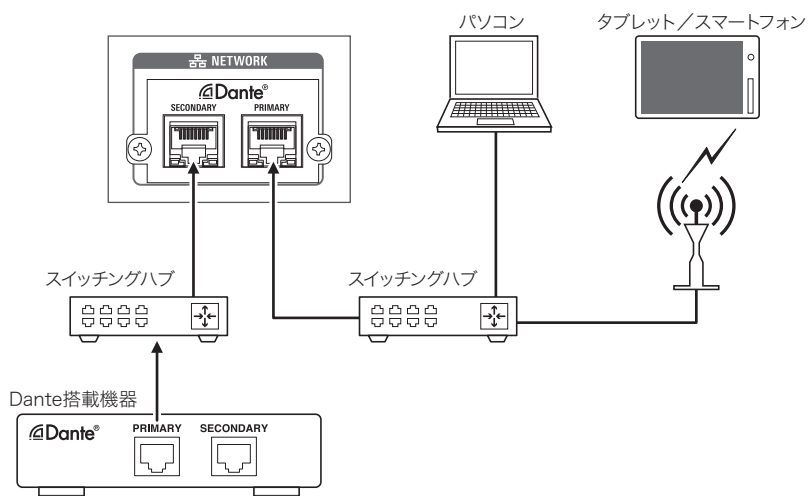
Redundant Audio モードでは PRIMARY と SECONDARY でそれぞれ独立したネットワークが必要です。何らかの理由で Dante PRIMARY 側のネットワークで異常が起きた際には、自動的に SECONDARY ネットワークの Dante オーディオに切り替わります。



DANTE について(ATDM-1012DANのみ)

Split

SplitモードではPRIMARYとSECONDARYでそれぞれ独立したネットワークが必要です。PRIMARYはATDM-1012DAN外部制御端子、SECONDARYはDanteオーディオ端子となります。



Dante チャンネルリスト

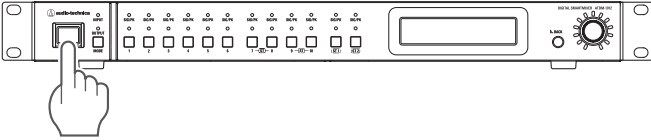
No	Dante 送信チャンネル	Dante 受信チャンネル
1	BUS1	IN1
2	BUS2	IN2
3	BUS3	IN3
4	BUS4	IN4
5	BUS5	IN5
6	BUS6	IN6
7	BUS7	IN7
8	BUS8	IN8
9	BUS9	IN9
10	BUS10	IN10
11	BUS11	IN11
12	BUS12	IN12
13	Direct Output1	IN13
14	Direct Output2	IN14
15	Direct Output3	IN15
16	Direct Output4	IN16
17	Direct Output5	-
18	Direct Output6	-
19	Direct Output7	-
20	Direct Output8	-
21	Direct Output9	-
22	Direct Output10	-

本製品の基本操作

本製品を起動する

1. 電源ボタンを押します。

- 工場出荷時は、アドミニストレーターモードで起動します。



画面の見かた

アドミニストレーターモード



オペレーターモード



- ① オーディオ設定メニュー
- ② プリセット設定メニュー
- ③ システム設定メニュー
- ④ 入出力チャンネルレベル調整メニュー

文字入力のしかた

テキストを入力するには下記の手順に従ってください。

1. ダイヤルを回して入力する文字を選択します。

- 入力できる文字は下記のとおりです。

Password	A~Z, a~z, 1~9, 0
Device Name	A~Z, a~z, 1~9, 0, ! # \$ ' () * + , - . : ; < = > ? @ ` \ , (スペース)
Filename Prefix	A~Z, a~z, 1~9, 0, ! # \$ ' () + , - . : ; = ? @ ` \ , (スペース)

2. ダイヤルボタンを押して文字を確定します。

- カーソルが次のセルに移動します。

3. 手順1、2 を繰り返してテキストを入力します。

- 入力済みの文字を編集する場合は、下記の手順に従ってください。

- カーソルを編集したい文字に移動する場合:

- BACK ボタンを押しながらダイヤルボタンを回してカーソルを移動します。
- BACK ボタンを離します。

- 入力済みの文字を削除する場合:

- 削除したい文字にカーソルを移動する。
- BACK ボタンを押しながらダイヤルボタンを押します。

- カーソルの場所の文字が削除されます。

- カーソルがテキスト末尾にあり、“_”の点滅状態の場合は、カーソルの1つ前の文字が削除されます。

- 編集を終了する場合:

- カーソルが“■”の点滅状態の時に、コントロールボタンを押します。
 - 編集を終了して、カーソルがテキスト末尾に移動し、“_”の点滅状態になります。

4. カーソルが“_”の点滅状態のときに、コントロールボタンを押して、テキストを確定します。

- 「Completed!」が表示されたあと、テキストが反映されます。

本製品の基本操作

フロントパネルモードについて

本製品では、フロントパネルのボタンやダイヤルを使用して操作する場合に、以下の2つのモードを用意しています。

オペレーターモード：

プリセット設定の読み込みや音声レベルの調整など日々の運用を行うモード

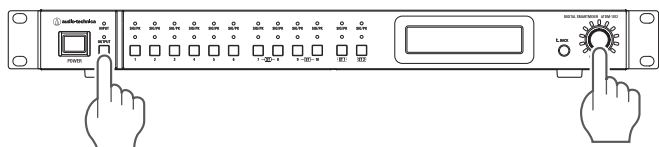
アドミニストレーターモード：

本製品を現場へ設置・導入し、詳細な設定を行うモード

フロントパネルモードを切り替える (オペレーターモード / アドミニストレーターモード)

1. MODE ボタンを押しながら、ダイヤルボタンを長押し(1秒以上)します。
 - ・ 押すたびにフロントパネルモードが切り替わります。

オペレーターモード	「Lvl」と表示されます。
アドミニストレーターモード	「Aud」と表示されます。



フロントパネルをロックする

フロントパネルの操作ができないようにロックをかけることができます。

1. ダイヤルボタンとBACK ボタンを長押し(1秒以上)します。
 - ・ フロントパネルがロックされます。もう一度同じ操作をすると、ロックが解除されます。

オペレーターモードでできること

入出力レベルを調整する

入出力チャンネルごとに入力／出力レベルを調整します。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Lvl」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、調整したい入力／出力チャンネルを選択し、ダイヤルボタンを押します。
 - ・チャンネル選択ボタンで調整したい入力／出力チャンネルを選択することもできます。
3. ダイヤルボタンを回して、「Level」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. ダイヤルボタンを回して、入力／出力レベルを調整します。
 - ・調整操作に従ってボリュームLEDが点灯／消灯します。

ミュートを設定する

入出力チャンネルごとにミュートの設定をします。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Lvl」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、設定したい入力／出力チャンネルを選択し、ダイヤルボタンを押します。
 - ・チャンネル選択ボタンで調整したい入力／出力チャンネルを選択することもできます。
3. ダイヤルボタンを回して、「Mute」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. ダイヤルボタンを回して、ミュートのON／OFFを設定します。

プリセットを呼び出す

保存されているプリセットデータを呼び出して、現在の設定を変更します。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Pst」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「Recall Presets」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. 呼び出したいプリセットを選択し、ダイヤルボタンを押します。
 - ・チャンネル選択ボタンでプリセットを選択することもできます。
4. ダイヤルボタンを押します。
 - ・プリセットデータが読み込まれて、設定が変更されます。

本製品の設定状況を確認する

オペレーターモードのとき、本製品の設定状態を確認することができます。設定を変更する場合は、アドミニストレーターモードで行ってください。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Set」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「System Info」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. 各項目を選択し、ダイヤルボタンを押します。

Device Name	本製品の名称が表示されます。
Device ID	本製品の識別番号を表示します。
Serial Number	シリアル番号が表示されます。
FW Version	ファームウェアバージョンが表示されます。
IP Config Mode	IPアドレスの取得方法の設定状態が表示されます。
IP Address	IPアドレスが表示されます。
Subnet Mask	サブネット・マスクが表示されます。
Gateway Address	ゲートウェイ・アドレスが表示されます。
Mac Address	Macアドレスが表示されます。
Dante*	Danteに関する情報が表示されます。
Allow Discovery	“Locate”からの自動検出の設定状態が表示されます。
IP Ctrl Port No	IPコントロールポートの番号が表示されます。
IP Ctrl Ntfy	IPコントロール時に、デバイスからの通知を受け取るかどうかの設定状態が表示されます。
Audio Level Ntfy	IPコントロール時に、デバイスから音声レベルの通知を受け取るかどうかの設定状態が表示されます。
M-cast Adrs	マルチキャストのアドレスが表示されます。
M-cast Port No	マルチキャストのポート番号が表示されます。
NTP	NTP(ネットワークタイムプロトコル)の設定状態が表示されます。
NTP Adrs	NTPのサーバーアドレスが表示されます。
NTP Port	NTPのポート番号が表示されます。
Time Zone	UTC(協定世界時)の時差が表示されます。
LINK Status	Audio-Technica LINKモードの使用状況が表示されます。
LINK Mode	Audio-Technica LINKモードでの本製品が親機か子機かが表示されます。
No.ofExtension A	子機の接続台数が表示されます。
No.ofExtension B	子機の接続台数が表示されます。
No.ofExtension C	子機の接続台数が表示されます。
No.ofExtension D	子機の接続台数が表示されます。

* ATDM-1012DANのみ表示されます。

アドミニストレーターモードでできること

オーディオメニュー (Aud)

チャンネル設定 (Channel Setting)

各チャンネルのパラメーターを設定します。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Aud」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「Channel Setting」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、調整したいチャンネルを選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. ダイヤルボタンを回して、機能を選択し、ダイヤルボタンを押します。
5. ダイヤルボタンを回して、各機能のパラメーターを設定します。

・設定できる機能は以下のとおりです。

Source	ソースを設定します。
Unity	ユニティレベルを設定します。
Gain* ¹	ゲインを調整します。
Phantom* ¹	ファントム電源のON/OFFを設定します。
Phase* ¹	入力音声の位相を反転します。
Low Cut* ¹	入力音声の低域をカットするかを設定します。
FBS* ¹ * ² * ³	FBSのON/OFFを設定します。
EQ	EQのON/OFFを設定します。
Comp Insrt* ³ * ⁴	コンプレッサーをフェーダーの前から取るか(プリフェーダー)、後ろから取るか(ポストフェーダー)を設定します。
Comp* ⁴	コンプレッサー/ディエッサーのON/OFFを設定します。
SM Group* ⁵	Smart Mixグループを設定します。
SM Enable* ⁵	Smart MixのON/OFFを設定します。
Priority* ⁶	チャンネルの優先権を設定します。
AEC	AECのON/OFFを設定します。
Level	入出力レベルを設定します。
Mute	ミュートのON/OFFを設定します。
Limiter* ³ * ⁷	LimiterのON/OFFを設定します。

*¹ 入力チャンネルが選択されているときに表示されます。

*² FBSモジュールが割り当てられているときに表示されます。

*³ 出力チャンネルが選択されているときに表示されます。

*⁴ コンプレッサーモジュールが割り当てられているときに表示されます。

*⁵ Smart MixモードがONのときに表示されます。

*⁶ Smart MixモードがONで、ゲートモードに設定されているときに表示されます。

*⁷ Limiterモジュールが割り当てられているときに表示されます。

マトリックスアサイン (Matrix Assign)

入力チャンネルをどのバスへ送るか、またはバスに対してどの入力チャンネルを引き込むかを設定します。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Aud」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「Matrix Assign」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、「Input → Bus」/「Bus → Input」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. ダイヤルボタンを回して、入出力チャンネルを選択します。
5. チャンネル選択ボタンを押して、アサイン先を設定します。
・「○」(白丸)はPre Smart Mix、「●」(黒丸)はPost Smart Mixを表します。

USB出力を設定する (USB Out Setting)

USB出力のバス選択と、送信レベルの設定を行います。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Aud」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「USB OUT Setting」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、「OUT1」/「OUT2」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. ダイヤルボタンを回して、バスを選択します。
5. BACKボタンを押して、カーソルを1つ前に戻し、ダイヤルボタンを回して「Level」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
6. ダイヤルボタンを回して、送信レベルを設定します。

AECを設定する (AEC Setting)

AEC(アコースティックエコーキャンセラー)を設定します。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Aud」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「AEC Setting」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、「Off」/「AEC」/「NC」を選択します。

アドミニストレーターモードでできること

オシレーターの設定を行う(Oscillator)

本製品は出力チャンネルにオシレーター機能を搭載しています。施工時やメンテナンス時の音声チェックに便利な機能です。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Aud」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「Oscillator」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、「Output」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. ダイヤルボタンを回して、オシレーター機能の「On」/「Off」を設定します。
5. BACK ボタンを押して、カーソルを1つ前に戻し、ダイヤルボタンを回して「Wave」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
6. ダイヤルボタンを回して、出力波形を設定します。
7. BACK ボタンを押して、カーソルを1つ前に戻し、ダイヤルボタンを回して「Level」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
8. ダイヤルボタンを回して、出力レベルを設定します。
9. BACK ボタンを押して、カーソルを1つ前に戻し、ダイヤルボタンを回して「OUT」を選択します。
10. チャンネル選択ボタンを押して、出力先のチャンネルを設定します。
 - ・ 設定されたチャンネルに「√」が表示されます。

プリセットメニュー(Pst)

プリセットを呼び出す(Recall Presets)

保存されているプリセットデータを呼び出して、現在の設定を変更します。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Pst」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「Recall Presets」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、呼び出したいプリセットデータ(Preset 1~Preset 8)を選択し、ダイヤルボタンを押します。
 - ・ チャンネル選択ボタンでプリセットを選択することもできます。
4. ダイヤルボタンを押します。
 - ・ プリセットデータが読み込まれて、設定が変更されます。

プリセットを保存する(Save Presets)

現在の設定をプリセットに保存します。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Pst」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「Save Presets」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して保存先(Preset 1~Preset 8)を選択し、ダイヤルボタンを押します。
 - ・ チャンネル選択ボタンでプリセットを選択することもできます。
4. ダイヤルボタンを押します。
 - ・ プリセットデータが指定した保存先に保存されます。

起動時プリセットを設定する(BootUp Presets)

本製品を起動したときに呼び出すプリセットを指定します。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Pst」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「BootUp Presets」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、「On」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. 指定したいプリセット(Preset 1~Preset 8)を選択し、ダイヤルボタンを押します。
 - ・ チャンネル選択ボタンでプリセットを選択することもできます。

設定メニュー(Set)

システムに関する設定を行う(System Setting)

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Set」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「System Setting」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. ダイヤルボタンを回して、設定したい項目を選択し、ダイヤルボタンを押します。
4. 各項目を設定します。
 - ・ 設定できる機能は以下のとおりです。

Device Name	本製品の名前を設定します。
Device ID	本製品に固有のIDを設定します。
LINK Mode	Audio-Technica LINK 時の動作モードを設定します。
Panel Err Notice	本製品のディスプレイにエラーコードを表示するかを設定します。
Panel Mode	フロントパネルモードを設定します。
Network Config* ¹	Config Mode : 環境に合わせてネットワークコンフィグレーションモードを設定します。 Latency : Dante ポートのレイテンシーを設定します。
IP Setting	IP Port Set. : IP アドレス取得方法を設定します (Auto ⇄ Static)。 Dante Port Set. : Dante ポートの IP アドレス取得方法を設定します (Auto ⇄ Static)。 ^{*1}
Allow Discovery	アプリケーション「Locate」からの自動検出の設定をします。
IP Ctrl Setting	IP Ctrl Port No. : IP コントロールポートの番号を表示します。 IP Ctrl Ntfy : IP コントロール時にデバイスからの通知を受け取る設定をします。 Audio Level Ntfy : IP コントロール時にデバイスから音声レベルの通知を受け取る設定をします。 ^{*2} M-cast Adrs : マルチキャストのアドレスを設定します。 ^{*2} M-cast Port No. : マルチキャストのポート番号を設定します。 ^{*2}
NTP Setting	NTP(ネットワークタイムプロトコル)の設定を有効にするかを設定します。
Reset All Dflt.	本製品を工場出荷時の設定に戻します(ファームウェアは現在のバージョンのままです)。

* 1 ATDM-1012DANのみ表示されます。

* 2 「IP Ctrl Ntfy」を「On」に設定したときに表示されます。

アドミニストレーターモードでできること

システム情報を確認する(System Info)

本製品の設定状態を確認することができます。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Set」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「System Info」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. 各項目を選択し、ダイヤルボタンを押します。

Device Name	本製品の名称が表示されます。
Device ID	本製品の識別番号を表示します。
Serial Number	シリアル番号が表示されます。
FW Version	ファームウェアバージョンが表示されます。
IP Config Mode	IPアドレスの取得方法の設定状態が表示されます。
IP Address	IPアドレスが表示されます。
Subnet Mask	サブネット・マスクが表示されます。
Gateway Address	ゲートウェイ・アドレスが表示されます。
Mac Address	Macアドレスが表示されます。
Dante*	Danteに関する情報が表示されます。
Allow Discovery	“Locate”からの自動検出の設定状態が表示されます。
IP Ctrl Port No	IPコントロールポートの番号が表示されます。
IP Ctrl Ntfy	IPコントロール時に、デバイスからの通知を受け取るかどうかの設定状態が表示されます。
Audio Level Ntfy	IPコントロール時に、デバイスから音声レベルの通知を受け取るかどうかの設定状態が表示されます。
M-cast Adrs	マルチキャストのアドレスが表示されます。
M-cast Port No	マルチキャストのポート番号が表示されます。
NTP	NTP(ネットワークタイムプロトコル)の設定状態が表示されます。
NTP Adrs	NTPのサーバーアドレスが表示されます。
NTP Port	NTPのポート番号が表示されます。
Time Zone	UTC(協定世界時)の時差が表示されます。
LINK Status	Audio-Technica LINKモードの使用状況が表示されます。
LINK Mode	Audio-Technica LINKモードの動作モードが表示されます。
No.ofExtension A	子機の接続台数が表示されます。
No.ofExtension B	子機の接続台数が表示されます。
No.ofExtension C	子機の接続台数が表示されます。
No.ofExtension D	子機の接続台数が表示されます。

* ATDM-1012DANのみ表示されます。

ログ設定を行う(Logging)

ログメッセージに関する設定を行います。

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Set」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「Logging」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. 各項目を設定します。
 - ・ 設定できる機能は以下のとおりです。

Logging	ログメッセージを保存するか設定します。
Destination	ログメッセージを内部メモリに書き出すか、またはSyslogサーバーに転送するかを設定します。

プリセット設定を行う(Presets)

1. ホーム画面でダイヤルボタンを回して、「Set」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
2. ダイヤルボタンを回して、「Presets」を選択し、ダイヤルボタンを押します。
3. 各項目を設定します。
 - ・ 設定できる機能は以下のとおりです。

Recall Presets	保存されているプリセットデータを呼び出して、現在の設定を変更します。
Save Presets	現在の設定をプリセットに保存します。
BootUp Presets	本製品を起動したときに呼び出すプリセットを指定します。

ウェブリモートについて

ウェブリモートとは

ウェブリモートとは、本製品をコントロールするウェブアプリケーションです。Windowsパソコン、Mac、iOS 機器および Android 機器（以下コントロール機器）から、以下の項目をリモートコントロールできます。

- ・ 本製品の状態確認
- ・ 本製品の各種設定変更

“Locate”とは

“Locate”は、ウェブリモート用ランチャーアプリケーションです。コントロール機器を接続したあと、“Locate”を起動します。“Locate”を使用すると、設置されている本製品のIPアドレスを入力することなく簡単にウェブリモートにアクセスできます。

- ・ “Locate”を使用しないでウェブリモートを起動することもできます。

推奨環境

ウェブリモートおよび“Locate”が動作するOS

- ・ Microsoft Windows 8.1 以降
- ・ Apple OS X 10.14 Mojave 以降
- ・ Android OS 8.0 以降
- ・ iOS 12 以降

ウェブリモート推奨ウェブブラウザ

- ・ Google Chrome (Windows および Android)
- ・ Mozilla Firefox (Windows)
- ・ Safari (OS X and iOS)

- ・ ウェブリモートに同時にログインできるのは、コントロール機器最大3台までです。ただし1台のコントロール機器上で2種類のウェブブラウザを起動している場合は、2台とカウントされます。
- ・ ウェブリモートを終了する場合は、必ずログアウトしてからウェブブラウザの画面を閉じてください。ログアウトせずに画面を閉じると、セッションが切れず、ウェブリモートにログインしたままの状態になる場合があります。
- ・ ウェブリモートの最小画面サイズは1024×768ピクセルです。コントロール機器のディスプレイモニターは、ウェブリモート画面をウェブブラウザで表示できるサイズのモニターをご使用ください。

ウェブリモートの事前準備

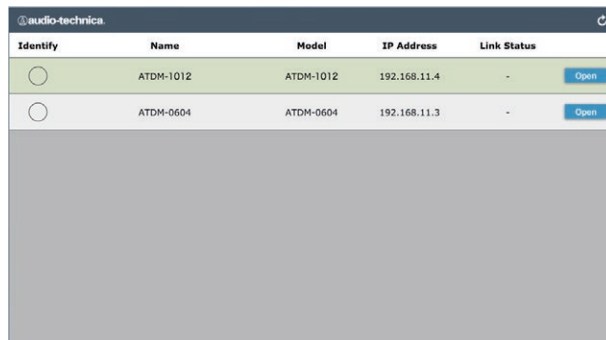
本製品をコントロール機器と接続する

1. コントロール機器と本製品を接続する前に、それぞれネットワークに関する設定を行います。
 - ・ IP アドレスを自動的に取得して接続する場合
(1) 本製品のIP Config Modeを「Auto」に設定します。
 - － 工場出荷時は「Auto」に設定されています。
 - (2) コントロール機器のネットワーク設定を行い、ネットワークに接続します。
 - ・ IP アドレスを固定して接続する場合
(1) 本製品のIP Config Modeを「Static」に設定します。
 - － IPアドレスは固定値に設定されます。
デフォルト値は「192.168.33.102」です。
2. 本製品とコントロール機器を、有線または無線で接続します。
3. 本製品とコントロール機器の電源を入れます。

- ・ IPアドレスを自動的に取得して接続する場合、IPアドレスの確定に時間がかかる場合があります。

“Locate”をセットアップする

1. コントロール機器に“Locate”のインストーラー／アプリケーションをダウンロードします。
 - ・ Windows、Macを使用している場合：
ご使用の国または地域の当社ホームページ(www.audio-technica.com)からダウンロードしてください。
 - ・ iOS、Androidを使用している場合：
App Store、Google Play ストアからダウンロードしてください。
ダウンロードしたあとは、手順4に進んでください。
2. ダウンロードした“setup.exe”をダブルクリックします。
 - ・ セットアップウィザードが表示されます。
3. 画面上に表示された指示に従い、“Locate”をインストールします。
 - ・ インストールが完了すると、デスクトップに“Locate”のアイコンが表示されます。
4. ATDM-1012がコントロール機器と同じネットワーク上に接続され、電源がONであることを確認したあと、“Locate”のアイコンをダブルクリックします。
 - ・ “Locate”が起動します。ネットワークに接続されているATDM-1012が自動検出されます。
5. ウェブリモートコントロールを行いたいATDM-1012を選び、「Open」をクリックします。
 - ・ ウェブリモートのログイン画面が表示されます。



Identify	Name	Model	IP Address	Link Status
<input type="radio"/>	ATDM-1012	ATDM-1012	192.168.11.4	-
<input type="radio"/>	ATDM-0604	ATDM-0604	192.168.11.3	-

- ・ 「Identify」のアイコンをクリックすると、アイコンが赤く点灯し、該当するATDM-1012のフロントパネルにあるインジケータ類が点滅します。システム上にATDM-1012が複数あり、“Locate”のリストに表示されているATDM-1012を特定したい場合に使用してください。

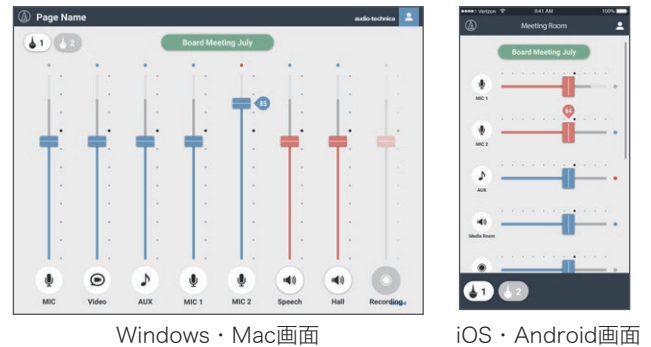
ウェブリモートについて

ウェブリモートの概要



ログイン画面

操作者でログイン



Windows・Mac画面

iOS・Android画面

管理者でログイン



音声設定

Input :

マイクロホンやほかの音響機器からの音声入力に対して、ゲインやレベル、EQ(イコライザー)、Smart Mixなどの各種設定を行います。

Matrix :

入力チャンネルをどのバスへ送るか、またはバスに対してどの入力チャンネルを引き込むかの設定を行います。

Output :

音声出力に対してレベルやFBS、EQ(イコライザー)、Dynamicsなどの各種設定を行います。



設定&保守

システム設定 :

ネットワーク、アクセス権、Audio-Technica LINK に関する設定や、ファームウェアのアップデートを行います。

操作者権限 :

操作者でログインした場合の操作画面について、各種設定を行います。

プリセット :

プリセットの呼び出しや保存、外部とのプリセットデータの読み込み・書き出しを行います。

ログ設定 :

ログメッセージに関する設定とログメッセージのダウンロードを行います。

システム情報 :

各種ネットワーク設定、本製品のシリアル番号やファームウェアバージョンなど、システム情報の確認とダウンロードを行います。

・ 管理者でログインする場合は、必ず Windows パソコンまたは Mac からアクセスしてください。タブレットやスマートフォンからの操作については、動作保証しておりません。

ウェブリモートの起動/ログイン

ウェブリモートを起動する

“Locate”から起動する

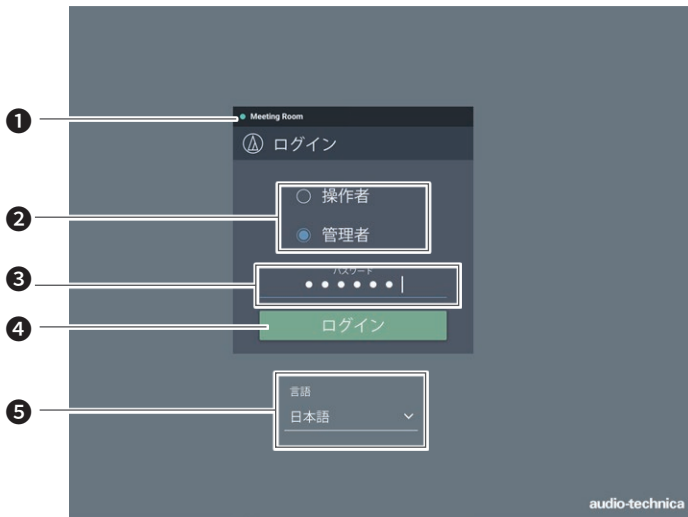
1. コントロール機器にインストールした“Locate”を起動します。
2. ウェブリモートを起動させたいATDM-1012をリストから選択します。
 - ・ ウェブリモートが起動し、ログイン画面が表示されます。

IPアドレスを直接指定して起動する

本製品のIPアドレスがわかる場合は、直接IPアドレスを指定してウェブリモートを起動することができます。

1. コントロール機器のウェブブラウザを起動します。
2. ウェブリモートを起動させたいATDM-1012のIPアドレスを入力します。
 - ・ ウェブリモートが起動し、ログイン画面が表示されます。

ログイン画面について



- 1 **機器名称**
本製品で任意に設定された名称を表示します。
- 2 **ログインユーザー選択**
ログインユーザーを「操作者」/「管理者」から選択します。
- 3 **パスワード**
パスワードを入力します。
 - ・ 「管理者」でのログインに、ロックがかけられている場合に表示されます。パスワードの設定は「ログイン・パスワード」(P.48)を参照してください。
- 4 **ログインボタン**
- 5 **言語**
ウェブリモートで表示される言語を設定します。

ウェブリモートにログインする

1. 「操作者」/「管理者」を選択して「ログイン」をクリックします。
 - ・ 「管理者」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。パスワードを入力してから「ログイン」をクリックしてください。



ウェブリモートからログアウトする

1. ログアウトアイコンをクリックします。

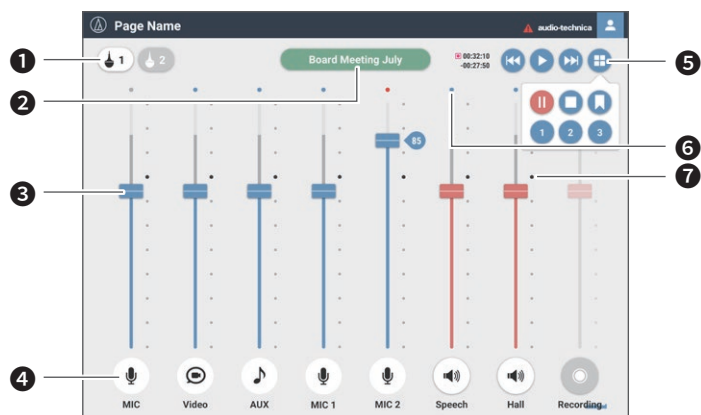


2. 「ログアウト」をクリックします。
 - ・ ウェブリモートからログアウトします。

操作者画面について

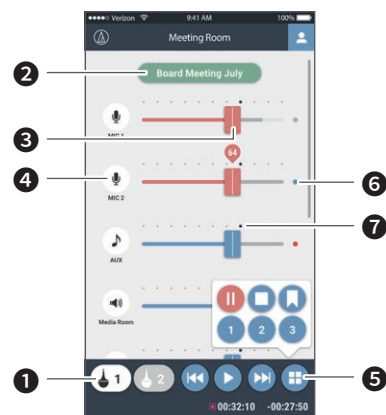
「操作者」でログインすると、簡単な操作で、日々の運用に必要なプリセットの読み出しや音量の調整などができます。

Windows・Mac 画面



- 1 アレイマイク ON/OFF**
クリックするたびにアレイマイクの ON/OFF が切り替わります。
- 2 プリセット表示**
クリックしてプリセットを呼び出すことができます。
- 3 音量調整つまみ**
各入出力システムの音量を調整します。
青：入力系統
赤：出力系統
- 4 アイコン/表示名**
「フェーダー設定」(P.50) の内容にあわせて、アイコンと表示名が表示されます。アイコンをクリックするたびにミュートの ON/OFF が切り替わります。

iOS・Android 画面



- 5 録音操作**
TASCAM ソリッドステートレコーダー「SS-R250N」と連携すると、録音動作を行うことができます。
- 6 レベルメーター**
各系統のレベルを表示します。
 - ・入力系統の場合：
青：入力あり
グレー：入力なし
 - ・出力系統の場合：
青：レベルが $-6 \sim -59$ dBFS のとき
赤：レベルが -5 dBFS 以上のとき
グレー：入力なし
- 7 基準ポイント**
基準ポイント (70%) のときに、音声入力画面で調整した通りのバランスになります。

管理者画面について

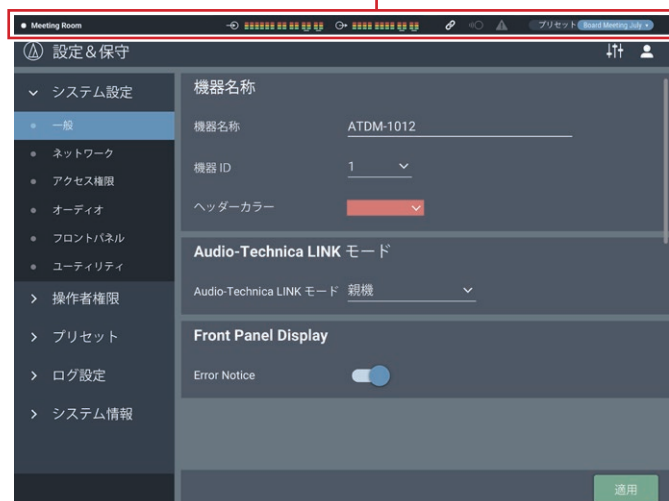
ヘッダー部分について

「管理者」でログインすると、入出力設定や設定 & 保守の画面を表示することができます。画面上部のヘッダー部分は画面が遷移しても常時表示されます。

ヘッダー部分



入力設定



設定&保守



- 1 機器カラー**
本製品を複数台操作する際の目印です。
- 2 機器名称**
本製品で任意に設定された名称を表示します。
- 3 入力インジケータ**
入力レベルを表示します。
- 4 出力インジケータ**
出力レベルを表示します。
- 5 Audio-Technica LINK ステータス**
Audio-Technica LINK の接続状況を表示します。
- 6 IPリモートステータス**
IP 経由による制御が行われていることを表示します。
- 7 エラーステータス**
エラー状態を表示します。
- 8 プリセット**
プリセットの選択と読み込まれたプリセット名を表示します。

管理者画面について

インジケータについて

ステータス	アイコン表示	状態説明
Audio-Technica LINK ステータス		Audio-Technica LINK で接続する機器が、正しく接続されていません。
		Audio-Technica LINK で接続する機器が、正しく接続されています。
		Audio-Technica LINK に障害が発生しています。
		
IP リモートステータス		リモート制御を受けていません。
		リモート制御を受けています。
		リモート制御に障害が発生しています。
		
エラーステータス		エラーがありません。
		エラーがあります。

エラー内容表示について

アイコンに三角マークが表示されている場合、アイコンをクリックするとエラー内容が表示されます。エラー内容を確認したあと、アイコンからカーソルを離すと、三角マークは表示されなくなります。



三角マーク

管理者画面について

音声入力・出力設定画面の見かた



- 1 クリックすると、ウェブリモートのバージョンと、当社ホームページが確認できます。
- 2 クリックすると、音声入力・マトリックス・出力設定画面を切り替えることができます。
- 3 クリックすると、設定 & 保守画面に切り替えることができます。
- 4 各入力チャンネルの音声入力設定を行うことができます。
- 5 各項目をクリックすると詳細設定メニューが表示されます。
- 6 各出力チャンネルの音声出力設定を行うことができます。

・ 設定や状態により、機能の設定や操作ができない場合があります。その場合は、表示がグレーアウトまたは非表示となります。

管理者画面について

マトリクスアサイン設定画面の見かた



- 1 チャンネルごとに Smart Mix の ON / OFF を設定することができます。
- 2 チャンネルごとに AEC の ON / OFF を設定することができます。
- 3 NCバスを選択します。
- 4 バスの ST LINK の ON / OFF を切り替えることができます。
- 5 チャンネルごとにどこのバスにアサインするかを設定することができます。

音声入力の詳細設定を行う

入カタイプ (MIC / LINE) を切り替える

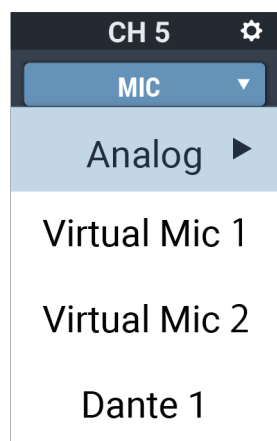
入カタイプを設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。



2. プルダウンメニューから選択したい入カタイプを選択します。

・入カタイプが切り替わります。

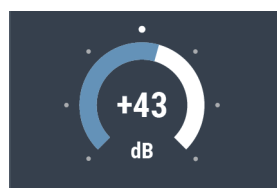


ゲインを調整する

マイク入力の入力ゲインを設定します。

1. メーターをドラッグしてゲインを調整します。

・数字部分をクリックして、直接ゲインを入力することもできます。



・ゲイン調整中、レベルメーターは青色になり、プリフェーダーレベルを表示するので、そのレベルを確認しながら調整します。

ファントム電源の ON / OFF を設定する

ファントム電源 (+48V) の ON / OFF の設定をします。入カタイプが「MIC」の場合のみ設定することができます。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・クリックするたびに、ON (青色) / OFF (色なし) が切り替わります。

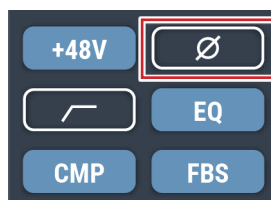


フェーズの ON / OFF を設定する

入力音声の位相を反転します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・クリックするたびに、ON (青色) / OFF (色なし) が切り替わります。



ローカットの ON / OFF を設定する

入力音声の低域をカットするかを設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・クリックするたびに、ON (青色) / OFF (色なし) が切り替わります。

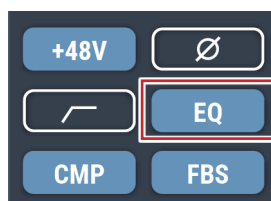


4バンドEQの ON / OFF を設定する

音声入力に適用する4バンドEQの ON / OFF を設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・クリックするたびに、ON (青色) / OFF (色なし) が切り替わります。



音声入力の詳細設定を行う

コンプレッサーのON / OFFを設定する

チャンネルごとに、コンプレッサーのON / OFFを切り替えます。コンプレッサーモジュールが割り当てられている場合のみ設定することができます。

1. 「CMP/FBS」をクリックします。

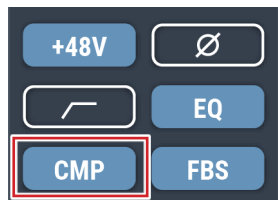


2. 割り当てたいチャンネルにチェックマークを付けます。



3. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・ クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。



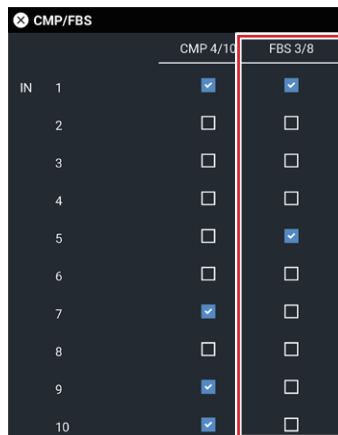
FBSのON / OFFを設定する

チャンネルごとに、FBS(フィードバックサブプレッサー)のON / OFFを切り替えます。FBSモジュールが割り当てられている場合のみ設定することができます。

1. 「CMP/FBS」をクリックします。

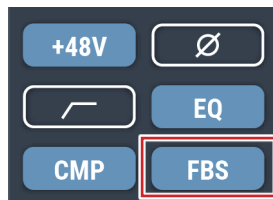


2. 割り当てたいチャンネルにチェックマークを付けます。



3. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・ クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。

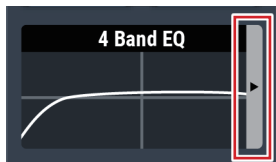


音声入力の詳細設定を行う

4バンドEQを調整する

音声入力に適用する4バンドEQを設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。
 - ・ 設定画面が表示されます。

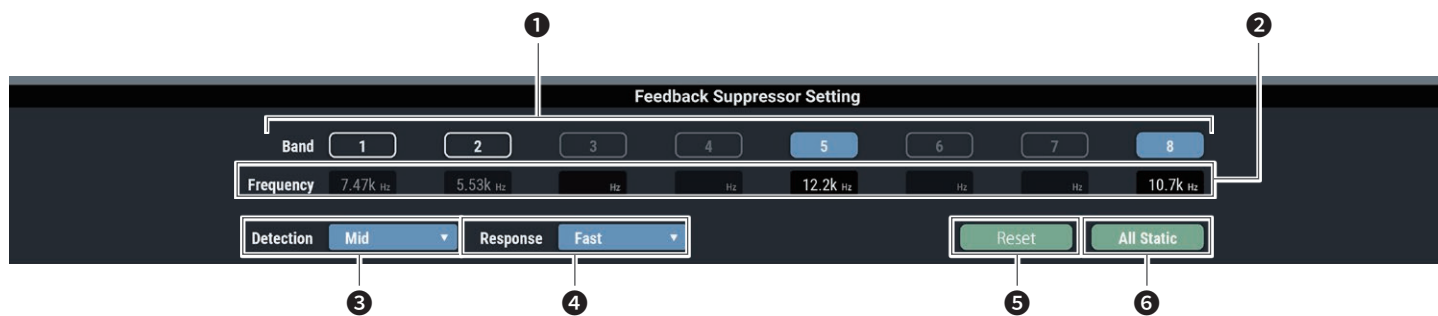


2. 各項目を設定します。



音声入力の詳細設定を行う

設定画面の見かた(FBS)



- ① 各バンドのステータスが表示されます。また、動的、静的の切り替えができます。

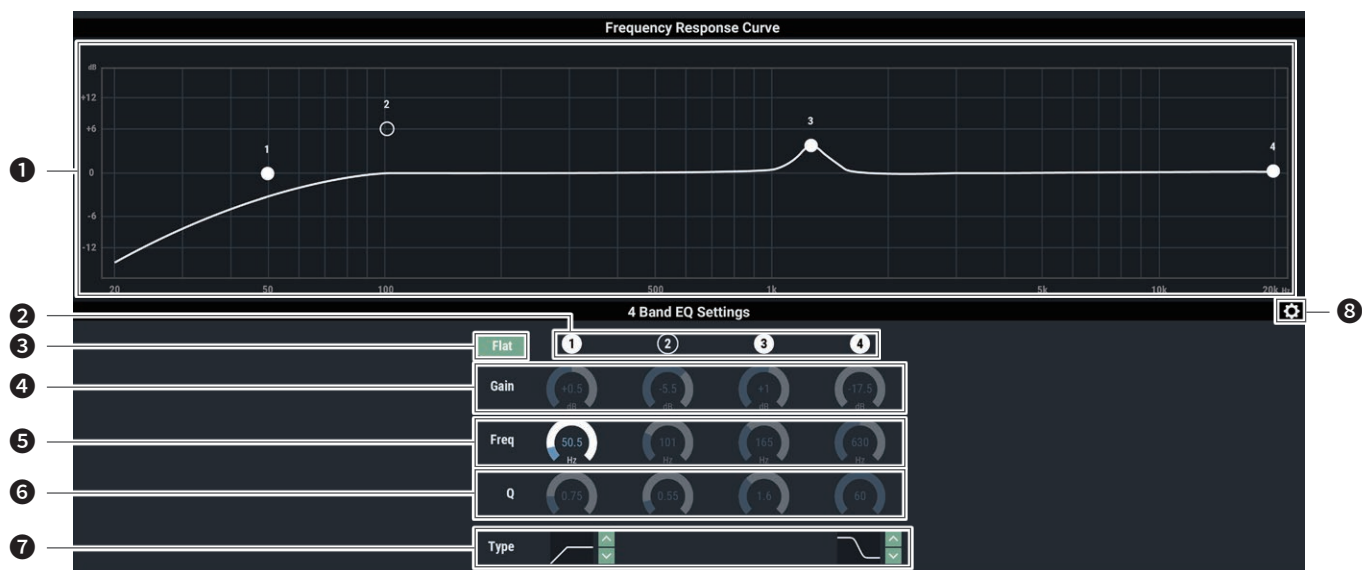
	動的状態です。 <ul style="list-style-type: none">・ フィードバック周波数が検出され、FBSが機能していることを表します。・ フィードバック周波数は15秒間継続したあと、自動的に消えます。・ 次に新たに検出されるまでは、フィードバック周波数の表示は空白となり、待機状態となります。
	静的状態です。 <ul style="list-style-type: none">・ 動的状態でアイコンをクリックすると、そのバンドを固定し、静的状態にすることができます。・ 再度クリックすると、そのバンドの静的状態は解除され、待機状態となります。
	待機状態です。 <ul style="list-style-type: none">・ 新たなフィードバック周波数が検出されるのを待っている状態です。

- ② フィードバックが検出されている周波数を表示します。
- ③ フィードバックの抑制の強さを選択します。
- ④ フィードバックに対する抑制がかかる速さを選択します。
- ⑤ 検出された周波数をリセットします。リセットすると、新たに検出が始まります(静的状態にあるバンドの周波数はリセットされません)。
- ⑥ すべてのバンドを静的状態にします。

・ 「Detection」(③)および「Response」(④)の設定を切り替えると、動的状態のEQの周波数がリセットされます。

音声入力の詳細設定を行う

設定画面の見かた(EQ)



- 1 EQの周波数特性波形を表示・編集します。バンドごとのポインターが、周波数とゲインの位置を表します。
・ポインターをドラッグして周波数とゲインを編集することができます。
- 2 各バンドのON / OFFの表示、切り替えをします。
ON / OFFの状態は以下の通りです。

1	ONを表します。
2	OFFを表します。

- 3 すべてのバンドにおいて、周波数はそのまま、ゲインを0にします。
- 4 各バンドのゲインを調整します。
- 5 各バンドの周波数を調整します。
- 6 各バンドのQ値を調整します。
- 7 フィルターの種類を変更します(バンド1、バンド4のみ)。
- 8 EQプリセットを保存、EQの周波数特性波形のリセット、また設定画面を切り替えます。

音声入力の詳細設定を行う

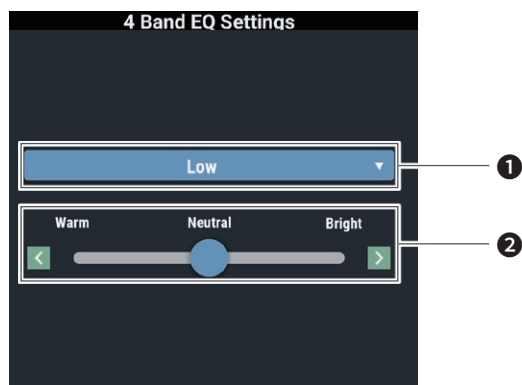
設定画面を切り替える

設定画面は簡易表示の「簡易モード」と、すべての設定が表示される「詳細モード」があります。

簡易モード	あらかじめ用意されたEQパターンから選択することで、簡単にEQの調整ができます。
詳細モード	バンドごとにパラメーターの設定ができるので、細かいEQの調整ができます。

画面右上のアイコン()をクリックして切り替えることができます。

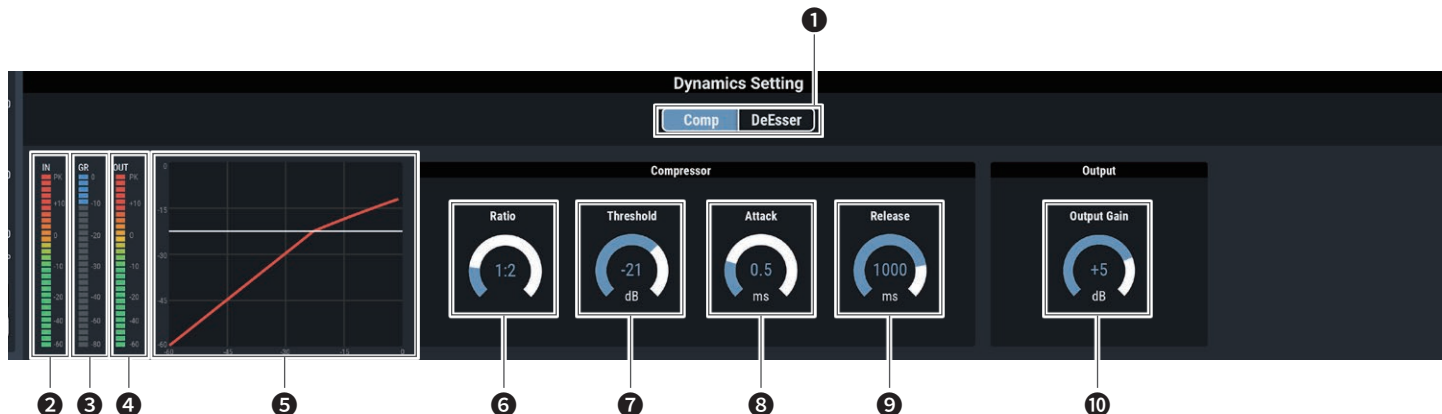
設定画面の見かた(簡易モード)



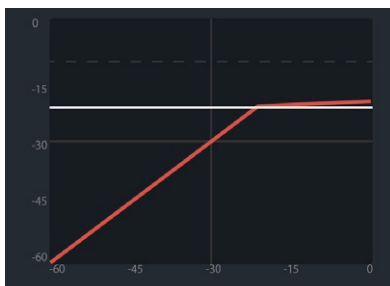
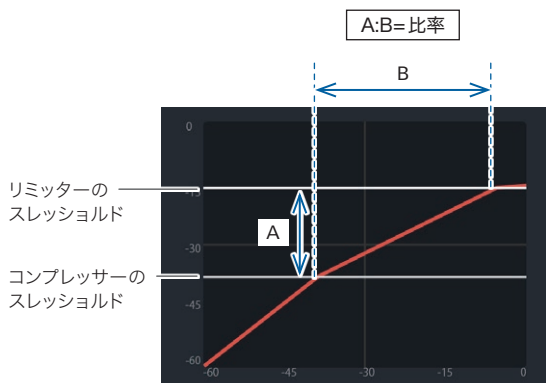
- ① 音声の種類を選択します。
- ② 音色を調整します。

音声入力の詳細設定を行う

設定画面の見かた(DYN)



- ① コンプレッサー／ディエッサーを切り替えます。
- ② ダイナミクスに入力される音声のレベルを表します。
- ③ コンプレッサーによる、音声のゲイン抑制の程度を表します。
- ④ ダイナミクスから出力される音声のレベルを表します。
- ⑤ ダイナミクスの特性を表します。
- ⑥ コンプレッサーの比率を設定します。
- ⑦ コンプレッサーのスレッシュホールドを設定します。
- ⑧ コンプレッサーのアタックタイムを設定します。
- ⑨ コンプレッサーのリリースタイムを設定します。
- ⑩ ダイナミクスの出力ゲインを設定します。



リミッターのスレッシュホールドがコンプレッサーのスレッシュホールドを下回るとき、コンプレッサーのスレッシュホールドが消え、リミッターのスレッシュホールドのみ表示されます。

音声入力の詳細設定を行う

AECのON/OFFを設定する

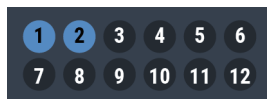
AEC(アコースティックエコーキャンセラー)のON/OFFを設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。
 - ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。



バスアサインを確認する

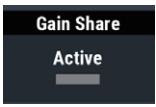

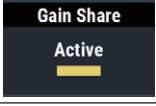
各チャンネルがどのバスへアサインされているか表示されます。

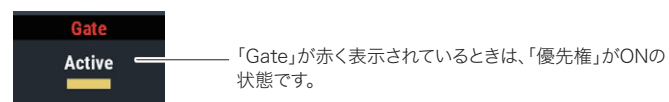


スマートミキサーの状態を確認する

1. 下記画面の赤枠部分を確認します。
 - ・画面をクリックすると、スマートミキサーの設定画面が表示されます。設定について詳しくは、「スマートミキサー」(P.57)を参照してください。



	OFFの状態です。
	ONの状態です。
	ON状態で、スマートミキサーが機能している状態です。設定したグループ色で表示されます。



音声入力の詳細設定を行う

チャンネル名と色を設定する

各チャンネルのチャンネル名と任意の色を設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。



2. 任意の色を選択します。
3. テキスト部分をクリックして、任意のチャンネル名を入力します。
4. 「OK」をクリックします。

ミュートを設定する

チャンネルごとに、ミュートのON / OFFを切り替えます。

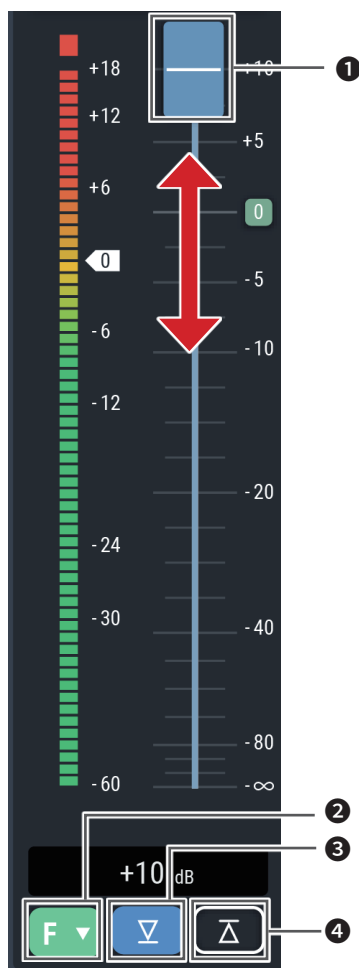
1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。
 - ・クリックするたびに、ミュートON(赤色) / ミュートOFF(色なし)が切り替わります。



入力レベルを調整する

チャンネルごとに、MIC / LINEの入力レベルを設定します。

1. 音量調整つまみをドラッグし、上下に移動させて入力レベルを調整します。



- ① 音量調整つまみ
- ② フェーダーグループ
- ③ Min Volume ON / OFF
- ④ Max Volume ON / OFF

音声入力の詳細設定を行う

フェーダーのグループを設定する

親機または子機の本画面でチャンネルフェーダーを同じグループに設定し、親機の操作者画面の「フェーダー設定」(P.50)でアサインすると、その親機でアサインしたフェーダーを使用して、同じグループに属するチャンネルのレベルを制御します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。



2. フェーダーのグループを選択します。

Min / Max Volume を設定する

チャンネルごとに、Min / Max Volume 値を決め、そのON / OFFを設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

- ・クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。
- ・ONにしたときの位置で、フェーダーの下限 / 上限が設定されます。設定された位置より下 / 上の範囲はグレーアウトします。位置を変更する場合は、OFFにしてから、再度ONに設定します。



マトリックスの詳細設定を行う

Smart Mixを設定する

1. 下記画面の赤枠部分をクリックしてグループを選択します。

Channel	Smart Mix	AEC
CH 1	G1 * <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Dante2	G1 * <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Mic 3	G2 * <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Music	G2 * <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

2. チェックマークを付けるとSmart MixがONになります。

AECのON/OFFを設定する

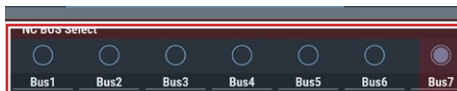
AEC(アコースティックエコーキャンセラー)のON/OFFを設定します。

1. チェックマークをつけるとAECがONになります。

Channel	Smart Mix	AEC
CH 1	G1 * <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Dante2	G1 * <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Mic 3	G2 * <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Music	G2 * <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

NCバスを設定する

1. 設定したいバスをクリックします。



バスアサインを設定する

各チャンネルをどのバスに割り当てるかを選択します。ボタンを押すたびに「OFF」→「ON(Smart Mix)→「ON」の順で切り替わります。Smart Mixが「OFF」のときは、ON/OFFが切り替わります。

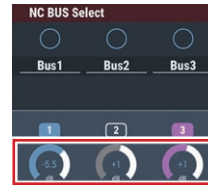
1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。



ボリュームを調整する

各バスへ入力する際のレベルを調整します。

1. メーターをドラッグしてレベルを調整します。



モノラルの設定をする

モノラル設定をONにすると、STチャンネルをモノラルミックスして、各バスに割り当てることができます。また、LINKバスはそれぞれ個別にON/OFFすることができます。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。



バスステレオLINKを設定する

BUS5/6、BUS7/8、BUS9/10、BUS11/12それぞれのステレオLINKのON/OFFを切り替えます。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

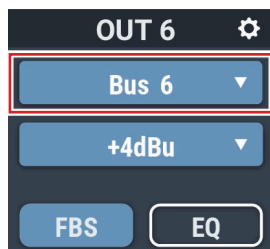
・各ボリュームにL-Rマークが表示されます(チャンネル7~10、STチャンネル1~2のみ)。



音声出力の詳細設定を行う

チャンネルごとの出力を設定する

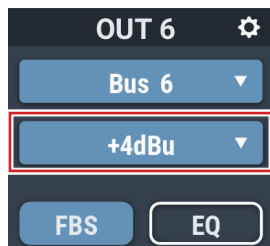
1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。



2. プルダウンメニューから出力を選択します。

ユニティレベルを設定する

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。



2. プルダウンメニューからユニティレベルを選択します。

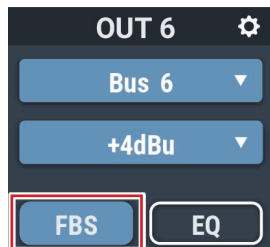
・ ユニティレベルが切り替わります。

FBSのON / OFFを設定する

チャンネルごとに、FBS(フィードバックサプレッサー)のON / OFFを切り替えます。FBS モジュールが割り当てられている場合のみ設定することができます。操作は入力チャンネルでの操作と同様です。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・ クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。

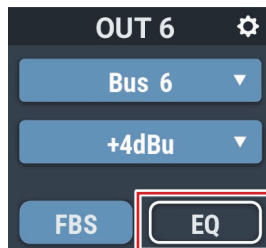


EQのON / OFFを設定する

チャンネルごとに、EQのON / OFFを切り替えます。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

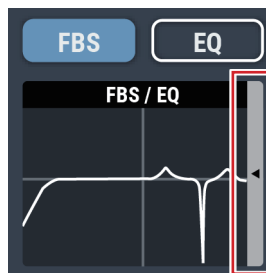
・ クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。



FBS / EQを調整する

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・ 設定画面が表示されます。

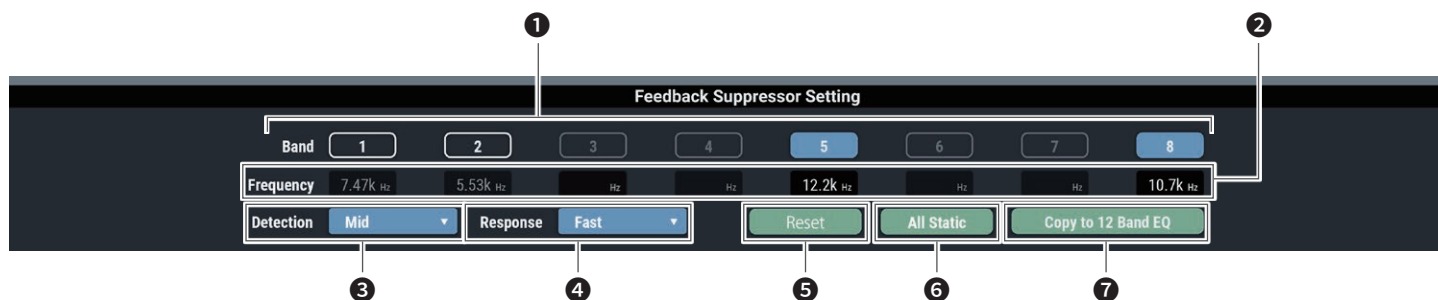


2. 各項目を設定します。



音声出力の詳細設定を行う

設定画面の見かた(FBS)



- ① 各バンドのステータスが表示されます。また、動的、静的の切り替えができます。

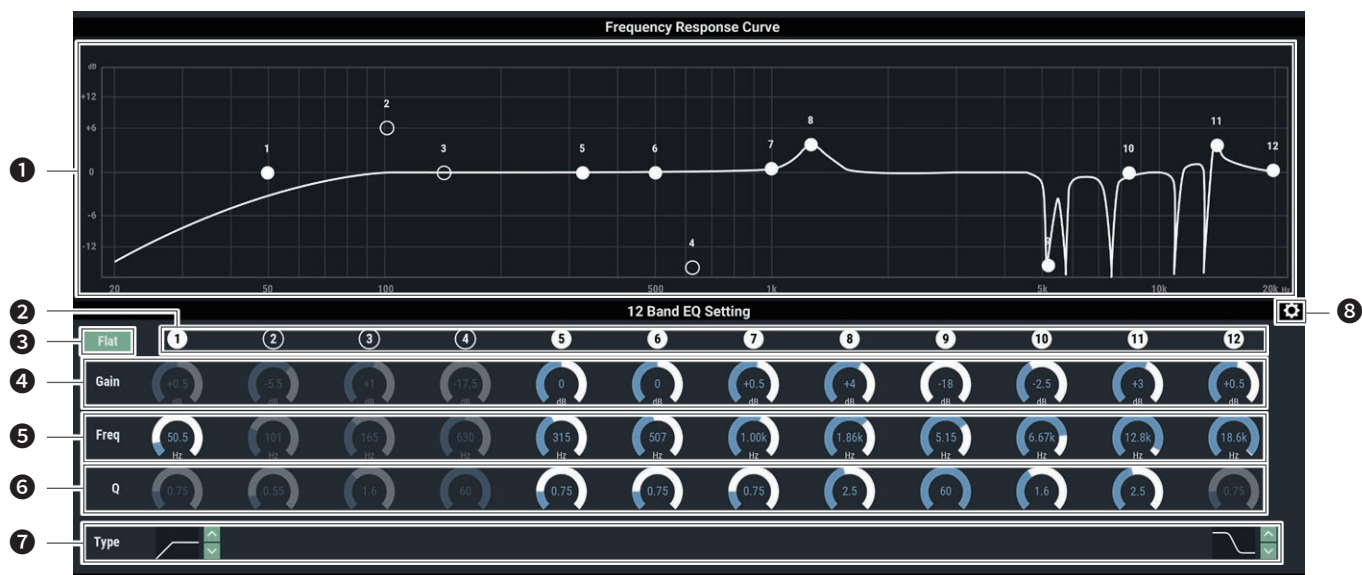
	<p>動的状態です。</p> <ul style="list-style-type: none">・ フィードバック周波数が検出され、FBSが機能していることを表します。・ フィードバック周波数は15秒間継続したあと、自動的に消えます。・ 次に新たに検出されるまでは、フィードバック周波数の表示は空白となり、待機状態となります。
	<p>静的状態です。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 動的状態でアイコンをクリックすると、そのバンドを固定し、静的状態にすることができます。・ 再度クリックすると、そのバンドの静的状態は解除され、待機状態となります。
	<p>待機状態です。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 新たなフィードバック周波数が検出されるのを待っている状態です。

- ② フィードバックが検出されている周波数を表示します。
- ③ フィードバックの抑制の強さを選択します。
- ④ フィードバックに対する抑制がかかる速さを選択します。
- ⑤ 検出された周波数をリセットします。リセットすると、新たに検出が始まります(静的状態にあるバンドの周波数はリセットされません)。
- ⑥ すべてのバンドを静的状態にします。
- ⑦ 静的状態になっているバンドを、12バンドEQのバンドへコピーします。12バンドEQ側のEQがOFFになっているバンドをコピー対象とします。

・ 「Detection」(③)および「Response」(④)の設定を切り替えると、動的状態のEQの周波数がリセットされます。

音声出力の詳細設定を行う

設定画面の見かた(EQ)



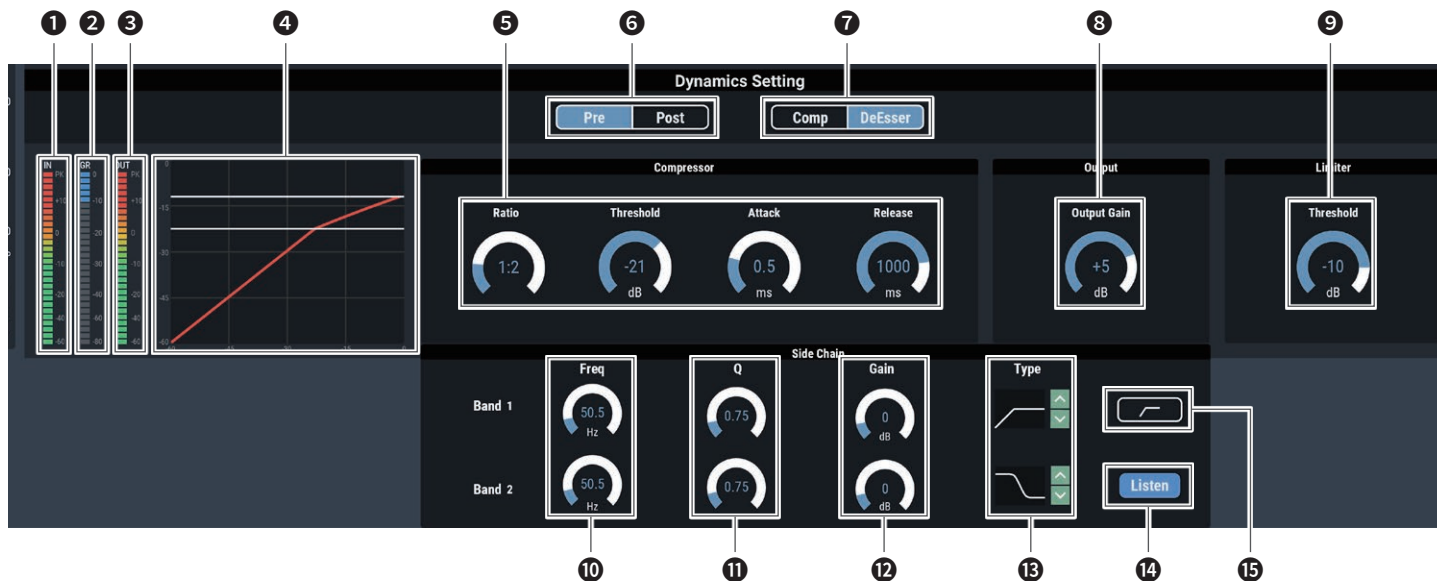
- 1 EQの周波数特性波形を表示・編集します。バンドごとのポインターが、周波数とゲインの位置を表します。
・ポインターをドラッグして周波数とゲインを編集することができます。
- 2 各バンドのON / OFFの表示、切り替えをします。
ON / OFFの状態は以下の通りです。

1	ONを表します。
2	OFFを表します。

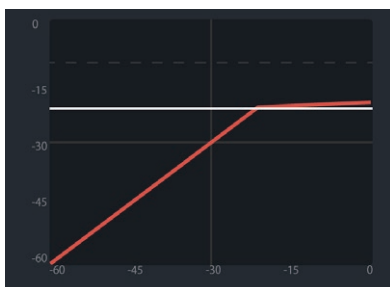
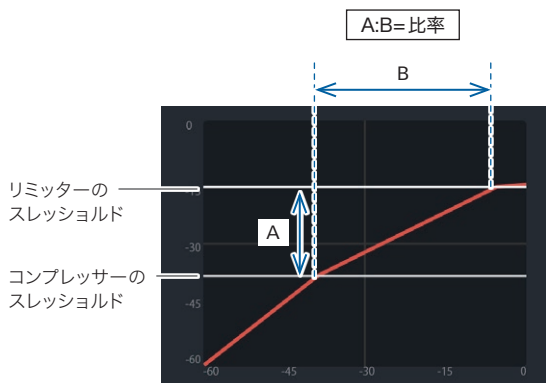
- 3 すべてのバンドにおいて、周波数はそのまま、ゲインを0にします。
- 4 各バンドのゲインを調整します。
- 5 各バンドの周波数を調整します。
- 6 各バンドのQ値を調整します。
- 7 フィルターの種類を変更します(バンド1、バンド12のみ)。
- 8 パラメーターのリセット、EQプリセットの保存・呼び出しを行います。

音声出力の詳細設定を行う

設定画面の見かた(DYN)



- ① ダイナミクスに入力される音声のレベルを表します。
- ② コンプレッサーによる、音声のゲイン抑制の程度を表します。
- ③ ダイナミクスから出力される音声のレベルを表します。
- ④ ダイナミクスの特性を表します。
- ⑤ コンプレッサーの各項目を設定します。
Ratio: コンプレッサーの比率を設定します。
Threshold: コンプレッサーのスレッシュホールドを設定します。
Attack: コンプレッサーのアタックタイムを設定します。
Release: コンプレッサーのリリースタイムを設定します。
- ⑥ ダイナミクスをPre EQかPost EQのどちらにアサインするかを選択します。
- ⑦ コンプレッサー/ディエッサーを切り替えます。
- ⑧ ダイナミクスの出力ゲインを設定します。
- ⑨ リミッターのスレッシュホールドを設定します。
- ⑩ ディエッサーの周波数を調整します。
- ⑪ ディエッサーのQ値を調整します。
- ⑫ ディエッサーのゲインを調整します。
- ⑬ フィルターの種類を変更します。
- ⑭ Listen機能のON/OFFを設定します。
- ⑮ ローカットのON/OFFを設定します。



リミッターのスレッシュホールドがコンプレッサーのスレッシュホールドを下回るとき、コンプレッサーのスレッシュホールドが消え、リミッターのスレッシュホールドのみ表示されます。

音声出力の詳細設定を行う

コンプレッサーのON / OFFを設定する

チャンネルごとに、コンプレッサーのON / OFFを切り替えます。コンプレッサーモジュールが割り当てられている場合のみ設定することができます。操作は入力チャンネルでの操作と同様です。

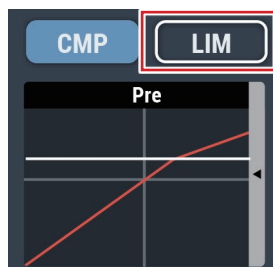
1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。



3. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

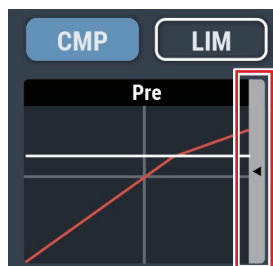
・クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。



ダイナミクス機能を調整する

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・設定画面が表示されます。



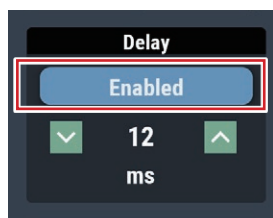
2. 各項目を設定します。

ディレイ機能のON / OFFを設定する

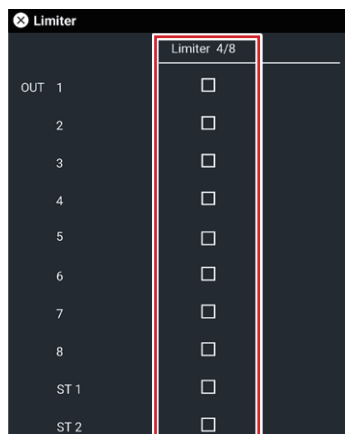
各チャンネルの出力をディレイ(遅延)させるかを設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

・クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。





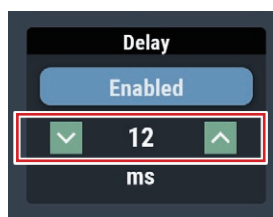
2. 割り当てたいチャンネルにチェックマークを付けます。



ディレイ機能の遅延時間を設定する

1. 遅延させる時間を設定します。

・ /  をクリックして時間を調整できます。また、時間をクリックして直接入力することもできます。



音声出力の詳細設定を行う

チャンネル名と色を設定する

各チャンネルのチャンネル名と任意の色を設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

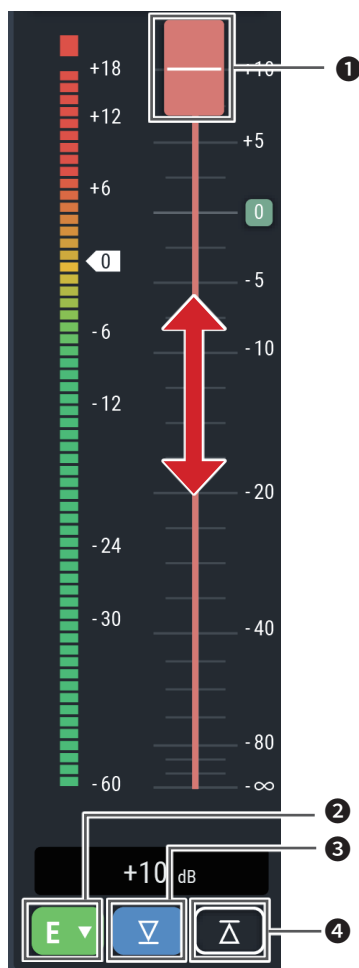


2. 任意の色を選択します。
3. テキスト部分ををクリックして、任意のチャンネル名を入力します。
4. 「OK」をクリックします。

出力レベルを調整する

チャンネルごとに、MIC / LINE の出力レベルを設定します。

1. 音量調整つまみをクリックし、上下に移動させて出力レベルを調整します。



- ① 音量調整つまみ
- ② フェーダーグループ
- ③ Min Volume ON / OFF
- ④ Max Volume ON / OFF

音声出力の詳細設定を行う

フェーダーのグループを設定する

親機または子機の本画面でチャンネルフェーダーを同じグループに設定し、親機の操作者画面の「フェーダー設定」(P.50)でアサインすると、その親機でアサインしたフェーダーを使用して、同じグループに属するチャンネルのレベルを制御します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。



2. フェーダーのグループを選択します。

Min / Max Volume を設定する

チャンネルごとに、Min / Max Volume 値を決め、そのON / OFFを設定します。

1. 下記画面の赤枠部分をクリックします。

- ・ クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。
- ・ ONにしたときの位置で、フェーダーの下限 / 上限が設定されます。設定された位置より下 / 上の範囲はグレースアウトします。位置を変更する場合は、OFFにしてから、再度ONに設定します。



音声出力の詳細設定を行う

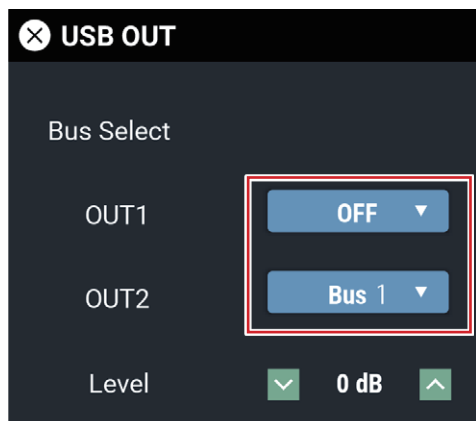
USB 出力を設定する

USB 出力のバス選択と、送信レベルの設定を行います。

1. 「USB OUT」をクリックします。

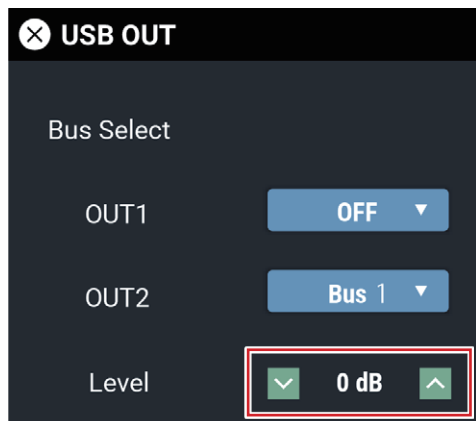


2. USB OUT1、2それぞれに出力時のバスを選択します。



3. USB 出力時のレベルを選択します。

・ / をクリックしてレベルを調整できます。また、数値をクリックして直接入力することもできます。



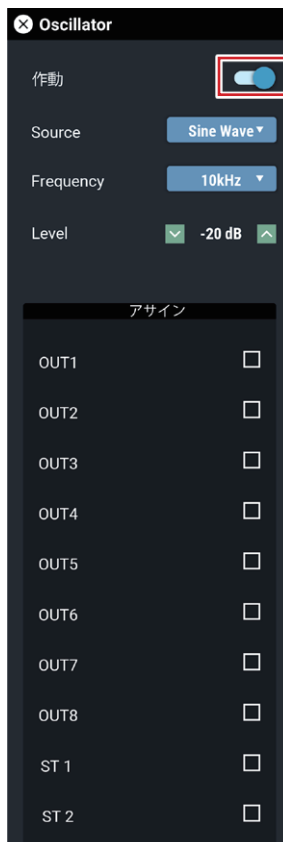
オシレーターの設定を行う

本製品は出力チャンネルにオシレーター機能を搭載しています。施工時やメンテナンス時の音声チェックに便利な機能です。

1. 「Oscillator」をクリックします。



2. 「作動」をクリックします。



3. 「Source」で「Sine wave」／「Pink Noise」を選択します。
4. 「Frequency」で周波数を選択します。
5. 「Level」でレベルを調整します。
6. 「アサイン」で出力チャンネルを選びます。

・ 選択されたチャンネルは「作動」がONのとき、オシレーターが出力されます。

システムの詳細設定を行う(設定 & 保守)

システム全体に関わる詳細設定や、メンテナンス時や障害発生時に使用するユーティリティが準備されています。

基本操作

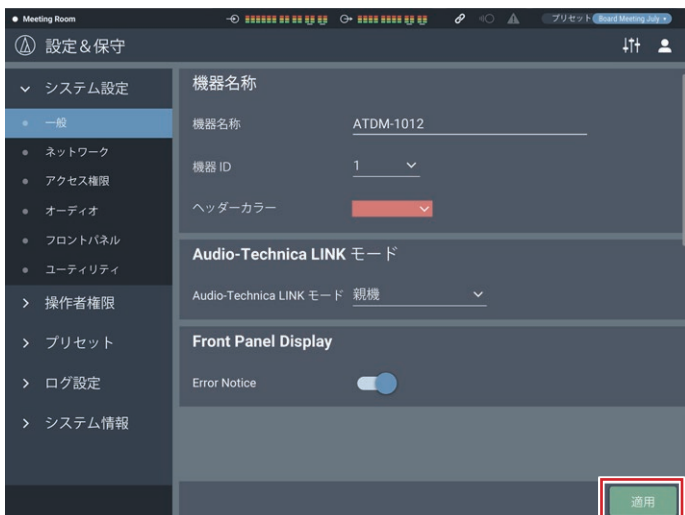
1. 画面右上のアイコン()をクリックします。



2. 設定項目から設定したい項目を選択します。



3. 必要に応じて設定を行い、「適用」をクリックします。



設定 & 保守画面について



- 1 設定項目メニュー
- 2 ログアウトアイコン
- 3 画面切り替えアイコン
音声設定画面を表示します。
- 4 適用ボタン
各設定の変更を反映します。

一般(システム設定)

機器名称

機器名称	ウェブリモートからコントロールしている本製品の名前を設定します。
機器ID	本製品の機器IDを設定します。
ヘッダーカラー	ウェブリモートの画面上部(ヘッダー)の色を設定します。

設定を行ったあと、「適用」をクリックすると、設定が完了します。

Audio-Technica LINKモード

Audio-Technica LINK時の動作モードを設定します(P.60)。

1. 「親機」/「子機」を選択します。
2. 「適用」をクリックします。
・ 設定が完了します。

Front Panel Display

本製品のディスプレイにエラーメッセージを表示するかを設定します。

1. スイッチをクリックしてON/OFFを設定します。
・ クリックするたびにON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。
2. 「適用」をクリックします。
・ 設定が完了します。

システムの詳細設定を行う(設定 & 保守)

ネットワーク(システム設定)

ネットワークコンフィグレーション(ATDM-1012DANのみ)

1. 各項目を設定します。

Mode	環境に合わせてネットワークコンフィグレーションモードを設定します。
Latency	Danteポートのレイテンシーを設定します。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

Dante・音声ポート設定(ATDM-1012DANのみ)

IPアドレスの取得方法や各値を設定します。

1. 「IPコンフィグ・モード」から「オート」/「固定」を選択します。

オート	DHCPサーバーなどが自動でIPアドレスを割り当てます。
固定	固定IPアドレスを指定します。 「固定」を選択すると、「IPアドレス」、「サブネット・マスク」、「ゲートウェイ・アドレス」が設定できるようになります。指定したいアドレスを入力してください。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

IPコントロール・Webリモートポート設定

IPアドレスの取得方法や各値を設定します。

1. 「IPコンフィグ・モード」から「オート」/「固定」を選択します。

オート	DHCPサーバーなどが自動でIPアドレスを割り当てます。
固定	固定IPアドレスを指定します。 「固定」を選択すると、「IPアドレス」、「サブネット・マスク」、「ゲートウェイ・アドレス」が設定できるようになります。指定したいアドレスを入力してください。 デフォルト値は「192.168.33.102」です。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

自動検出許可

“Locate”からの自動検出の設定をします。

1. スイッチをクリックします。

- ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。
- ・ONに設定すると、“Locate”から本製品が検出可能になります。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

IPコントロール設定

IPコントロールに関する設定をします。

1. 各項目を設定します。

ポート番号	IPコントロールポートの番号を表示します。
通知	IPコントロール時にデバイスからの通知を受け取る設定をします。
音量通知*	IPコントロール時にデバイスから音声レベルの通知を受け取る設定をします。
マルチキャスト・アドレス*	マルチキャストのアドレスを設定します。

マルチキャスト・ポート番号*	マルチキャストのポート番号を設定します。
----------------	----------------------

*「通知」がON(青色)のときのみ設定できます。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

NTP設定

NTP(ネットワークタイムプロトコル)の設定をします。

1. 各項目を設定します。

作動	NTP(ネットワークタイムプロトコル)の設定を有効にするかを設定します。
サーバー・アドレス	NTPのサーバーアドレスを設定します。
ポート番号	NTPのポート番号を設定します。
タイムゾーン	UTC(協定世界時)との時差を設定します。
サマータイム	サマータイムの入/切を設定します。
開始日時	サマータイム開始の月日・時刻を設定します。
終了日時	サマータイム終了の月日・時刻を設定します。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

アクセス権限(システム設定)

Default Front Panel Mode

電源ON時のフロントパネルモードを設定します。

1. 「管理者」/「操作者」を選択します。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

ログイン・パスワード

「管理者」でログインする際に、パスワードを必要とするかを設定します。

1. スイッチをクリックしてON/OFFを設定します。

- ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。

2. 設定したいパスワードを入力します。

- ・4~8文字の英数字を使用して入力してください。

3. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

デバイスアクセス許可

「操作者」としてアクセスできる機器を制限するかを設定します。

1. スイッチをクリックしてONに設定します。

- ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。

2. アクセスできるように設定したい機器のIPアドレスを入力します。

- ・最大5台まで登録することができます。

3. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。
- ・登録した機器以外は、「操作者」としてアクセスできなくなります。

システムの詳細設定を行う(設定 & 保守)

オーディオ(システム設定)

オーディオシステム

音声に関するシステム設定の確認・変更をします。

1. 各項目を設定します。

ゲイン単位	ゲイン調整時の単位表示を設定します。
ディレイ単位	遅延時間設定時の単位表示を設定します。
Input EQ/DYN Display	音声入力設定画面のグラフ表示を設定します。
Virtual Micモード	バーチャルマイクを使用するかを設定します。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

フロントパネル(システム設定)

レベル

本製品のフロントパネルで、各チャンネルの入力レベル・出力レベルを調整できるようにするかを設定します。

1. 各チャンネルにチェックマークを付け/外します。

- ・チェックが入っていると、レベル調整が可能となります。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

ミュート

本製品のフロントパネルで、各チャンネルのミュートができるようにするかを設定します。

1. 各チャンネルにチェックマークを付け/外します。

- ・チェックが入っていると、ミュートが可能となります。

LEDディマー

本製品のフロントパネルのLEDを、ディマー点灯(輝度を落として点灯)させるかを設定します。

1. スイッチをクリックしてON/OFFを設定します。

- ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

フロントパネル制限

本製品のフロントパネルでプリセットの呼び出しができるようにするかを設定します。

1. スイッチをクリックしてON/OFFを設定します。

- ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。

2. 「適用」をクリックします。

- ・設定が完了します。

ユーティリティ(システム設定)

ファームウェアアップデート

本製品のファームウェアをアップデートします。

1. 画面に表示されている「シリアル番号」、「機器名称」、「ファームウェアVer」で、本製品がアップデート対象であるかを確認します。

2. 「開く」をクリックします。

- ・ファイル選択画面が表示されます。

3. ファイル選択画面からバージョンアップファイルを選択して、開きます。

4. 「アップデート」をクリックします。

- ・アップデートが開始されます。アップデートが完了すると、完了画面が表示され、本製品が自動的に再起動します。

5. バージョンの確認をします。

- ・「システム情報」の項目で正しくアップデートされていることを確認してください。

6. 本製品をリセットし、工場出荷時の設定に戻します。

- ・「System Setting」>「Reset All Dflt.」でリセットを行ってください。

・ファームウェアの追加機能や改善項目の内容により、アップデート後、ウェブリモートを起動した際に、表示や機能が正しく動作しないことがあります。その場合は、ご使用のウェブブラウザの履歴・キャッシュを削除してください。上記の手順を行っても正しく動作しない場合は、当社プロフェッショナルSS課までご連絡ください。

言語バック・インストール

言語バックをインストールして、ウェブリモートで表示される言語を切り替えることができるようにします。

1. 「開く」をクリックします。

- ・ファイル選択画面が表示されます。

2. ファイル選択画面からインストールしたい言語ファイルを選択して、開きます。

3. 「インストール」をクリックします。

- ・インストールが開始されます。インストールが完了すると、完了画面が表示され、自動的にログアウトします。

全設定を初期化

本製品を工場出荷時の設定に戻します(ファームウェアは現在のバージョンのままです)。

1. 「リセット」をクリックします。

- ・確認画面が表示されます。

2. 確認画面を確認し、「はい」をクリックします。

- ・初期化が完了すると、完了画面が表示されます。本製品の電源を切ってください。

システムの詳細設定を行う(設定 & 保守)

操作者用ページ(操作者権限)

Multi Operator Page

操作者画面を複数使用するかを設定します。

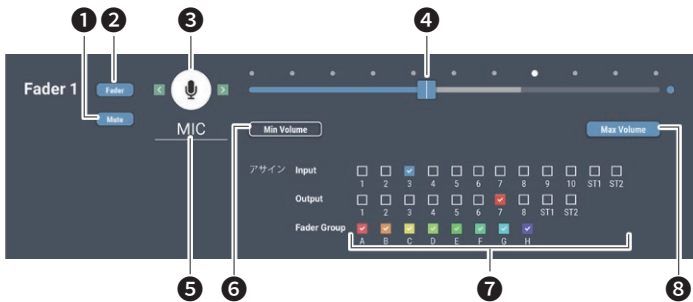
1. スイッチをクリックしてON/OFFを設定します。
 - ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。
2. 「適用」をクリックします。
 - ・設定が完了します。

Array Micスイッチ連動

アレイマイクスイッチによるミュートをAudio-Technica LINK機器間で共有するかどうかを設定します。

1. スイッチをクリックしてON/OFFを設定します。
 - ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。
2. 「適用」をクリックします。
 - ・設定が完了します。

フェーダー設定画面の見かた



- 1 操作者画面でアイコン(3)を押すとミュートにするかを設定します。
- 2 操作者画面でフェーダーを表示するかを設定します。
- 3 操作者画面で表示するアイコンを選択します。
- 4 音量を調整します。
- 5 任意の名前を設定します。
- 6 フェーダーの最小値を設定します。
- 7 各フェーダーにどのチャンネルの音声を割り当てるか、またフェーダーグループを設定します。
- 8 フェーダーの最大値を設定します。

フェーダー設定

操作者画面で操作する内容の確認・変更をします。

1. 「Page Name」に表示するページ名を入力します。
2. 「Hide from List」にチェックマークを付けるかを設定します。
 - ・チェックマークを付けたと許可されたIPアドレスからのアクセス時のみ表示されます。
3. 各項目を設定します。
 - ・「フェーダー設定画面の見かた」を参照して、設定してください。
4. 「適用」をクリックします。
 - ・設定が完了します。

操作者用ページ制限

操作者画面で操作する内容の制限について設定します。

1. 各項目を設定します。

プリセット呼び出し	プリセットの呼び出しを行うかを設定します。
プリセット番号*1	呼び出せるプリセットの数を設定します。
フェーダーポジション保存	最大8系統のフェーダーの位置をレジュームするかを設定します。
ログアウトボタン	ログアウトボタンを画面に表示するかを設定します。
Array Micスイッチ*2	アレイマイクのON/OFFを切り替えることができるボタンを配置するかを設定します。
Tascam Button	録音操作ボタンを表示するかを設定します。
Transport Layout	録音操作ボタンの配置を切り替えます。

*1 「プリセット呼び出し」をONにした場合に設定できます。

*2 「Virtual Mic モード」でVirtual Micを選択した場合に設定できます。

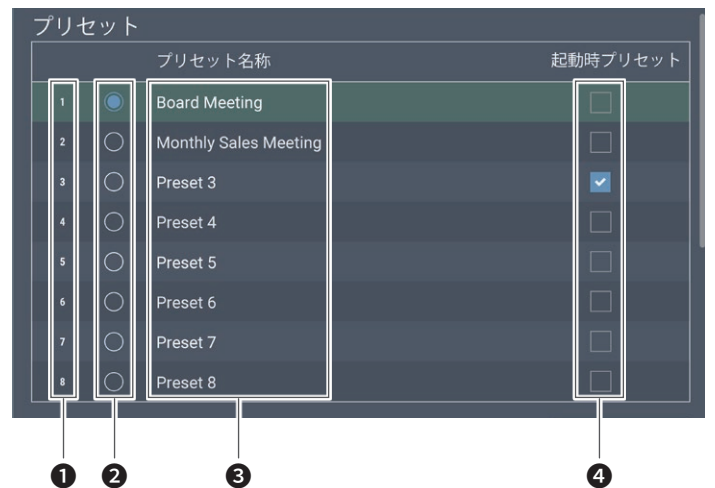
2. 「適用」をクリックします。
 - ・設定が完了します。

プリセット(プリセット)

プリセット

本製品に登録されているプリセットに関する設定の確認・変更、またプリセットファイルの読み込み・書き出しをします。

プリセット画面の見かた



- 1 プリセット番号
- 2 ラジオボタン
プリセットを選択します。
- 3 プリセット名称
任意の名前を設定します。
- 4 起動時プリセット
本製品を起動したときに、チェックしたプリセットが常に呼び出されます。

システムの詳細設定を行う(設定 & 保守)

プリセットを書き出す

1. 変更したいプリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
2. 「エクスポート」をクリックします。
3. 保存先・ファイル名を設定して書き出します。

プリセット読み込む

外部で作成したプリセットを読み込むことができます。

1. 読み込み先の、プリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
2. 「開く」をクリックし、外部ファイルを選択します。
3. 「インポート」をクリックします。
 - ・プリセットが読み込まれます。

プリセット呼び出し連動

1. スイッチをクリックしてON/OFFを設定します。
 - ・クリックするたびに、ON(青色)/OFF(色なし)が切り替わります。

プリセット呼び出し連動	プリセット呼び出しをAudio-Technica LINK 機器間で連動するかどうかを設定します。
Tascamプリセット呼び出し連動	プリセット1~3を呼び出したときに、TASCAMソリッドステートレコーダー「SS-R250N」側のプリセットを連動して呼び出すかどうかを設定します。

2. 「適用」をクリックします。
 - ・設定が完了します。

Partial Preset(プリセット)

機器全体の設定を保存するプリセットとは異なり、任意に選択したパラメーターのみを保存するプリセットです。保存したパラメーター以外には影響を与えずに設定を呼び出すことができます。

パーシャルプリセット名を変更する

1. 変更したいパーシャルプリセット名をクリックします。
2. パーシャルプリセット名を入力します。

パーシャルプリセットのパラメーターを設定する

1. 設定したいパーシャルプリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
2. 「Partial preset Parameters」から各パラメーターを設定します。
3. 「保存」をクリックします。
 - ・パーシャルプリセットが保存されます。

パーシャルプリセットを呼び出す

1. 呼び出したいパーシャルプリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
2. 「呼び出し」をクリックします。

パーシャルプリセットを書き出す

1. 変更したいパーシャルプリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
2. 「エクスポート」をクリックします。

パーシャルプリセットを読み込む

1. 読み込み先の、パーシャルプリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
2. 「開く」をクリックし、外部ファイルを選択します。
3. 「インポート」をクリックします。
 - ・パーシャルプリセットが読み込まれます。

システムの詳細設定を行う(設定 & 保守)

4 Band EQライブラリー(プリセット)

4 Band EQライブラリー

音声入力に適用する4バンドEQのパターンをプリセットとして読み込み・書き出しすることができます。

EQプリセット	全バンドのEQパターンが保存された設定のことを表します。
ライブラリー	すべてのプリセットをまとめたグループのことを表します。

プリセット名を変更する

1. 変更したいプリセット名をクリックします。
2. プリセット名を入力します。

プリセット/ライブラリーを書き出す

1. 変更したいプリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
 - ・ライブラリーを書き出したい場合は、プリセットを選択する必要はありません。
2. 「EQプリセット」/「ライブラリー」の項目にある「エクスポート」をクリックします。

プリセット/ライブラリーを読み込む

1. 読み込み先の、プリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
 - ・ライブラリーを読み込みたい場合は、プリセットを選択する必要はありません。
2. 「EQプリセット」/「ライブラリー」の項目にある「開く」をクリックし、外部ファイルを選択します。
3. 「EQプリセット」/「ライブラリー」の項目にある「インポート」をクリックします。
 - ・プリセット/ライブラリーが読み込まれます。

12 Band EQライブラリー(プリセット)

12 Band EQライブラリー

音声出力に適用する12バンドEQのパターンをプリセットとして読み込み・書き出しすることができます。

EQプリセット	全バンドのEQパターンが保存された設定のことを表します。
ライブラリー	すべてのプリセットをまとめたグループのことを表します。

プリセット名を変更する

1. 変更したいプリセット名をクリックします。
2. プリセット名を入力します。

プリセット/ライブラリーを書き出す

1. 変更したいプリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
 - ・ライブラリーを書き出したい場合は、プリセットを選択する必要はありません。
2. 「EQプリセット」/「ライブラリー」の項目にある「エクスポート」をクリックします。

プリセット/ライブラリーを読み込む

1. 読み込み先の、プリセット番号のラジオボタンをクリックします。
 - ・クリックすると、選択状態(青色)になります。
 - ・ライブラリーを読み込みたい場合は、プリセットを選択する必要はありません。
2. 「EQプリセット」/「ライブラリー」の項目にある「開く」をクリックし、外部ファイルを選択します。
3. 「EQプリセット」/「ライブラリー」の項目にある「インポート」をクリックします。
 - ・プリセット/ライブラリーが読み込まれます。

ログ設定(ログ設定)

ログ設定

ログメッセージに関する設定とログファイルのダウンロードをします。

作動	ログメッセージを保存するか設定します。
出力先	ログメッセージを内部メモリに書き出すか、またはSyslogサーバーに転送するかを設定します。
ログ・ファイル	「ダウンロード」をクリックすると、内部メモリに記録されたログファイルをダウンロードすることができます。

設定を行ったあと、「適用」をクリックすると、設定が完了します。

・ Syslogとは、IPネットワーク上でログメッセージを転送するための標準規格です。コンピュータシステムの管理やセキュリティ監視を目的として使用されています。

システムの詳細設定を行う(設定 & 保守)

システム情報(システム情報)

システム情報

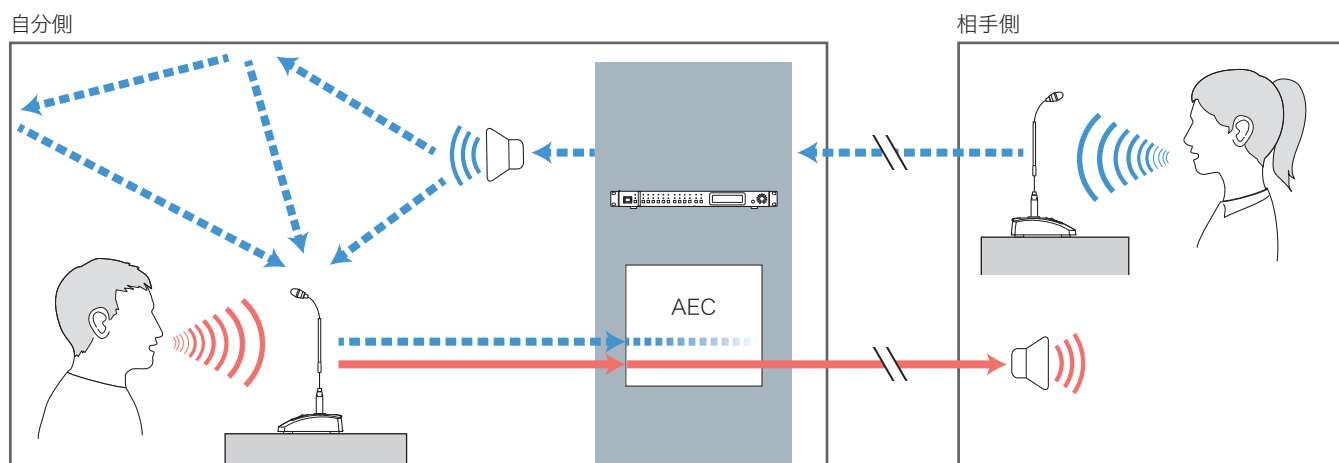
各種ネットワーク設定、本製品のシリアル番号やファームウェアバージョンなど、システムに関する情報を表示します。「エクスポート」をクリックすると、システム情報をテキストファイルに書き出すことができます。

主な機能について

AEC(アコースティックエコーキャンセラー)

アコースティックエコーは、電話会議など離れた拠点間で会議を行う場合、スピーカーから出力された音声をマイクロホンで拾うことにより発生する現象です。相手側からの音声は、スピーカーで拡声されますが、その音声は部屋の天井や壁、床などで反射し、自分側の音声とともにマイクロホンに拾われて相手側へ戻ります。これにより、相手側では自身の声が遅れて聞こえてくるので、耳障りで喋りにくなります。

アコースティックエコーキャンセラーは、相手側の信号をリファレンス信号として、自分側から送られる音声信号から相手側のエコー成分のみ除去します。これにより、エコー成分のないクリアな音声を相手側へ届けることができます。



主な機能について

AECを設定する

1. 「AEC」をクリックします。



2. 「Mode」から「AEC」を選択します。



3. 「AEC Reference」からリファレンス信号(エコー除去を行いたい信号)を選択します。

- ・ 基本的には、相手側の信号をリファレンス信号にします。



4. 使用するマイクロホン(各チャンネル)のAECをONに設定します。



5. 相手側に戻す信号(出力バス)をMatrixアサイン設定画面の「NC Bus Select」で選択します。

- ・ ノイズキャンセリング機能を使用するには、本設定を行います。ノイズキャンセリング機能はバス単位で設定します。Matrixアサイン設定画面を表示して、バス単位で設定を行ってください。AECを設定する際は、Matrixアサイン設定画面でノイズキャンセリング機能も設定することをお勧めします。



主な機能について

6. ERLメーターが振れることを確認します。
 - ・以降の手順は必要に応じて設定してください。



7. ERLメーターが0以下になるようにマイクロホンとの距離やスピーカーの位置、入力レベルなどを調整します。

8. 必要に応じて「NLP」をONに設定します。
 - ・エコーキャンセル効果が向上します。



主な機能について

スマートミキサー

スマートミキサーは、不特定多数の参加者が同時に発言するような会議などで、ハウリングを発生させず余計なノイズを拾わないよう自動的にマイクチャンネルの音声入出力を調整する機能です。特にパネルディスカッションのような発言の順番が決まられていない会議に有効で、オペレーターの煩雑なフェーダー操作を自動化することで、効率的で安定した運用が可能となります。スマートミキサーには、「ゲートモード」と「ゲインシェアリングモード」の2種類があります。

ゲートモードのスマートミキサー

マイクに音声入力があると、そのチャンネルは自動的にオープンとなります。複数のマイクに音声入力があった場合、オープンになったチャンネルの音声はすべて加算されます。単純に加算していくとハウリングマージンの低下など音声品質に問題が生じるため、ゲートモードのスマートミキサーでは、オープンになっているマイクチャンネル数に応じて、加算された音声を減衰します。

ゲインシェアリングモードのスマートミキサー

各マイクチャンネルの音声入力レベルとオープンになっているマイクチャンネルの音声入力レベルの合算値を比較し、その比率に応じて、各チャンネルでゲインを分け合います。これにより、マイク1本からの音声入力でも複数からでも、トータルのゲインが常にマイク1本分(一定)となります。

ゲートモードのスマートミキサーを設定する

設定はすべてウェブリモートで行います。

1. 「Smart Mix」をクリックします。



2. 設定するグループを選択し、「Mode」から「Gate」を選択します。



3. スマートミキサーを使用したいチャンネルグループと、「Enable」をクリックします。



主な機能について

4. 必要に応じてチャンネルごとの「Priority」、「Can Cut」、「Off Attenuation」、「Threshold」を設定します。

Priority (優先権)	ONにすると、OFFのチャンネルに優先して、マイク入力チャンネルのゲートが開きます。 ・優先モードの設定によりゲートが開かないこともあります。
Can Cut (オフ可能)	「Priority」がONのチャンネルで本設定をONにすると、このマイク入力チャンネルのゲートが開いたとき、「Priority」がOFFのチャンネルは、ゲートが閉じます。
Off Attenuation (オフアッテネーション)	マイク入力チャンネルのゲートが閉じているときの減衰量を設定します。
Threshold (スレッシュホールド)	マイク入力チャンネルのゲートが閉じているときのスレッシュホールドを設定します。



5. 「Last Mic On」、「Hold Time」、「NOMA」、「Num of Open Mics」、「Fixed Threshold」、「Threshold Level」の設定を行います。

Last Mic On (ラストマイクオン)	ONにすると、最後に開いたマイク入力チャンネルのゲートをそのまま保持します。
Hold Time (ホールドタイム)	音声入力が無くなってから、マイク入力チャンネルのゲートを閉じるまでの時間を設定します。
NOMA	開いているマイク入力チャンネルのゲート数に応じて、出力を減衰する機能です。ハウリング防止のため「NOMA」はONにすることを推奨します。
Num of Open Mics (発言マイク数)	マイク入力チャンネルの、同時に開くゲート数を制限します。運用方法に応じて数値を変更してください。
Priority Mode (優先モード)	現在開いているマイク入力チャンネルのゲート数が、「Num of Open Mics」に達している場合、以下のとおりです。 モード1: 「Priority」がONのチャンネルでも開くことができません。 モード2: 「Priority」がONのチャンネルであれば開くことができます。
Fixed Threshold	マイク入力チャンネルのゲートが開くレベルを固定にする機能です。
Threshold Level	マイク入力チャンネルのゲートが開くレベルを設定します。

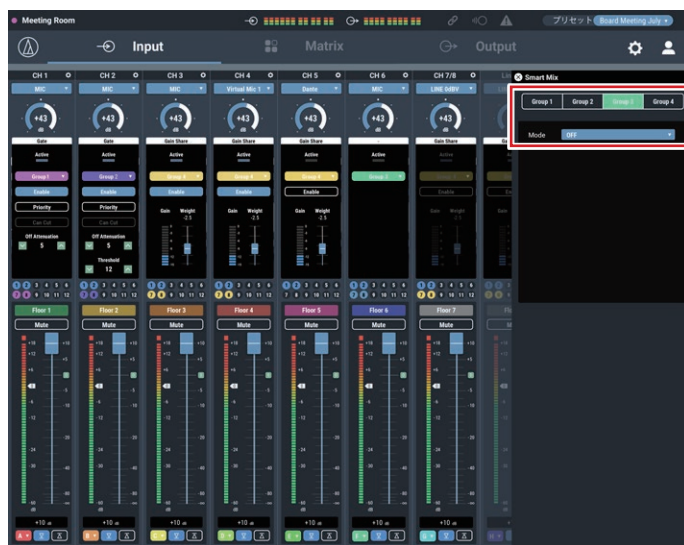
ゲインシェアリングモードのスマートミキサーを設定する

設定はすべてウェブリモートで行います。

1. 「Smart Mix」をクリックします。



2. 設定するグループを選択し、「Mode」から「Gain Share」を選択します。



主な機能について

3. スマートミキサーを使用したいチャンネルグループと、「Enable」をクリックします。

- ・ クリックすると、ON(紫色)になります。



4. 必要に応じてチャンネルごとの「Weight」を設定します。
 - ・ 配分されるゲインの量を調整できます。各チャンネルの暗騒音のバランスをとるときにも使用します。
5. 各チャンネルのゲインメーターで、入力信号によって配分されるゲイン量が増えることを確認します。

主な機能について

Audio-Technica LINK

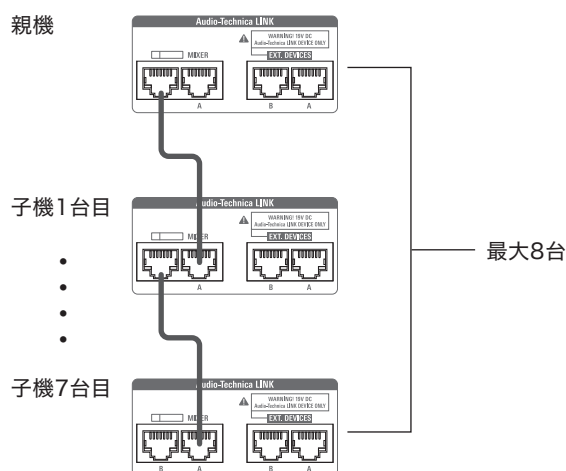
本製品は、最大8台のATDM-1012をデジチェーン接続し、システム全体で80マイク/ライン入力、16アンバランスステレオ入力の音声入力に対応可能です。機器間の音声バス信号の伝送に、独自フォーマット「Audio-Technica LINK」を採用し、低レイテンシーの高速信号伝送により、安定した制御と非圧縮音声信号の伝達を可能としています。また、イーサネット規格に準拠し、汎用的なLANケーブル(Cat5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付き)による接続が可能のため、高い施工性を実現しています。

接続および設定方法

1. ATDM-1012(最大8台)をデジチェーン接続します。

- ・リング接続はしないでください。接続両端のATDM-1012のLINK端子は、必ずどちらか一方が接続されていない状態としてください。
- ・接続に使用するLANケーブルはCat5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きのものを使用してください。

接続例



2. ウェブリモートを起動して、各ATDM-1012のAudio-Technica LINKに関する設定を行います。

3. 「Audio-Technica LINKモード」で、どちらか一方の端に接続されているATDM-1012を「親機」に設定します。

- ・中間に接続されているATDM-1012は、「親機」に設定しないでください。接続が正しく認識されません。



4. ほかのATDM-1012は「子機」に設定してください。

- ・複数のATDM-1012に「親機」の設定を行わないでください。

・フロントパネルで親機・子機の設定もできます。ホーム画面でダイヤルボタンを回して「Set」を選択し、ダイヤルボタンを押します。ダイヤルボタンを回して「[1]System Setting」>「LINK Mode」から「Primary」(親機)／「Extension」(子機)を設定します。

主な機能について

音声バスの共有について

Audio-technica LINK時は、音声バス1～音声バス12、AECリファレンス信号バス、ダッキングトリガー信号バス1～4を機器間で共有します。

音声バス1～バス12:

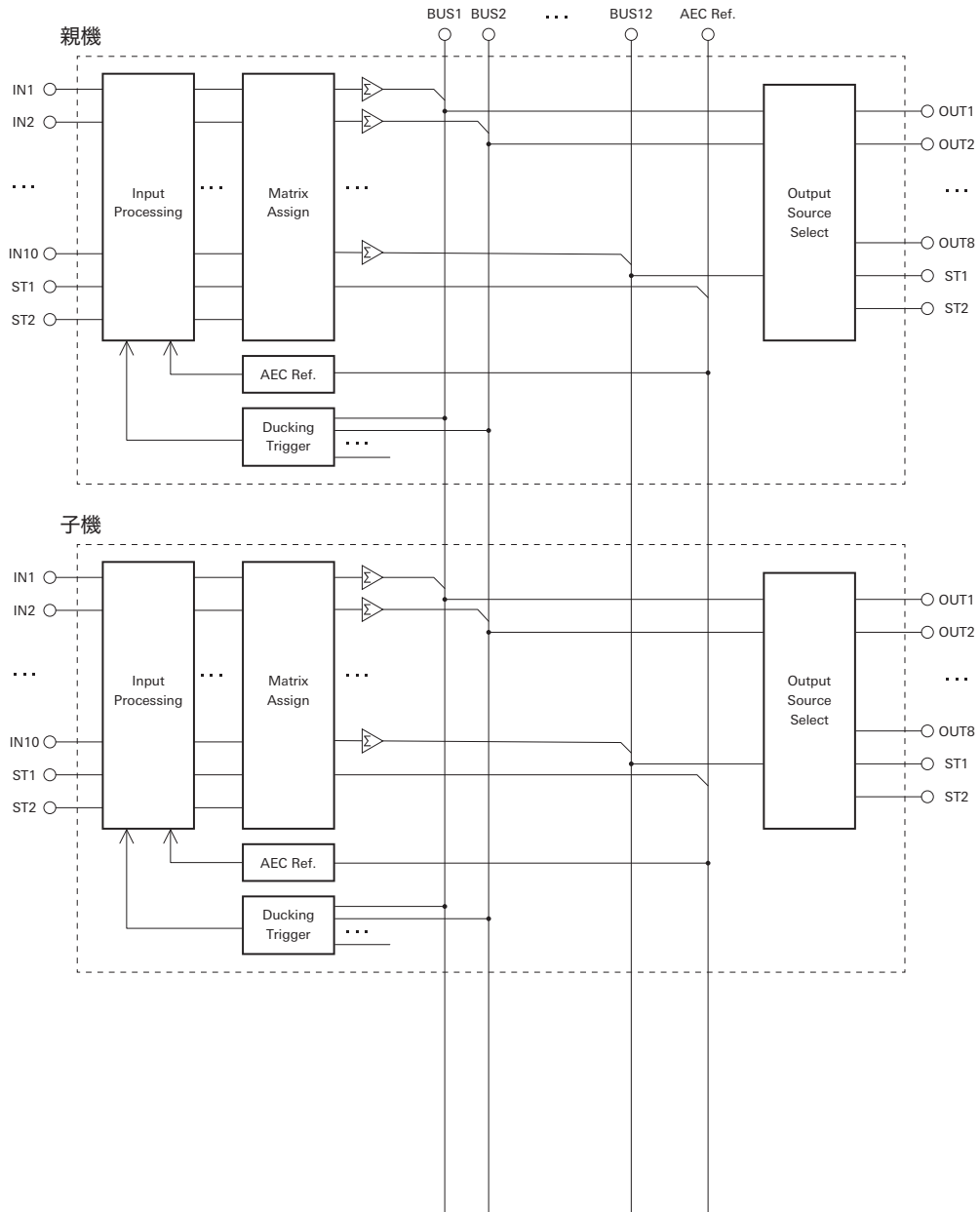
各バスにアサインされた信号をすべての親機、子機で共有可能です。それぞれのミキサーは任意のバス音声を出力することで自由な音声系統を組むことが可能です。

AECリファレンス信号バス:

AECリファレンス信号を共有することで、リンクした親機、子機が共通の音声に対してエコーキャンセルが可能です。

ダッキングトリガー信号バス:

ダッキングトリガー信号を共有することで、リンクした親機、子機が共通の入力音声に対してそれぞれのステレオ入力音声にダッキングを掛けることが可能です。



主な機能について

Audio-Technica LINK時のスマートミキサー機能、ダッキング機能について

スマートミキサー機能

- Audio-Technica LINK接続時、子機の設定が親機の設定に上書きされます。
- 親機、子機で同じグループ設定をしている入力チャンネルは、そのグループ単位で動作します。
- 「Mode」を「Gate」に設定したときに設定できるすべての項目は、親機の設定に従います。入力画面の各チャンネルでの設定項目は子機の設定で動作します。

ダッキング機能

Audio-Technica LINK時は、各ミキサーが共有しているバス1～バス4の音声信号をそれぞれのミキサーで個別に トリガーとして設定可能です。

プリセット機能

Audio-Technica LINK時は、子機の「プリセット呼び出し連動」設定をONにすることで、親機と同じ番号のプリセットを自動的に適用します。

操作者画面について

Audio-Technica LINK時、親機、子機それぞれの入力チャンネルに割り当てられた各グループの音声レベルは特定の操作者画面でグループフェーダー(A～H)を設定、使用した場合にその操作に連動して変化します。また、そのときのグループフェーダー上のSignal/Peak信号はリンクした親機、子機の各グループに割り当てられた入力信号の最大値となります。

主な機能について

フロントパネルの操作制限について

本製品では、フロントパネルのボタンやダイヤルを使用して操作する場合に、以下の2つのモードを用意しています。

オペレーターモード:

プリセット設定の読み込みや音声レベルの調整など日々の運用を行うモード

アドミニストレーターモード:

本製品を現場へ設置・導入し、詳細な設定を行うモード

通常、電源をONにするとオペレーターモードで起動します。そのため、誤操作による機器の設定変更などのトラブルを未然に防ぎ、システムの安全な運用を可能としています。

ここでは、ウェブリモートを使用し、フロントパネルでの操作に制限を加える手順について説明します。

- ・アドバンスモードでは、制限を加えることはできません。

1. 「管理者」を選択し、「ログイン」をクリックします。

- ・パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してログインしてください。
- ・操作者でログインしている場合は、ログアウトしてから再ログインしてください。



2. 画面右上のアイコン(⚙️)をクリックします。



3. 「フロントパネル」をクリックします。

4. 「レベル」の設定で、音声レベルの調整について操作制限を行います。

- ・INPUT(入力) / OUTPUT(出力)の各チャンネルにチェックが入っていると、音声レベルの調整が可能となります。
- ・操作を禁止する場合は、チェックを外してください。

5. 「ミュート」の設定で、操作制限を行います。

- ・INPUT(入力) / OUTPUT(出力)の各チャンネルにチェックが入っていると、ミュート操作が可能となります。
- ・操作を禁止する場合は、チェックを外してください。

6. 「フロントパネル制限」の設定で、本製品のフロントパネルでプリセットの呼び出しをできるようにするかを設定します。

- ・クリックするたびに、ON(青色) / OFF(色なし)が切り替わります。

7. 「適用」をクリックします。

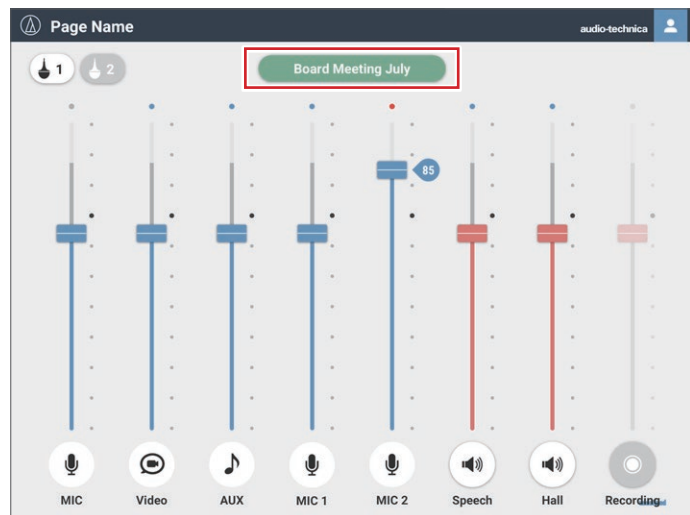
- ・設定が完了します。

主な機能について

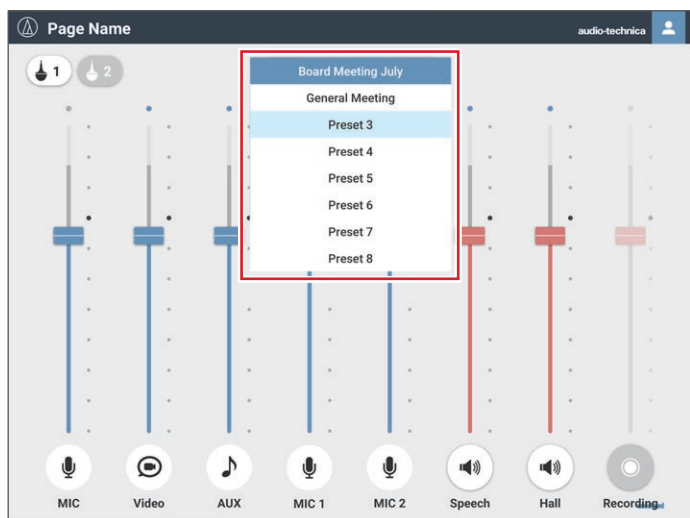
プリセットを呼び出す

操作者画面

1. 画面上部の緑色のエリアをクリックします。



2. プルダウンメニューから任意のプリセットを選択します。
 - ・ プリセット名が表示され、プリセットの内容にしたがって設定が変更されます。

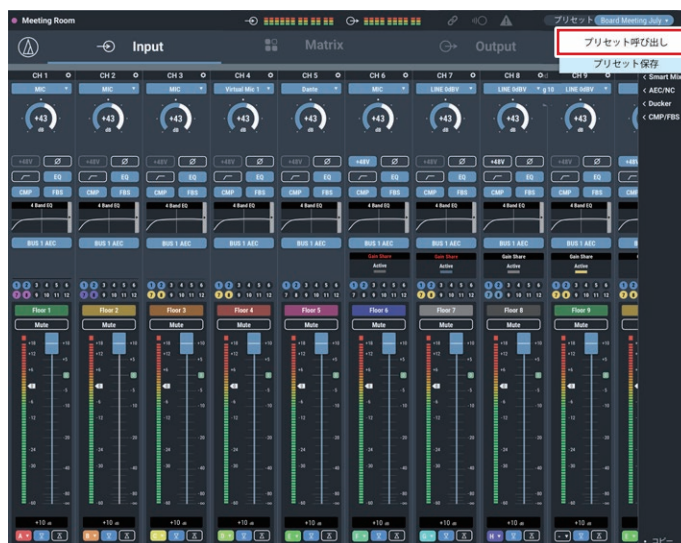


管理者画面

1. 画面右上部の「プリセット」をクリックします。



2. プルダウンメニューから「プリセット呼び出し」を選択します。



3. 任意のプリセットを選択します。
 - ・ プリセット名が表示され、プリセットの内容にしたがって設定が変更されます。

主な機能について

設定をコピーする

チャンネルごとに設定した内容を、ほかのチャンネルにコピーすることができます。

1. コピーしたいチャンネルのアイコン(⚙️)をクリックします。



2. 「コピー」をクリックします。



3. コピーしたいチャンネルを選択します。

- ・ほかのチャンネルを選択し直す場合は、チャンネルをクリックしてください。選択が解除されます。再度コピーしたいチャンネルを選択してください。

4. コピー先のチャンネルを選択します。

- ・ほかのチャンネルを選択し直す場合は、チャンネルをクリックしてください。選択が解除されます。再度コピー先のチャンネルを選択してください。

5. 「貼り付け」をクリックします。

- ・コピーをキャンセルしたい場合は、「キャンセル」をクリックしてください。元の画面に戻ります。

主な機能について

設定をリセットする

チャンネルごとに設定した内容を、リセットして初期設定に戻すことができます。

1. リセットしたいチャンネルのアイコン(⚙️)をクリックします。



2. 「リセット」をクリックします。



チャンネルをリンクする

チャンネルをリンクして、設定を共通にします。以下のチャンネルのみリンクすることができます。

入力チャンネル	7&8、9&10
サブチャンネル	1&2、3&4、5&6、7&8
出力チャンネル	1&2、3&4、5&6、7&8

1. リンクしたいチャンネルのアイコン(⚙️)をクリックします。



2. 「リンク7&8」をクリックします。



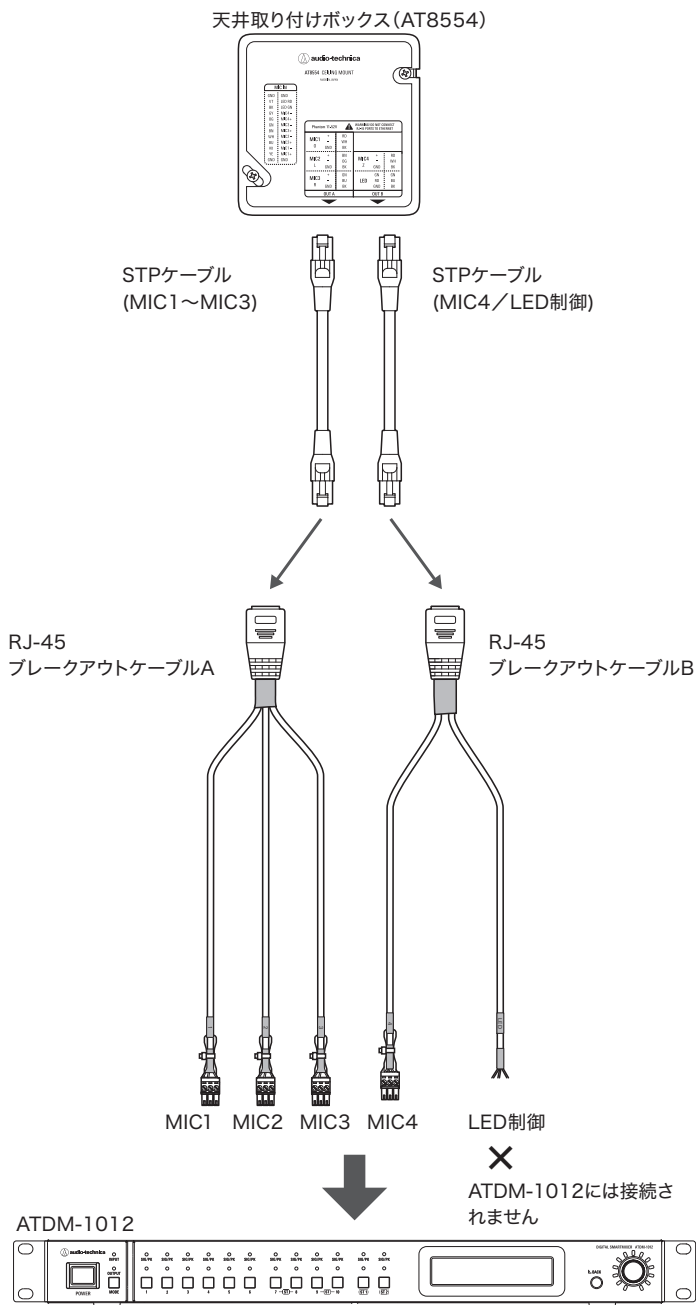
3. チャンネルがリンクされていることを確認します。
 - ・チャンネル8がチャンネル7の設定と同じになります。
 - ・リンクされたチャンネル8はグレーアウトし、操作できなくなります。

主な機能について

ES954 (ハンギングマイクロホンアレイ) を使用する

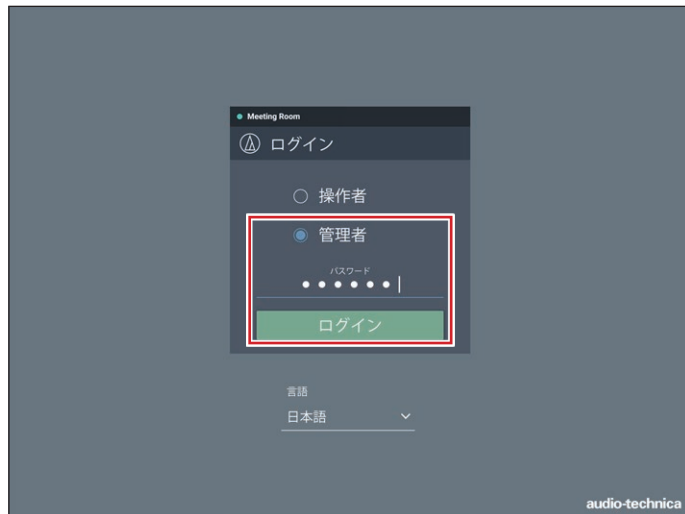
ES954の接続と設定

- ES954を ATDM-1012に接続します。
 - ES954のMIC1~4を ATDM-1012の入力チャンネル1~4または6~9に接続します。



管理者用ページを設定する

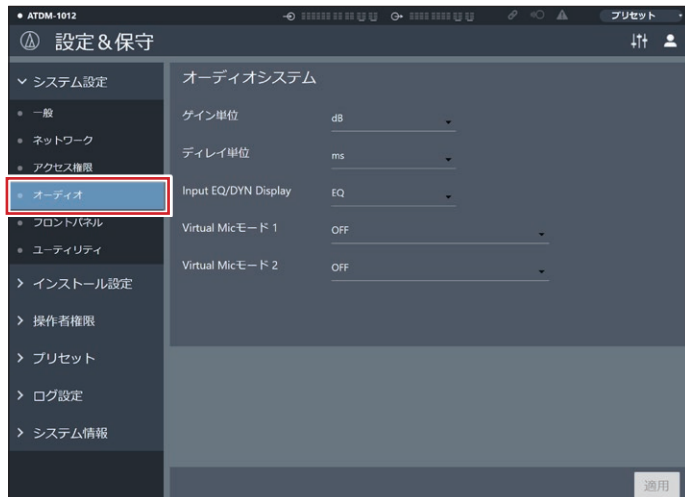
- ウェブリモートを起動し、「管理者」でログインします。



- 画面右上のアイコン(⚙️)をクリックして、「設定&保守」画面を表示します。



- 「オーディオ」をクリックします。



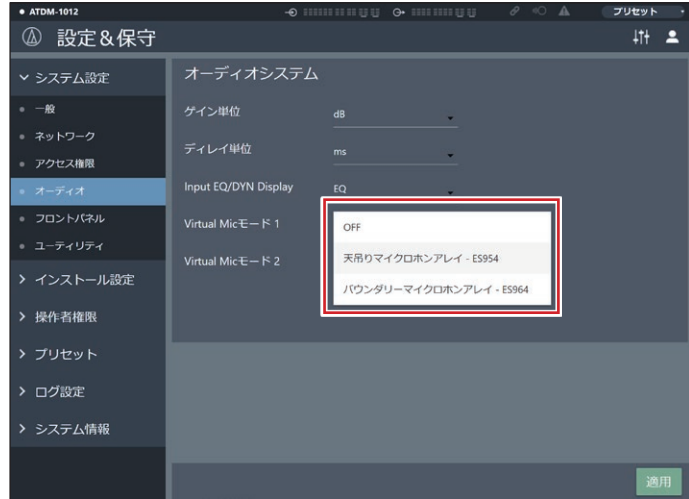
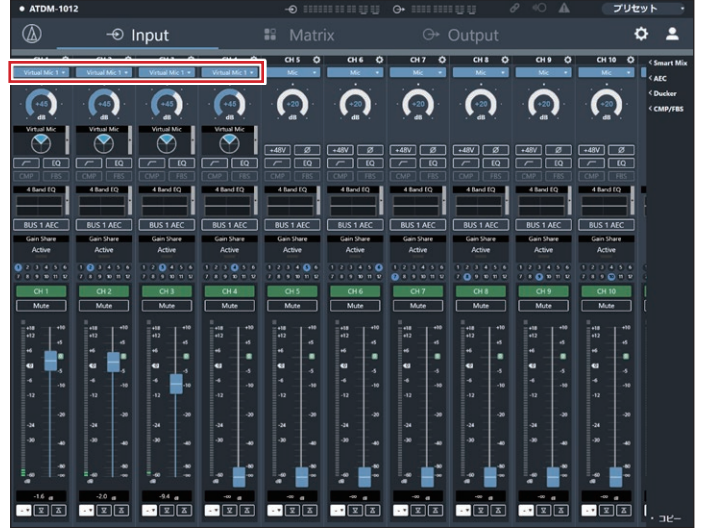
主な機能について

4. 「Virtual Micモード」で「天吊りマイクロホンアレイ - ES954」を選択して「適用」をクリックします。

Virtual Micモード1	
OFF	アレイマイクの選択なし
天吊りマイクロホンアレイ - ES954	入力チャンネル1~4にES954を接続し、ファントム電源は自動で「ON」になります。
バウンダリーマイクロホンアレイ - ES964	入力チャンネル1~3にES964を接続し、ファントム電源は自動で「ON」になります。
Virtual Micモード 2	
OFF	アレイマイクの選択なし
天吊りマイクロホンアレイ - ES954	入力チャンネル6~9にES954を接続し、ファントム電源は自動で「ON」になります。
バウンダリーマイクロホンアレイ - ES964	入力チャンネル6~8にES964を接続し、ファントム電源は自動で「ON」になります。

6. Inputタブで入力チャンネル1~4の入カタイプが「Virtual Mic 1」に(または入力チャンネル6~9の入カタイプが「Virtual Mic 2」)になっていることを確認します。

- 「Virtual Mic 1」または「Virtual Mic 2」が自動選択されなかった入力チャンネルでも、手で「Virtual Mic 1」または「Virtual Mic 2」を選択して同様の設定を行うことができます。



7. 必要に応じて「入力ゲイン」、「ローカット」、「EQ」、「Smart Mix」、「アサイン」、「ボリューム」を設定します。

- 入力タイプに「バーチャルマイク」を選択しているチャンネルの入力ゲイン値は連動します。
- 「ローカット」、「EQ」、「Smart Mix」、「ルーティング」、「ボリューム」はチャンネルごとに設定できます。

5. 画面切り替えアイコン(↑↓)をクリックして音声入出力画面を表示します。



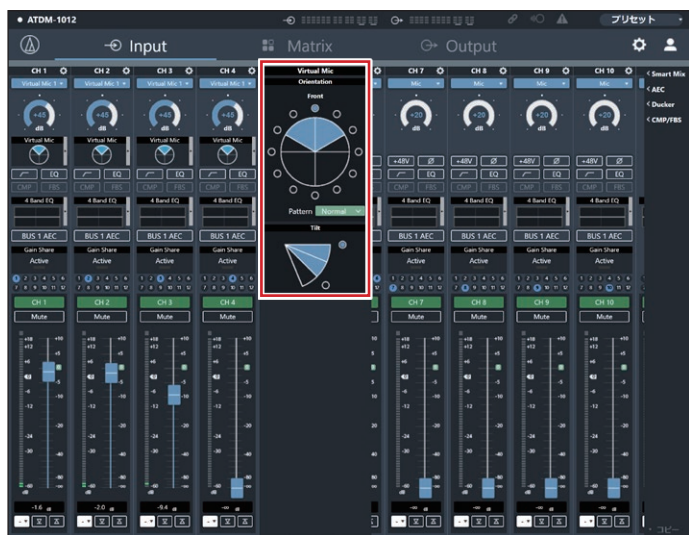
主な機能について

8. 「ES954」の設定したいチャンネルの Virtual Mic ボックス右側をクリックします。



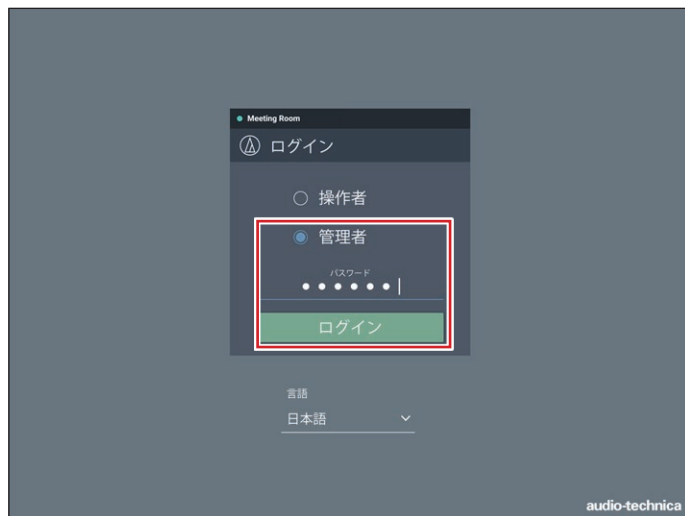
9. チャンネルごとにバーチャルマイクの「Orientation」、「Pattern」、「Tilt」を設定します。

Orientation	円の周りの丸いボタンをクリックし、各バーチャルマイクの方向の向きを設定します。「Front(前方)」とはES954のaudio-technicaロゴがある方を示しています。
Pattern	マイクの指向性を「Wide(ワイド)」、「Normal(ノーマル)」、「OMNI」から選択します。
Tilt	垂直面方向の指向性を調整できます。



操作者用ページを設定する

1. ウェブリモートを起動し、「管理者」でログインします。



2. 画面右上のアイコン(⚙️)をクリックして、「設定&保守」画面を表示します。



3. 「操作者用ページ」をクリックします。

4. 「Array Mic スイッチ」を ON にします。

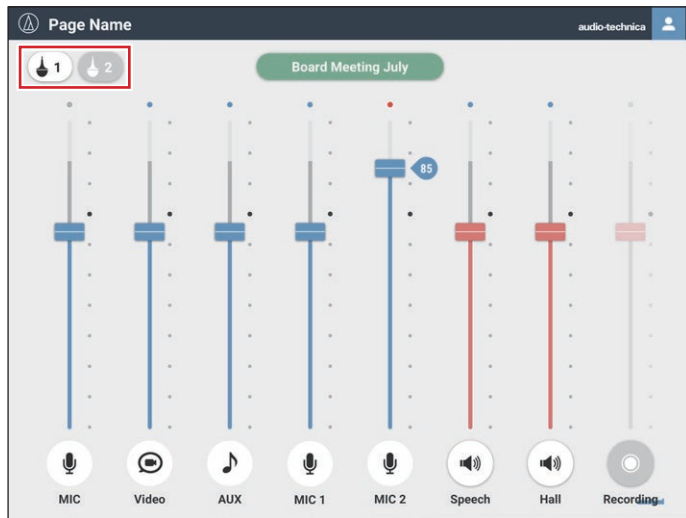
5. 「適用」をクリックします。

・ 設定が完了します。

6. ログアウトし、「操作者」で再ログインします。

主な機能について

7. アレイマイクのアイコンをクリックすることで、ES954のON / OFFを切り替えることができます。
- ・アレイマイクON / OFFの状態は保存されません。(電源再起動後はON状態になります。)
 - ・アレイマイクON / OFFの状態はプリセットの対象に含みません。

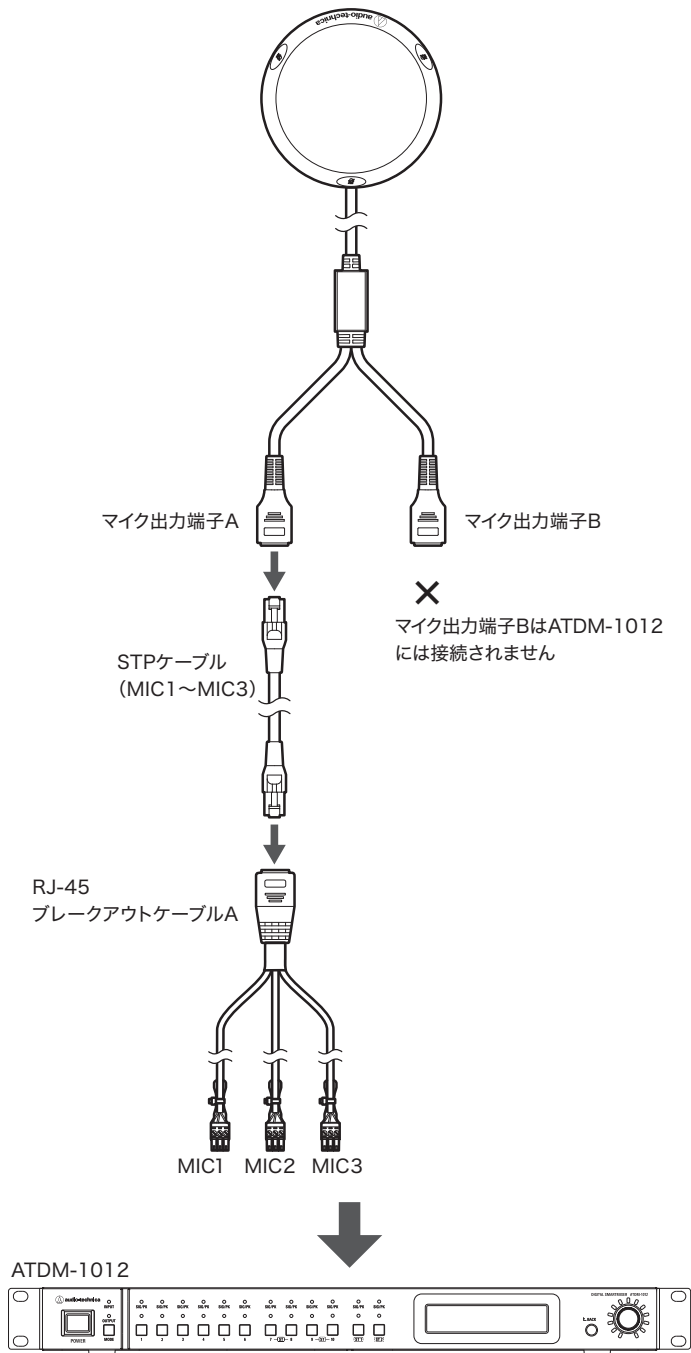


主な機能について

ES964 (バウンダリーマイクロホンアレイ) を使用する

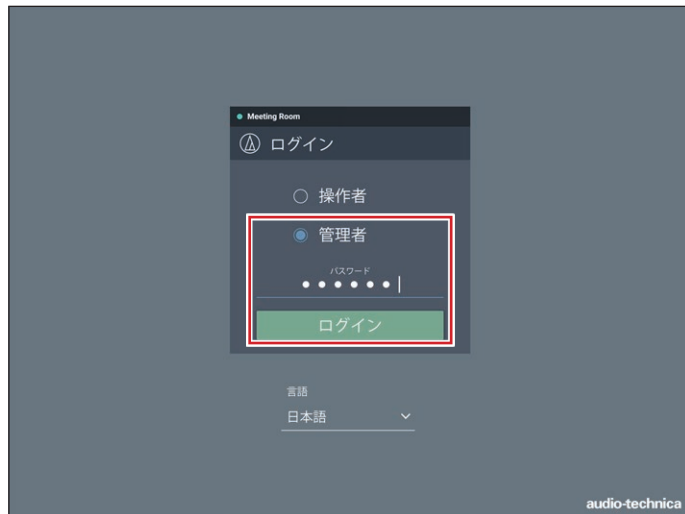
ES964の接続と設定

- ES964のMIC1~3を本製品の入力チャンネル1~3に接続します。



管理者用ページを設定する

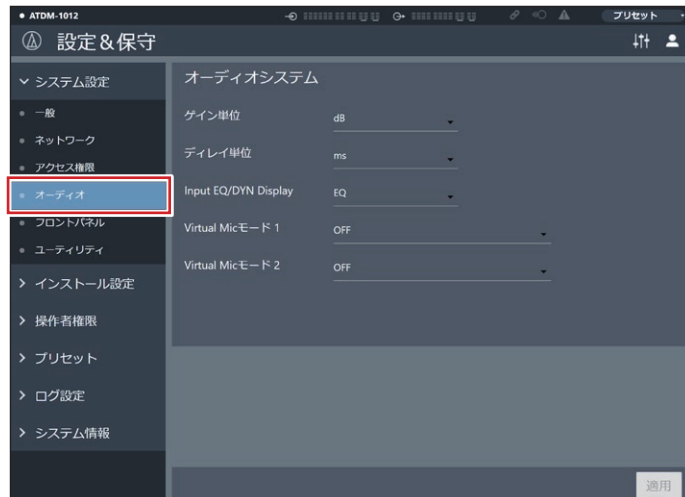
- ウェブリモートを起動し、「管理者」でログインします。



- 画面右上のアイコン(⚙️)をクリックして、「設定&保守」画面を表示します。



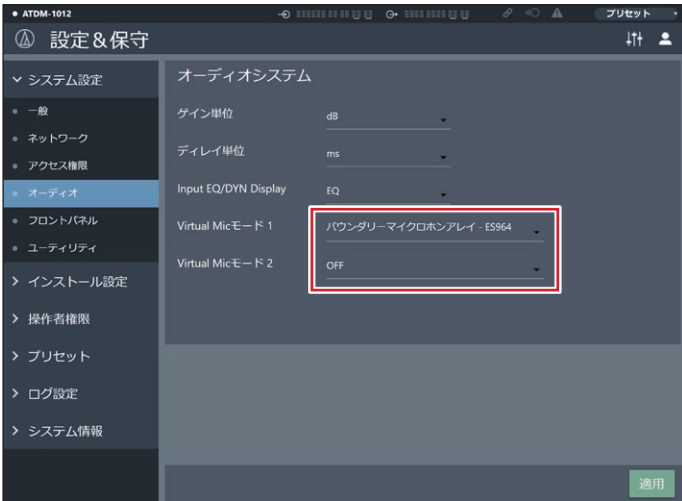
- 「オーディオ」をクリックします。



主な機能について

4. 「Virtual Micモード」で「バウンダリーマイクロホンアレイ - ES964」を選択して「適用」をクリックします。

Virtual Micモード1	
OFF	アレイマイクの選択なし
天吊りマイクロホンアレイ - ES954	入力チャンネル1~4にES954を接続し、ファントム電源は自動で「ON」になります。
バウンダリーマイクロホンアレイ - ES964	入力チャンネル1~3にES964を接続し、ファントム電源は自動で「ON」になります。
Virtual Micモード2	
OFF	アレイマイクの選択なし
天吊りマイクロホンアレイ - ES954	入力チャンネル6~9にES954を接続し、ファントム電源は自動で「ON」になります。
バウンダリーマイクロホンアレイ - ES964	入力チャンネル6~8にES964を接続し、ファントム電源は自動で「ON」になります。



5. 画面右上のアイコン (↑↓) をクリックして音声入出力画面を表示します。

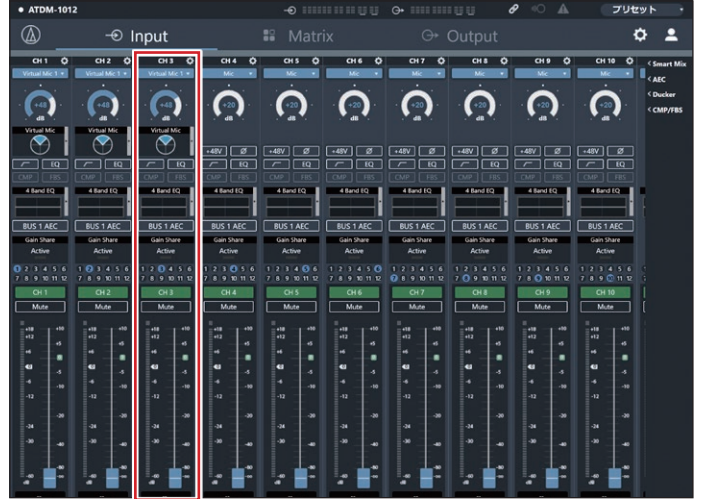
6. Inputタブで入力チャンネル1~3の入力タイプが「Virtual Mic 1」に (または入力チャンネル6~8の入力タイプが「Virtual Mic 2」) になっていることを確認します。

・「Virtual Mic 1」または「Virtual Mic 2」が自動選択されなかった入力チャンネルでも、手動で「Virtual Mic 1」または「Virtual Mic 2」を選択して同様の設定を行うことができます。



7. 必要に応じて「入力ゲイン」、「ローカット」、「EQ」、「Smart Mix」、「アサイン」、「ボリューム」を設定します。

・入力タイプに「バーチャルマイク」を選択しているチャンネルの入力ゲイン値は連動します。
 ・「ローカット」、「EQ」、「Smart Mix」、「ルーティング」、「ボリューム」はチャンネルごと設定できます。



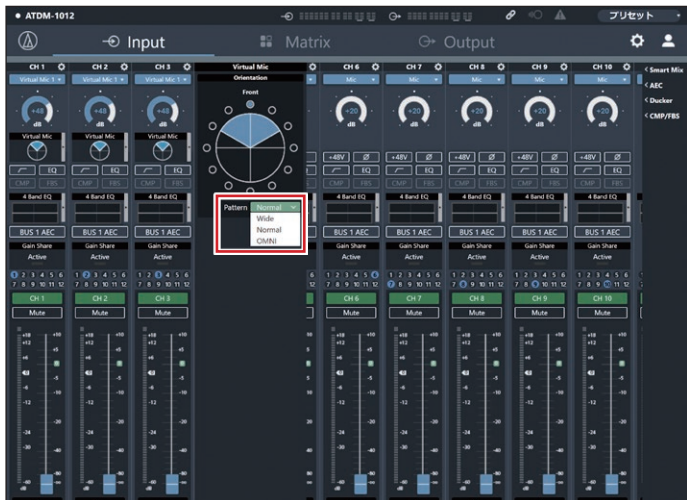
8. 「ES964」の設定したいチャンネルのVirtual Micボックス右側をクリックします。



主な機能について

9. チャンネルごとにバーチャルマイクの「Orientation」、**「Pattern」**を設定します。

Orientation	円の周りの丸いボタンをクリックし、各バーチャルマイクの方向の向きを設定します。 「Front(前方)」とはES964のaudio-technicaロゴがある方を示しています。
Pattern	マイクの指向性を「Wide(ワイド)」、「Normal(ノーマル)」、「OMNI」から選択します。

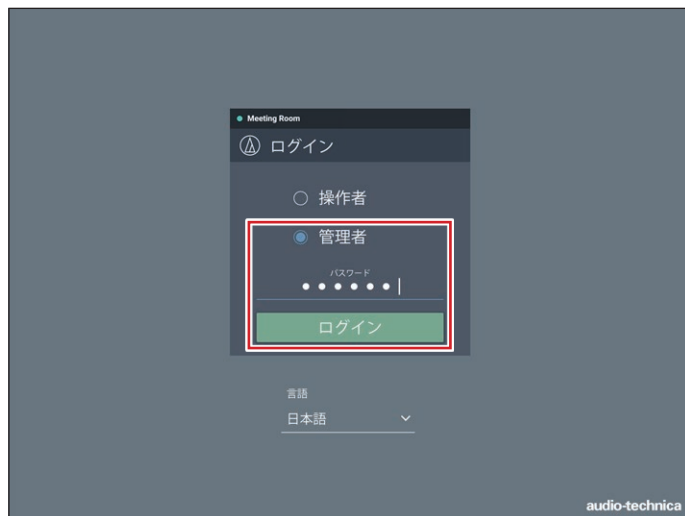


10. インプットフェーダーを使用し、各Virtual Micのインプットレベルを調整します。



操作者用ページを設定する

1. ウェブリモートを起動し、「管理者」でログインします。



2. 画面の右上のアイコン(⚙️)をクリックします。「設定&保守」画面を表示します。



3. 「操作者用ページ」をクリックします。

4. 「Array Micスイッチ」をONにします。

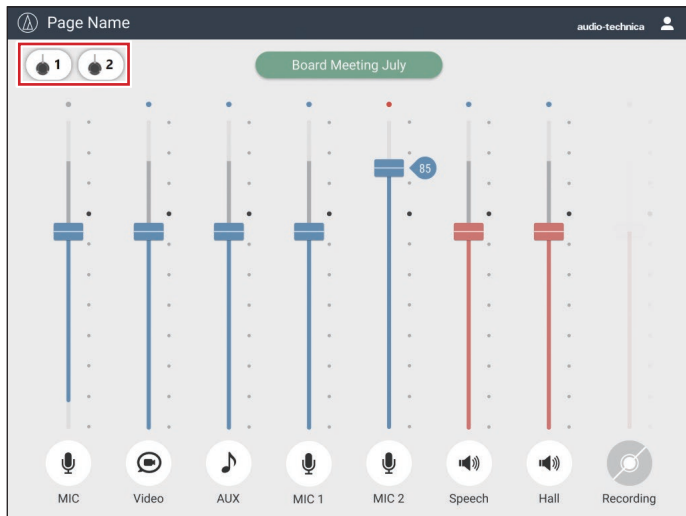
5. 「適用」をクリックします。

・設定が完了します。

6. ログアウトし、「操作者」で再ログインします。

主な機能について

7. アレイマイクのアイコンをクリックすることで、ES964のON / OFFを切り替えることができます。
- ・アレイマイク ON / OFF の状態は保存されません。(電源再起動後は ON 状態になります。)
 - ・アレイマイク ON / OFF の状態はプリセットの対象に含みません。



主な機能について

ダッカー機能

本製品は入力チャンネルSTにダッカー機能を搭載しています。

スピーチの始まりおよび終わりに合わせて、BGMの音量を自動で小さくしたり、元に戻したりする機能です。常にBGMを流して、途中でスピーチやアナウンスが入る場所で便利な機能です。

ダッカーを設定する

1. ウェブリモートを起動し、「管理者」でログインします。



2. 「Ducker」をクリックします。



3. 「Enable」をクリックします。

・ 選択したバスにアサインした信号がトリガーになり、各入力チャンネルにダッキングがかかります。



4. ダッキングをかけたい入力チャンネルの、トリガーとなるバスをプルダウンで選択します。

・ SUB入力チャンネルは、1/2, 3/4がペアのときのみダッキングを設定できます。

本体メニュー項目一覧

Administrator モード

Audメニュー一覧

項目名			設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Channel Setting	In 1~10	Source	Analog, Dante1~10*	Analog	✓	✓
		Unity	Mic, Line +4, Line 0, Line -10, Line -20	Mic	✓	✓
		Gain	+20dB ~ +60dB	+20dB	✓	✓
		Phantom	Off, On	Off	✓	✓
		Phase	Normal, Invert	Normal	✓	✓
		Low Cut	Off, On	Off	✓	✓
		FBS	Off, On	Off	✓	✓
		EQ	Off, On	Off	✓	✓
		Comp	Off, On	Off	✓	✓
		SM Group	Group1~4	Group1	✓	✓
		SM Enable	Off, On	Off	✓	✓
		Priority	Off, On	Off	✓	✓
		AEC	Off, On	Off	✓	✓
	Level	-120.0dB ~ +10.0dB, -∞dB	-∞dB	✓	✓	
	Mute	Off, On	Off	✓	✓	
	In S1	Source	Analog, USB	Analog	✓	✓
		Unity	Line 0, Line -10, Line -20	Line 0	✓	✓
		Gain	-20dB ~ +20dB	0dB	✓	✓
		EQ	Off, On	Off	✓	✓
		Level	-120.0dB ~ +10.0dB, -∞dB	-∞dB	✓	✓
		Mute	Off, On	Off	✓	✓
	In S2	Source	Analog, USB	Analog	✓	✓
		Unity	Line 0, Line -10, Line -20	Line 0	✓	✓
		Gain	-20dB ~ +20dB	0dB	✓	✓
		EQ	Off, On	Off	✓	✓
		Level	-120.0dB ~ +10.0dB, -∞dB	-∞dB	✓	✓
		Mute	Off, On	Off	✓	✓
	Sub 1~8	Source	Off, Input 1~10, Dante1~16*, Bus 1~8	Off	✓	✓
		Low Cut	Off, On	Off	✓	✓
		Level	-120.0dB ~ +10.0dB, -∞dB	-∞dB	✓	✓
		Mute	Off, On	Off	✓	✓
	Out 1~8	Source	Bus 1~12, DOUT 1~8	Bus 1~8	✓	✓
		Unity	+4dBu, 0dBV, -10dBV	+4dBu	✓	✓
		FBS	Off, On	Off	✓	✓
		EQ	Off, On	Off	✓	✓
		Complnsrt	PstFader, PreFader	PstFader	✓	✓
		Comp	Off, On	Off	✓	✓
		Level	-120.0dB ~ +10.0dB, -∞dB	-40.0dB	✓	✓
		Mute	Off, On	Off	✓	✓
	Out S1	Source	Bus1/2, Bus3/4, Bus5/6, Bus7/8, Bus9/10, Bus11/12, DOUT9/10	Bus9/10	✓	✓
		Unity	0dBV, -10dBV, -33dBV	0dBV	✓	✓
		FBS	Off, On	Off	✓	✓
		EQ	Off, On	Off	✓	✓
		Complnsrt	PstFader, PreFader	PstFader	✓	✓
		Comp	Off, On	Off	✓	✓
Level		-120.0dB ~ +10.0dB, -∞dB	-40.0dB	✓	✓	
Mute		Off, On	Off	✓	✓	
Out S2	Source	Bus1/2, Bus3/4, Bus5/6, Bus7/8, Bus9/10, Bus11/12	Bus11/12	✓	✓	
	Unity	0dBV, -10dBV, -33dBV	0dBV	✓	✓	
	FBS	Off, On	Off	✓	✓	
	EQ	Off, On	Off	✓	✓	
	Complnsrt	PstFader, PreFader	PstFader	✓	✓	
	Comp	Off, On	Off	✓	✓	
	Level	-120.0dB ~ +10.0dB, -∞dB	-40.0dB	✓	✓	
	Mute	Off, On	Off	✓	✓	

* ATDM-1012DANのみ表示されます。

本体メニュー項目一覧

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Matrix Assign	01 Input→Bus	In 1~10		Bus1~12	Bus 1~10	✓	✓
		In S1		Bus1~12	Bus 9/10	✓	✓
		In S2		Bus1~12	Bus 11/12	✓	✓
		Sub 1~8		-	-	✓	✓
	02 Bus →Input	Bus 1~8		Input1~10, S1, S2	Input 1~8	✓	✓
		Bus 9L		Input1~10, S1, S2	Input 9/S1	✓	✓
		Bus 10L		Input1~10, S1, S2	Input 10/S1	✓	✓
Bus 11L			Input1~10, S1, S2	Input S2	✓	✓	
USB OUT Setting	USB OUT	Out1, 2		Off, Bus1~12	Off	✓	✓
		Level		-120.0dB~0.0dB、-∞dB	0.0dB	✓	✓
AEC Setting	AEC Setting	Mode		Off, AEC, NC	Off	✓	✓
Oscillator	Oscillator	Output		Off, On	Off	-	-
		Wave		Sin100Hz, Sin 1kHz, Sin10kHz, Pink	Sin 1kHz	-	-
		Level		-120dB~0dB、-∞dB	-∞dB	-	-
	OSC	Out		-	-	-	-

Pstメニュー一覧

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Recall Presets	01 Preset 1~08 Preset 8	Recall Preset?	Completed!	-	-	-	-
Save Presets	01 Preset 1~08 Preset 8	Save Preset?	Completed!	-	-	-	-
BootUp Presets				Off, On	Off	-	✓

本体メニュー項目一覧

Setメニュー一覧

項目名			設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム	
System Setting	Device Name		(最大30文字まで(ASCIIコードのみ))	ATDM-1012	-	✓	
	Device ID		0~255	0	-	✓	
	LINK Mode		Extension, Primary	Primary	-	✓	
	Panel Err Notice		Off, On	On	-	✓	
	Panel Mode	Panel Mode		Operator, Administrator	Administrator	-	✓
		Admin.Pwd. Login		Off, On	Off	-	✓
		Admin. Password		(empty)、(最小4文字、最大8文字(アルファベットと数字のみ))	(empty)	-	✓
	Network Config*	Config Mode		Switched, Redundant Audio, Split	Switched	-	✓
		Latency		250usec, 500usec, 1msec, 2msec, 5msec	1msec	-	✓
	IP Setting	IP Port Set.	IP Config Mode	Auto, Static	Auto	-	✓
			IP Address	0.0.0.0~255.255.255.255	empty	-	✓
			Subnet Mask	0.0.0.0~255.255.255.255	empty	-	✓
			Gateway Address	0.0.0.0~255.255.255.255	empty	-	✓
		Dante Port Set.*	IP Config Mode	Auto, Static	Auto	-	✓
			IP Address	0.0.0.0~255.255.255.255	XXX.XXX.XXX.XXX	-	✓
			Subnet Mask	0.0.0.0~255.255.255.255	XXX.XXX.XXX.XXX	-	✓
			Gateway Address	0.0.0.0~255.255.255.255	XXX.XXX.XXX.XXX	-	✓
	Allow Discovery		Off, On	On	-	✓	
	IP Ctrl Setting	IP Ctrl Port No		00001~65535	17300	-	✓
		IP Ctrl Ntfy		Off, On	Off	-	✓
		Audio Level Ntfy		Off, On	Off	-	✓
		M-cast Adrs		000.000.000.000~255.255.255.255	225.000.000.100	-	✓
		M-cast Port No		00001~65535	17000	-	✓
	NTP Setting	NTP		Off, On	Off	-	✓
	Reset All Dflt.	Reset All to Dflt? OK, Cancel	Need Reboot.OK? OK, Cancel	-	-	-	-

* ATDM-1012DANのみ表示されます。

本体メニュー項目一覧

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム	
System Info	Device Name			-	ATDM-1012	-	-	
	Device ID			-	0	-	-	
	Serial Number			-	XXXXXXXX	-	-	
	FW Version			-	XX.XX.XX	-	-	
	IP Config Mode			-	Auto	-	-	
	IP Address			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-	
	Subnet Mask			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-	
	Gateway Address			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-	
	Mac Address			-	XX-XX-XX-XX-XX-XX	-	-	
	Dante*	Device Name			-	ATDM1012-XXXXXX	-	-
		Firmware Ver.			-	XX.XX.XX.XX	-	-
		Config Mode			-	Switched	-	-
		Connect Status-P			-	N/C	-	-
		IP Mode-P			-	Auto	-	-
		IP Address-P			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Subnet Mask-P			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Gateway Adrs-P			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Mac Address-P			-	XX-XX-XX-XXXX-XX	-	-
		Connect Status-S			-	N/C	-	-
		IP Mode-S			-	Auto	-	-
		IP Address-S			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Subnet Mask-S			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Gateway Adrs-S			-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Mac Address-S			-	XX-XX-XX-XXXX-XX	-	-
		Latency			-	1msec	-	-
		Clock Status			-	N/A	-	-
	Allow Discovery			-	On	-	-	
	IP Ctrl Port No			-	17300	-	-	
	IP Ctrl Ntfy			-	Off	-	-	
	Audio Level Ntfy			-	Off	-	-	
	M-cast Adrs			-	225.000.000.100	-	-	
	M-cast Port No			-	17000	-	-	
	NTP			-	Off	-	-	
NTP Adrs			-	(empty)	-	-		
NTP Port			-	00123	-	-		
Time Zone			-	00:00	-	-		
LINK Status			-	Off	-	-		
LINK Mode			-	Primary	-	-		
No.ofExtension A			-	-	-	-		
No.ofExtension B			-	-	-	-		
No.ofExtension C			-	-	-	-		
No.ofExtension D			-	-	-	-		
Logging	Logging			Off, On	On	-	✓	
	Destination			Internal, Syslog	Internal	-	✓	
Presets	Recall Presets	Preset 1~8	Recall Preset?	Completed!	-	-	-	
	Save Presets	Preset 1~8	Save Preset?	Completed!	-	-	-	
	BootUp Presets			Off, On	Off	-	✓	

* ATDM-1012DANのみ表示されます。

本体メニュー項目一覧

Operator モード

Lvlメニュー一覧

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
In 1~10	Level			-120.0dB~+10.0dB、-∞dB	-∞dB	✓	✓
	Mute			Off、On	Off	✓	✓
In S1、S2	Level			-120.0dB~+10.0dB、-∞dB	-∞dB	✓	✓
	Mute			Off、On	Off	✓	✓
Sub 1~8	Level			-120.0dB~+10.0dB、-∞dB	-∞dB	✓	✓
	Mute			Off、On	Off	✓	✓
Out 1~8	Level			-120.0dB~+10.0dB、-∞dB	-40.0dB	✓	✓
	Mute			Off、On	Off	✓	✓
Out S1、S2	Level			-120.0dB~+10.0dB、-∞dB	-40.0dB	✓	✓
	Mute			Off、On	Off	✓	✓

Pstメニュー一覧

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Recall Presets	Preset 1~8	Recall Preset?	Completed!	-	-	-	-

本体メニュー項目一覧

Setメニュー一覧

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム	
System Info	Device Name	-	ATDM-1012	-	-	
	Device ID	-	0	-	-	
	Serial Number	-	XXXXXXXX	-	-	
	FW Version	-	XX.XX.XX	-	-	
	IP Config Mode	-	Auto	-	-	
	IP Address	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-	
	Subnet Mask	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-	
	Gateway Address	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-	
	Mac Address	-	XX-XX-XX-XX-XX-XX	-	-	
	Dante*	Device Name	-	ATDM1012-XXXXXX	-	-
		Firmware Ver.	-	XX.XX.XX.XX	-	-
		Config Mode	-	Switched	-	-
		Connect Status-P	-	N/C	-	-
		IP Mode-P	-	Auto	-	-
		IP Address-P	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Subnet Mask-P	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Gateway Adrs-P	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Mac Address-P	-	XX-XX-XX-XXXX-XX	-	-
		Connect Status-S	-	N/C	-	-
		IP Mode-S	-	Auto	-	-
		IP Address-S	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Subnet Mask-S	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Gateway Adrs-S	-	XXX.XXX.XXX.XXX	-	-
		Mac Address-S	-	XX-XX-XX-XXXX-XX	-	-
		Latency	-	1msec	-	-
	Clock Status	-	N/A	-	-	
	Allow Discovery	-	On	-	-	
	IP Ctrl Port No	-	17300	-	-	
	IP Ctrl Ntfy	-	Off	-	-	
	Audio Level Ntfy	-	Off	-	-	
	M-cast Adrs	-	225.000.000.100	-	-	
	M-cast Port No	-	17000	-	-	
	NTP	-	Off	-	-	
NTP Adrs	-	(empty)	-	-		
NTP Port	-	00123	-	-		
Time Zone	-	00:00	-	-		
LINK Status	-	Off	-	-		
LINK Mode	-	Primary	-	-		
No.ofExtension A	-	-	-	-		
No.ofExtension B	-	-	-	-		
No.ofExtension C	-	-	-	-		
No.ofExtension D	-	-	-	-		

* ATDM-1012DANのみ表示されます。

ウェブリモートメニュー項目一覧

音声設定 -Input

Input

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
入力チャンネル1~10	チャンネル番号	CH 1~10	-	-	-
	入力タイプ切替	Analog: MIC、LINE +4dBu、LINE 0dBV、LINE -10dBV、LINE -20dBV、Dante*	MIC	✓	✓
	入力ゲイン	+20dB~+60dB -20dBu~-60dBu	+20	✓	✓
	ファントム電源 (+48V)	On、Off	Off	✓	✓
	フェーズ	On、Off	Off	✓	✓
	ローカット	On、Off	Off	✓	✓
	4バンドEQ (EQ)	On、Off	Off	✓	✓
	CMP	On、Off	Off	✓	✓
	FBS	On、Off	Off	✓	✓
	チャンネル名	(最大10文字まで)	CH 1~10	✓	✓
	チャンネル色	グリーン、イエロー、ブラウン、レッド、ピンク、ブルー、グレー、ダークグレー	グリーン	✓	✓
	チャンネルミュート (Mute)	On、Off	Off	✓	✓
	レベル	-∞、-120dB~+10dB	-∞	✓	✓
	Max Volume	On、Off	Off	✓	✓
	Min Volume	On、Off	Off	✓	✓
	Fader Group	A~H、OFF	OFF	✓	✓
	コピー	-	-	-	-
リセット	-	-	-	-	
入力チャンネル ST 1、ST 2	チャンネル番号	ST 1、ST 2	-	-	-
	入力タイプ切替	Analog: LINE 0dBV、LINE -10dBV、LINE -20dBV USB	LINE 0dBV	✓	✓
	入力ゲイン	-20dB~+20dB	0	✓	✓
	4バンドEQ (EQ)	On、Off	Off	✓	✓
	チャンネル名	(最大10文字まで)	CH ST 1、CH ST 2	✓	✓
	チャンネル色	グリーン、イエロー、ブラウン、レッド、ピンク、ブルー、グレー、ダークグレー	グリーン	✓	✓
	チャンネルミュート (Mute)	On、Off	Off	✓	✓
	レベル	-∞、-120dB~+10dB	-∞	✓	✓
	Max Volume	On、Off	Off	✓	✓
	Min Volume	On、Off	Off	✓	✓
	Fader Group	A~H、OFF	OFF	✓	✓
	コピー	-	-	-	-
	リセット	-	-	-	-
入力チャンネル SUB 1~8	チャンネル番号	SUB 1~8	-	-	-
	入力タイプ切替	OFF Analog: 1~10 Dante1~16* Bus 1	OFF	✓	✓
	ローカット	On、Off	Off	✓	✓
	チャンネル名	(最大10文字まで)	SUB 1~8	✓	✓
	チャンネル色	グリーン、イエロー、ブラウン、レッド、ピンク、ブルー、グレー、ダークグレー	グリーン	✓	✓
	チャンネルミュート (Mute)	On、Off	Off	✓	✓
	レベル	-∞、-120dB~+10dB	-∞	✓	✓
	Max Volume	On、Off	Off	✓	✓
	Min Volume	On、Off	Off	✓	✓
	Fader Group	A~H、OFF	OFF	✓	✓
	コピー	-	-	-	-
	リセット	-	-	-	-
	リンク 1&2	リンク 1&2、リンク解除 1&2	リンク解除 1&2	✓	✓
リンク 3&4	リンク 3&4、リンク解除 3&4	リンク解除 3&4	✓	✓	
リンク 5&6	リンク 5&6、リンク解除 5&6	リンク解除 5&6	✓	✓	
リンク 7&8	リンク 7&8、リンク解除 7&8	リンク解除 7&8	✓	✓	

* ATDM-1012DANのみ表示されます。

ウェブリモートメニュー項目一覧

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Feedback Suppressor Setting	CH 1~10, ST 1, ST 2	Band #1~8	Frequency	-	-	-	-
			Band	On, Off	Off	✓	✓
			Detection	Low, Mid, High	High	✓	✓
			Response	Slow, Fast	Fast	✓	✓
			Reset	On, Off	Off	-	-
			All Static	On, Off	Off	-	-
4 Band EQ Settings	モード切替			簡易モード⇄詳細モード	詳細モード	-	✓
	簡易モード	音声種類選択		High, Mid, Low	Mid	✓	✓
		トーン		Warm, Neutral, Bright	Neutral	✓	✓
	詳細モード	バンド1 有効		On, Off	On	✓	✓
		バンド1 ゲイン		-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド1 周波数		20Hz~20kHz	25	✓	✓
		バンド1 Q値		0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド1 フィルタータイプ		HPF, LSH, PEQ	PEQ	✓	✓
		バンド2 有効		On, Off	On	✓	✓
		バンド2 ゲイン		-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド2 周波数		20Hz~20kHz	63	✓	✓
		バンド2 Q値		0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド3 有効		On, Off	On	✓	✓
		バンド3 ゲイン		-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド3 周波数		20Hz~20kHz	6.3k	✓	✓
		バンド3 Q値		0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド4 有効		On, Off	On	✓	✓
		バンド4 ゲイン		-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド4 周波数		20Hz~20kHz	16k	✓	✓
		バンド4 Q値		0.3~60	0.75	✓	✓
	バンド4 フィルタータイプ		HPF, LSH, PEQ	PEQ	✓	✓	
		Flat		-	-	-	-
		EQプリセット呼び出し		-	-	✓	✓
	EQプリセット保存		-	-	✓	✓	
	リセット		-	-	-	-	
Dynamics Setting	Comp/DeEsser			Comp, DeEsser	Comp	✓	✓
	Compressor	Ratio		1:1.4, 1:2, 1:4, 1:6, 1:10, 1:∞	1:2	✓	✓
		Threshold		-60~0dB	-10	✓	✓
		Attack		0ms, 0.25ms, 0.5ms, 1ms, 2ms, 4ms, 8ms, 16ms, 32ms, 100ms	1	✓	✓
		Release		50ms, 100ms, 200ms, 400ms, 800ms, 1000ms, 2000ms	400	✓	✓
	Output	Gain		+10dB~-10dB	0	✓	✓
	DeEsser	バンド1 周波数		20Hz~20kHz	1.6k	✓	✓
		バンド1 Q値		0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド1 ゲイン		0dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド1 フィルタータイプ		HPF, LSH, PEQ	PEQ	✓	✓
		バンド2 周波数		20Hz~20kHz	1.6k	✓	✓
		バンド2 Q値		0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド2 ゲイン		0dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド2 フィルタータイプ		HPF, LSH, PEQ	PEQ	✓	✓
ローカット			On, Off	On	✓	✓	
	Listen		On, Off	Off	-	-	

ウェブリモートメニュー項目一覧

Smart Mix

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Smart Mix	Smart Mix Group			Group 1~4	Group 1	✓	✓
	Mode			Off, Gate, Gain Share	Gain Share	✓	✓
	Last Mic On			On, Off	Off	✓	✓
	Hold Time			0.1秒~10.0秒	2.5	✓	✓
	NOMA			On, Off	Off	✓	✓
	Num of Open Mics			1~10	6	✓	✓
	Priority Mode			Mode 1, Mode 2	Mode 1	✓	✓
	Fixed Threshold			On, Off	Off	✓	✓
	Threshold Level			-80~0	-50	✓	✓

AEC

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム	
AEC/NC	Mode			Off, AEC, NC	Off	✓	✓	
	AEC Reference			IN6, IN10, IN ST1, IN ST2, OUT1-8, OUT ST1, OUT ST2, External	OUT1	✓	✓	
	Send Reference for External			On, Off	Off	✓	✓	
	NC Settings	NC Attenuation Level			0dB~20dB	6	✓	✓
		NLP			On, Off	Off	✓	✓
	NLP Sensitivity			Low, Mid, High	Mid	✓	✓	

Ducker

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Ducker	Target			ST1, ST2, SUB 1/2, SUB 3/4	-	-	-
	作動			On, Off	Off	✓	✓
	Triggered by			Bus 1~4	Bus 1	✓	✓

CMP/FBS

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
CMP/FBS	IN 1~10			Off, CMP, FBS	Off	✓	✓
	OUT 1~8			Off, CMP, FBS	Off	✓	✓
	ST 1, ST 2			Off, CMP, FBS	Off	✓	✓

コピー

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
コピー				-	-	-	-

ウェブリモートメニュー項目一覧

Matrix

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム	
入力チャンネル1～10	チャンネル番号		CH 1～10	-	-	
	Bus Assign 1～12		Off, Post(SmartMix Bus), Pre	-	✓	
	Bus Assign Level		-∞, -120dB～0dB	0	✓	
	Smart Mix	SmartMix Group		G1～G4	G1	✓
		Smart Mix		Enable, Disable	Disable	✓
AEC		Enable, Disable	Disable	✓	✓	
入力チャンネル ST 1, ST 2	チャンネル番号		ST 1, ST 2	-	-	
	Bus Assign 1～12		Off, Post(SmartMix Bus), Pre	-	✓	
	Bus Assign Level		-∞, -120dB～0dB	0	✓	
	Mono Button		On, Off	Off	✓	
入力チャンネル SUB 1～8	チャンネル番号		SUB 1～8	-	-	
	Bus Assign 1～12		Off, On(Pre)	Off	✓	
Bus 1～12	Bus Stereo LINK Bus 5-6, Bus 7-8, Bus 9-10, Bus 11-12		Off, On	Off: Bus 5-6, Bus 7-8 On: Bus 9-10, Bus 11-12	✓	
	NC Bus Select		Bus 1～12	Bus 1	✓	

ウェブリモートメニュー項目一覧

音声設定 -Output

Output

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
チャンネル1~8	チャンネル番号			OUT 1~8	-	-	-
	Source			Bus 1~12, Direct Out 1~8	Bus 1~8	✓	✓
	Unity			+4dBu, 0dBV, -10dBV	+4dBu	✓	✓
	FBS			On, Off	Off	✓	✓
	EQ			On, Off	Off	✓	✓
	CMP			On, Off	Off	✓	✓
	LMT			On, Off	Off	✓	✓
	Delay	作動		On, Off	Off	✓	✓
	チャンネル名			(最大30文字まで(ASCIIコードのみ))	OUT 1~8	✓	✓
	チャンネル色			グリーン、イエロー、ブラウン、レッド、ピンク、ブルー、グレー、ダークグレー	グリーン	✓	✓
	チャンネルミュート (Mute)			On, Off	Off	✓	✓
	レベル			-∞、-120dB~+10dB	-40dB	✓	✓
	Max Volume			On, Off	Off	✓	✓
	Min Volume			On, Off	Off	✓	✓
	コピー			-	-	-	-
	リセット			-	-	-	-
	リンク 1&2			リンク 1&2、リンク解除 1&2	リンク解除 1&2	✓	✓
	リンク 3&4			リンク 3&4、リンク解除 3&4	リンク解除 3&4	✓	✓
リンク 5&6			リンク 5&6、リンク解除 5&6	リンク解除 5&6	✓	✓	
リンク 7&8			リンク 7&8、リンク解除 7&8	リンク解除 7&8	✓	✓	
チャンネル ST 1、ST 2	チャンネル番号			ST 1、ST 2	-	-	-
	Source			Bus 1/2、Bus 3/4、Bus 5/6、Bus 7/8、Bus 9/10、Bus 11/12、Direct Out 9/10	Bus 9/10、Bus 11/12	✓	✓
	Unity			0dBV、-10dBV、-33dBV	0dBV	✓	✓
	FBS			On, Off	Off	✓	✓
	EQ			On, Off	Off	✓	✓
	CMP			On, Off	Off	✓	✓
	LMT			On, Off	Off	✓	✓
	Delay	作動		On, Off	Off	✓	✓
	チャンネル名			(最大30文字まで(ASCIIコードのみ))	OUT ST 1、OUT ST 2	✓	✓
	チャンネル色			グリーン、イエロー、ブラウン、レッド、ピンク、ブルー、グレー、ダークグレー	グリーン	✓	✓
	チャンネルミュート (Mute)			On, Off	Off	✓	✓
	レベル			-∞、-120dB~+10dB	-40dB	✓	✓
	Max Volume			On, Off	Off	✓	✓
	Min Volume			On, Off	Off	✓	✓
コピー			-	-	-	-	
リセット			-	-	-	-	
Feedback Suppressor Setting	OUT 1~8、ST 1、ST 2	Band 1~8	Frequency	-	-	-	-
			Band	On, Off	Off	✓	✓
		Detection		Low, Mid, High	High	✓	✓
		Response		Slow, Fast	Fast	✓	✓
		Reset		On, Off	Off	-	-
		All Static		On, Off	Off	-	-
		Copy to 12 Band EQ		On, Off	Off		

ウェブリモートメニュー項目一覧

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム	
12 Band EQ Setting	OUT 1~8, ST 1, ST 2	バンド1 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド1 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド1 周波数	20Hz~20kHz	20	✓	✓
		バンド1 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド1 フィルタータイプ	HPF, LSH, PEQ	PEQ	✓	✓
		バンド2 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド2 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド2 周波数	20Hz~20kHz	30	✓	✓
		バンド2 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド3 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド3 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド3 周波数	20Hz~20kHz	60	✓	✓
		バンド3 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド4 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド4 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド4 周波数	20Hz~20kHz	120	✓	✓
		バンド4 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド5 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド5 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド5 周波数	20Hz~20kHz	240	✓	✓
		バンド5 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド6 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド6 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド6 周波数	20Hz~20kHz	500	✓	✓
		バンド6 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド7 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド7 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド7 周波数	20Hz~20kHz	1k	✓	✓
		バンド7 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド8 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド8 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド8 周波数	20Hz~20kHz	2k	✓	✓
		バンド8 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド9 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド9 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド9 周波数	20Hz~20kHz	4k	✓	✓
		バンド9 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド10 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド10 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド10 周波数	20Hz~20kHz	8k	✓	✓
		バンド10 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド11 有効	On, Off	On	✓	✓
		バンド11 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓
バンド11 周波数	20Hz~20kHz	16k	✓	✓		
バンド11 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓		
バンド12 有効	On, Off	On	✓	✓		
バンド12 ゲイン	-18dB~+18dB	0	✓	✓		
バンド12 周波数	20Hz~20kHz	20k	✓	✓		
バンド12 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓		
バンド12 フィルタータイプ	HPF, LSH, PEQ	PEQ	✓	✓		
	Flat	-	-	-	-	
	EQプリセット呼び出し	-	-	-	-	
	EQプリセット保存	-	-	-	-	
	リセット	-	-	-	-	

ウェブリモートメニュー項目一覧

項目名			設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Dynamics Setting	Pre/Post		Pre, Post	Post	✓	✓
	Comp/DeEsser		Comp, DeEsser	Comp	✓	✓
	Compressor	Ratio	1:1.4, 1:2, 1:4, 1:6, 1:10, 1:∞	1:2	✓	✓
		Threshold	-60~0dB	-10	✓	✓
		Attack	0ms, 0.25ms, 0.5ms, 1ms, 2ms, 4ms, 8ms, 16ms, 32ms, 100ms	1	✓	✓
		Release	50ms, 100ms, 200ms, 400ms, 800ms, 1000ms, 2000ms	400	✓	✓
	Output	Gain	+10dB~-10dB	0	✓	✓
	Limiter	Threshold	-60dB~0dB	0	✓	✓
	DeEsser	バンド1 周波数	20Hz~20kHz	1.6k	✓	✓
		バンド1 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
		バンド1 ゲイン	0dB~+18dB	0	✓	✓
		バンド1 フィルタータイプ	HPF, LSH, PEQ	PEQ	✓	✓
		バンド2 周波数	20Hz~20kHz	1.6k	✓	✓
		バンド2 Q値	0.3~60	0.75	✓	✓
バンド2 ゲイン		0dB~+18dB	0	✓	✓	
バンド2 フィルタータイプ		HPF, LSH, PEQ	PEQ	✓	✓	
ローカット		On, Off	On	✓	✓	
Listen	On, Off	Off	-	-		

USB OUT

項目名			設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
USB OUT	Bus Select	OUT 1	OFF, Bus1~12	OFF	✓	✓
		OUT 2	OFF, Bus1~12	OFF	✓	✓
	Level		-∞, -120dB~0dB	0	✓	✓

Oscillator

項目名			設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Oscillator	作動		On, Off	Off	-	-
	Source		Sine Wave, Pink Noise	Sine Wave	-	-
	Frequency		100Hz, 1kHz, 10kHz	1kHz	-	-
	Level		-∞, -120dB~0dB	-∞	-	-
	アサイン	OUT 1~8, ST 1, ST 2	Enable, Disable	Disable	-	-

CMP/FBS

項目名			設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
CMP/FBS	IN 1~10		Off, CMP, FBS	Off	✓	✓
	OUT 1~8		Off, CMP, FBS	Off	✓	✓
	ST 1, ST 2		Off, CMP, FBS	Off	✓	✓

Limiter

項目名			設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
Limiter	OUT 1~8		Off, Limiter	Off	✓	✓
	ST 1, ST 2		Off, Limiter	Off	✓	✓

コピー

項目名			設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
コピー			-	-	-	-

ウェブリモートメニュー項目一覧

設定&保守

システム設定

一般

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジャーーム
機器名称	機器名称	(最大30文字まで(ASCIIコードのみ))	ATDM-1012	-	✓
	機器ID	0~255	0	-	✓
	ヘッダーカラー	ホワイト、グリーン、イエロー、オレンジ、パープル、ブルー、シアン	ホワイト	-	✓
Audio-Technica LINKモード	Audio-Technica LINKモード	親機、子機	親機	-	✓
Front Panel Display	Error Notice	On、Off	On	-	✓

ネットワーク

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジャーーム
ネットワークコンフィグレーション*	Mode	Switched, Redundant Audio, Split	Switched	-	✓
	Latency	250usec、500usec、1msec、2msec、5msec	1msec	-	✓
Dante・音声ポート設定*	IPコンフィグ・モード (Primary)	オート、固定	-	-	✓
	IPアドレス (Primary)	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	✓
	サブネット・マスク (Primary)	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	✓
	ゲートウェイ・アドレス (Primary)	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	✓
IPコントロール・Webリモートポート設定	IPコンフィグ・モード	オート、固定	オート	-	✓
	IPアドレス	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	✓
	サブネット・マスク	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	✓
	ゲートウェイ・アドレス	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	✓
自動検出許可	作動	On、Off	On	-	✓
IPコントロール設定	ポート番号	00001~65535	17300	-	✓
	通知	On、Off	Off	-	✓
	音量通知	On、Off	Off	-	✓
	マルチキャスト・アドレス	0.0.0.0~255.255.255.255	225.0.0.100	-	✓
	マルチキャスト・ポート番号	00001~65535	17000	-	✓
NTP設定	作動	On、Off	Off	-	✓
	サーバー・アドレス	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	✓
	ポート番号	00001~65535	123	-	✓
	タイムゾーン	UTC -12:00~+14:00	UTC 0:00	-	✓
	サマータイム	On、Off	Off	-	✓
	開始日時	1/1~12/31、0:00~23:00	3/27、2:00	-	✓
	終了日時	1/1~12/31、0:00~23:00	10/30、2:00	-	✓

* ATDM-1012DANのみ表示されます。

アクセス権限

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジャーーム
Default Front Panel Mode	Default Front Panel Mode	操作者、管理者	管理者	-	✓
ログイン・パスワード	管理者パスワード	On、Off (最小4文字、最大8文字(アルファベットと数字のみ))	Off	-	✓
デバイスアクセス許可	アクセス制限	On、Off	Off	-	✓
	Permission IP 1~5	0.0.0.0~255.255.255.255	-	-	✓
	デバイスアクセス許可 (1~8)	On、Off	Off	-	✓

ウェブリモートメニュー項目一覧

オーディオ

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
オーディオシステム	ゲイン単位	dBu/dBV, dB	dB	-	✓
	ディレイ単位	ms, m, Ft	ms	-	✓
	Input PEQ/DYN Display	EQ, DYN	EQ	-	✓
	Virtual Mic モード1	Off, 天吊りマイクロホンアレイ - ES954, バウンダリーマイクロホンアレイ - ES964	Off	-	✓
	Virtual Mic モード2	Off, 天吊りマイクロホンアレイ - ES954, バウンダリーマイクロホンアレイ - ES964	Off	-	✓

フロントパネル

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
レベル	INPUT: 1~10CH, ST1, ST2 OUTPUT: 1~8CH, ST1, ST2	Enable, Disable	Enable	-	✓
ミュート	INPUT: 1~10CH, ST1, ST2 OUTPUT: 1~8CH, ST1, ST2	Enable, Disable	Enable	-	✓
LEDディマー	作動	On, Off	Off	-	✓
フロントパネル制限	プリセット呼び出し可能	On, Off	On	-	✓

ユーティリティ

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
ファームウェアアップデート		-	-	-	-
言語パック・インストール		-	-	-	-
全設定を初期化		-	-	-	-

ウェブリモートメニュー項目一覧

操作者権限

操作者用ページ

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム	
Multi Operator Page	作動	On, Off	Off	-	✓	
Array Micスイッチ連動	作動	On, Off	Off	-	✓	
フェーダー設定	Page Name	(最大30文字まで)	Page 1	✓	✓	
	Hide from List	On, Off	Off	✓	✓	
	Fader 1~8	Fader	On, Off	Off (Fader 1: On)	✓	✓
		Mute	On, Off	Off (Fader 1: On)	✓	✓
	アイコン	Mic, Aux, PC, Chat, Spk, Rec	Mic	✓	✓	
	名称	(最大10文字まで(ASCIIコードのみ))	Mic	✓	✓	
	レベル	0~100	70	✓	✓	
	Min Volume	On, Off	Off	✓	✓	
	Max Volume	On, Off	Off	✓	✓	
	アサイン	INPUT: 1-10, ST1 ST2 OUTPUT: 1-8, ST1 ST2 Fader Group: A-H	Off (INPUT 1: On)	✓	✓	
操作者用ページ制限	プリセット呼び出し	On, Off	On	✓	✓	
	プリセット番号	1~8	8	✓	✓	
	フェーダーポジション保存	On, Off	Off	✓	✓	
	ログアウトボタン	On, Off	On	✓	✓	
	Tascam Button	On, Off	On	✓	✓	
	Transport Layout	Layout 1, Layout 2	Layout 1	✓	✓	

プリセット

プリセット

項目名		設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
プリセット	プリセット名称	(最大30文字まで)	Preset 1~8	✓	✓
	起動時プリセット	1~8, Non	Non	-	✓
プリセット呼び出し連動	プリセット呼び出し連動	On, Off	On	-	✓
	Tascamプリセット呼び出し連動	On, Off	Off	-	✓

メニュー項目一覧

Partial Preset

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム	
Partial Preset	プリセット名称			(最大30文字まで)	Partial Preset 1~40	✓	✓	
Partial Preset Parameters	All Parameters			On, Off	Off	-	✓	
	Input	AEC Reference		On, Off	Off	-	✓	
		Input CH	Level/Mute		On, Off	Off	-	✓
			Smart Mix/AEC		On, Off	Off	-	✓
			Group		On, Off	Off	-	✓
	Sub input CH	Level/Mute		On, Off	Off	-	✓	
		Group		On, Off	Off	-	✓	
	Martix	NC Bus Select		On, Off	Off	-	✓	
		Input CH	Bus Assign		On, Off	Off	-	✓
		Sub Input CH	Bus Assign		On, Off	Off	-	✓
Output	Output CH	Level/Mute		On, Off	Off	-	✓	
		Group		On, Off	Off	-	✓	
操作者用ページ	Fader		Level/Mute	On, Off	Off	-	✓	

4 Band EQ ライブラリー

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
4 Band EQ ライブラリー	EQプリセット名称			(最大30文字まで)	EQ Preset 1-20	-	✓
	EQプリセット			-	-	-	-
	ライブラリー			-	-	-	-

12 Band EQ ライブラリー

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
12 Band EQ ライブラリー	EQプリセット名称			(最大30文字まで)	EQ Preset 1-20	-	✓
	EQプリセット			-	-	-	-
	ライブラリー			-	-	-	-

ログ設定

ログ設定

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
ログ設定	作動			On, Off	On	-	✓
	出力先			内部, Syslog	内部	-	✓
	ログ・ファイル			-	-	-	-

システム情報

システム情報

項目名				設定値	デフォルト値	プリセットに含まれる項目	レジューム
システム情報				-	-	-	-

故障かな?と思ったら

問題が発生した場合は、下記を確認してください。

- 接続が正しいか確認してください。
- 取扱説明書に記載されている通りに、システムを運用しているか確認してください。
- 外部機器が正しく動作しているか確認してください。本製品に接続していない状態で確認してください。
- ネットワーク機器を再起動してください。

システム上のいずれかの機器が正しく動作しない場合は、下記の項目を確認してください。

該当する項目がない場合は、当社プロフェッショナルSS課までご連絡ください。

お問い合わせの際に、ファームウェアのバージョン情報が必要な場合があります。あらかじめファームウェアのバージョンを確認してください。

本製品で確認する場合：P.16、P.19を参照してください。

ウェブリモートで確認する場合：P.53を参照してください。

ATDM-1012/ATDM-1012DAN本体

症状	原因・対策
電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
接続したマイクが機能しない。	マイクが正しく接続されているか確認してください。
	入力タイプ(MIC / LINE)はMICを選択しているか確認してください。
	コンデンサーマイクロホンを使用するとき、ファントム電源はONになっているか確認してください。
	ゲインを確認してください。
	入力レベルを確認してください。
接続したスピーカーから音が出ない。 音がひずむ。	すべての機器の接続を確認してください。
	コンデンサーマイクロホンを使用するとき、ファントム電源はONになっているか確認してください。
	ファントム電源がONの状態、ファントム電源を必要としない機器に接続していませんか? ファントム電源を必要としない機器にファントム電源を供給すると、接続機器に不具合を発生させる恐れがあります のでご注意ください。
	接続したアンプの設定を確認し、調整してください。
	バランスケーブルが破損していないか確認してください。
	バランスケーブルをしっかりと奥まで差し込んでください。
	入力端子・出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
	入力端子・出力端子のピンアサインを間違えていないか確認してください。
	入力レベル、出力レベルが小さくなっていませんか?
	ミュートになっていませんか?
音がおかしい。	入力ゲインを調整してください。
	音がこもったり、音量が不足している場合は、各イコライザーの設定値を確認してください。
ハウリングが抑えられない。	FBS(フィードバックサプレッサー)の設定を確認してください。 フィルターの数を超えるハウリングが発生している場合は、ハウリングを抑制しきれないため、スピーカーの音量を小さくしてください。

故障かな?と思ったら

ウェブリモート

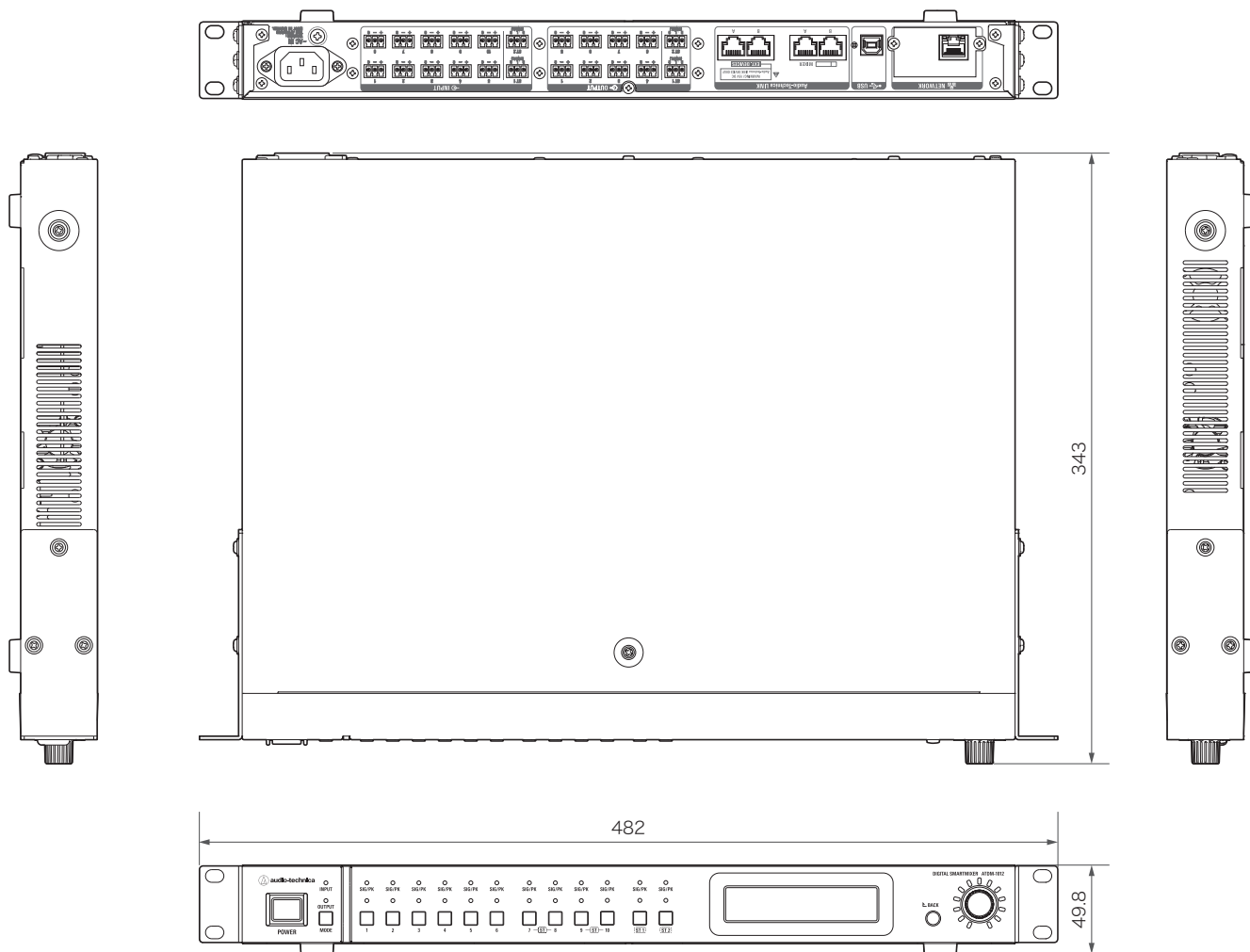
症状	原因・対策
本製品を"Locate"で認識できない。	本製品およびパソコンなどのコントロール機器の各接続を確認してください。
	本製品とパソコンなどのコントロール機器が同じネットワークに接続されているか確認してください。
	ファイヤーウォールの設定を見直してください。
ウェブリモートをiPadやタブレットなどのコントロール機器から開けない。	コントロール機器が正しいアクセスポイントに接続されているか確認してください。
	本製品と、iPadやタブレットなどのコントロール機器が同じネットワークに接続されているか確認してください。
パスワードを忘れてしまった。	以下の手順でパスワードをリセットしてください。 電源ボタンを押して本製品を起動します。 BACKボタンを押したまま、ダイヤルボタンを右に3クリック分回します。 BACKボタンを押したまま、ダイヤルボタンを左に3クリック分回します。 BACKボタンを押したまま、ダイヤルボタンを押します。 ウェブリモートのパスワードがリセットされます。 必要に応じて、再度ウェブリモートにログインして、パスワードを設定し直してください。

エラーメッセージ一覧

症状	原因	対策
Resume Data Error	レジュームデータの読み込みに失敗しました。 前回の設定、もしくはデフォルト設定で起動しました。	再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
Preset Data Error	プリセットデータの読み込みに失敗しました。 プリセットデータは、前回読み込みに成功したプリセット、もしくはデフォルト時のプリセットとなります。	再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
Library Data Error	EQライブラリーの読み込みに失敗しました。 前回の設定、もしくはデフォルト設定で起動しました。	再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
AT-Link Connection Error	Audio-Technica LINKで接続しているATDM-1012/ ATDM-1012DANとの通信に異常が発生しました。 Audio-Technica LINKの動作を停止しました。	ネットワーク接続に問題がないか確認してください。
AT-Link OFF	Audio-Technica LINKを解除し、動作を停止しました。	ネットワーク接続に問題がないか確認してください。
Detect Exceeded Link Units	ATDM-1012 / ATDM-1012DANの接続可能台数を超過しました。 Audio-Technica LINKの動作を停止しました。	接続台数を確認してください。
Detect Multi Primary Units	ATDM-1012 / ATDM-1012DANの親機が複数台検出されました。 Audio-Technica LINKの動作を停止しました。	親機を1台のみに設定してください。
Detect Ring Connection	リング接続が検出されました。 Audio-Technica LINKの動作を停止しました。	リング接続はしないでください。接続両端のATDM-1012のLINK端子は、必ずどちらか一方が接続されていない状態としてください。
Network Communication Error	ネットワーク通信に異常が発生しました。	ネットワーク接続に問題がないか確認してください。
	IPコマンド通信に異常が発生しました。	
Access from Non Permitted Device	接続を許可されていない機器から接続されました。	ネットワーク接続に問題がないか確認してください。
File Import Failed	プリセットファイルがインポートできません。	ファイルフォーマットが正しいか確認してください。 ネットワークが途中で切断された恐れがあります。
File Export Failed	プリセットファイルがエクスポートできません。	ネットワークが途中で切断された恐れがあります。
Failed	何らかのシステム要因で設定できません。	再操作してエラーが発生するか確認してください。
Failed. Please turn power OFF.	ファームウェアアップデートのときに、エラーが発生しました。	本製品を再起動し、同じエラーが発生しないか確認してください。
Data acquisition error.	ウェブリモートの操作時にデータの取得に失敗しました。	再操作してエラーが発生するか確認してください。
USB Disconnected	パソコンと正しくUSB接続されていません。	パソコンとのUSB接続が正しく接続されているか確認してください。 別のパソコンと接続して同じエラーが発生しないか確認してください。
Synchronous Disconnect	パソコンとの同期に失敗しました。	パソコンとのUSB接続が正しく接続されているか確認してください。 別のパソコンと接続して同じエラーが発生しないか確認してください。
Can not COPY	EQプリセットに空きがないため、コピーができません。	EQプリセットに空きがあるか確認してください。
	静的状態になっているバンドを、12バンドEQのバンドへコピーするに失敗しました。	12バンドEQ側のEQがOFFになっているバンドがコピー対象です。 設定を確認してください。

外形寸法図

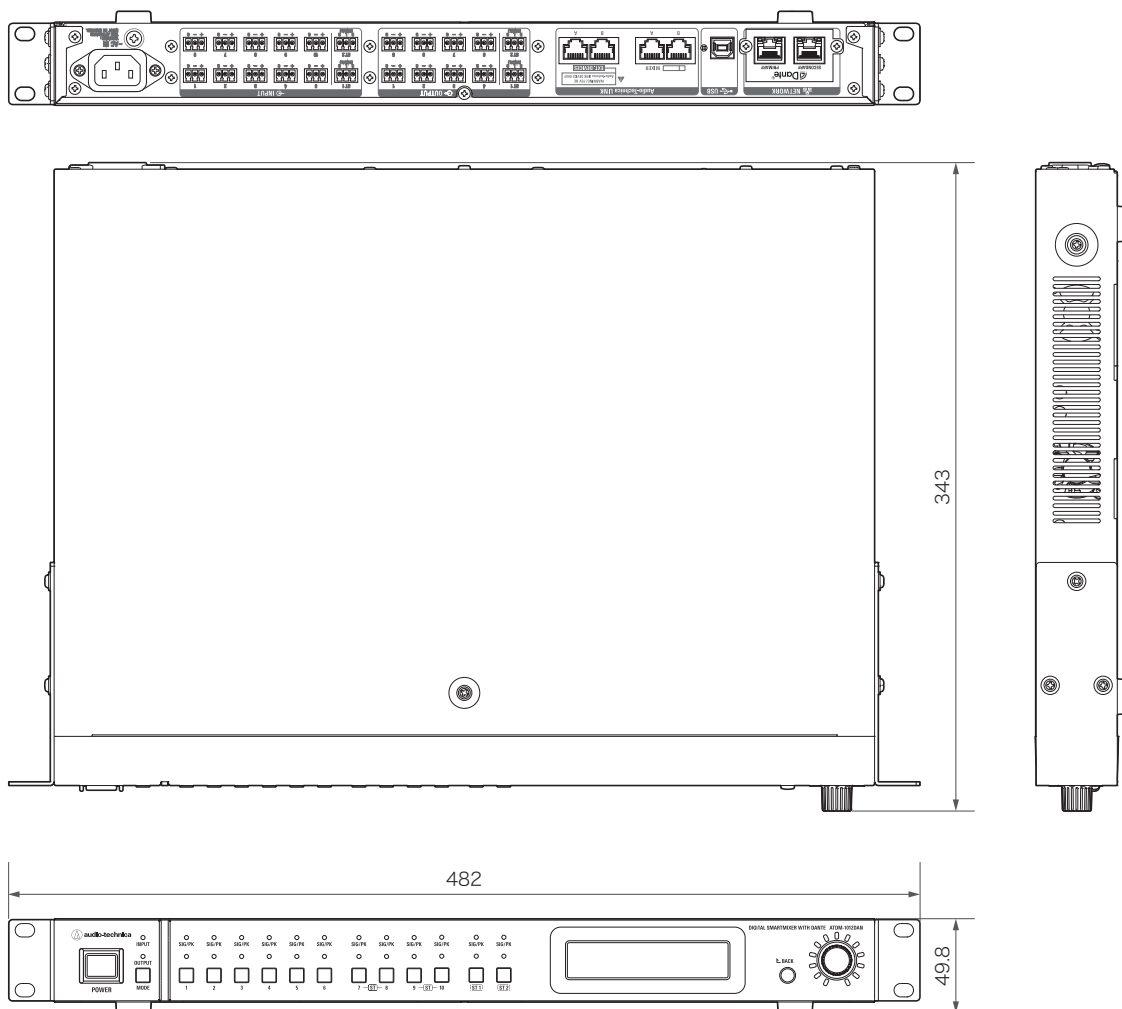
ATDM-1012



(単位: mm)

外形寸法図

ATDM-1012DAN



(単位: mm)

テクニカルデータ

一般仕様

電源	AC100V～240V 50/60Hz	
消費電力	65W	
動作温度範囲	0～40°C	
動作湿度範囲	25～85%(結露なきこと)	
外形寸法(突起部含む)	482mm×343mm×49.8mm(W×D×H)	
質量	3.6kg	
仕上げ	フロントパネル 上面/背面/側面	シルバーライン付きブラック ブラック

オーディオ

周波数特性	20Hz～20kHz(MIC -16dBu)	+1.0/-1.0dB
	20Hz～20kHz(MIC -60dBu)	+1.0/-2.0dB
	20Hz～20kHz(LINE 24dBu)	+1.0/-1.0dB
	20Hz～20kHz(LINE -40dBu)	+1.0/-2.0dB
ダイナミックレンジ	112dB以上、A-weighted・ST	
S/N比	92dB以上、A-weighted・ST	
ヘッドルーム	20dB以上	
入力換算雑音	-127dBu以下、Rs=150ohm	
同相信号除去比	80dB以上、1kHz	
残留雑音	-88dBu以下、A-weighted	
最大ゲイン	64dB	
チャンネルセパレーション	-80dB以下、1kHz ユニティ	
全高調波歪率	0.03%以下、1kHz ユニティ	
アナログ入力	MIC 最大	0dBu
	MIC ユニティ	-40dBu
	LINE 最大	+24dBu
	LINE ユニティ	+4dBu/0dBV/-10dBV/-20dBV、Switchable
	ST 最大	+20dBV
	ST ユニティ	0dBV/-10dBV/-20dBV、Switchable
アナログ出力	OUTPUT1～8最大	+24dBu/+20dBV/+10dBV
	OUTPUT1～8ユニティ	+4dBu/0dBV/-10dBV、Switchable
	OUTPUT ST 最大	+20dBV/+10dBV/-13dBV
	OUTPUT ST ユニティ	0dBV/-10dBV/-33dBV、Switchable

テクニカルデータ

その他

ファントム電源		+48V(ユーロブロック入力)
PAD(減衰レベル)		-24dB
I/Oコネクタ	MIC/LINE INPUT 1~10	ユーロブロック(3ピン)
	ST INPUT 1/2	ユーロブロック(3ピン)
	OUTPUT 1~8	ユーロブロック(3ピン)
	ST OUTPUT 1/2	ユーロブロック(3ピン)
レベルインジケータ	SIGNAL/PEAK	1 point(赤/黄/緑)
	ピーク点灯	-5~0dB
	ピークホールドタイム	2秒
リモートコントロール	IPプロトコル	RJ-45×1 pcs
	IPアドレス	192.168.33.102 (工場出荷時)
	通信速度	100Mbps
ネットワーク	ATDM-1012	ネットワーク端子
	ATDM-1012DAN	Dante Primary / Secondary 端子
リンクI/O	IPプロトコル	RJ-45×4 pcs
	通信速度	100Mbps
USB Type B	チャンネル	ステレオ入力×1ch、ステレオ出力×1ch(24bit)
	通信速度	High-speed(480Mbps)
AEC	エコー消去量	最大90dB
	テールレンゲス	最大400msec
A/Dコンバータ	解像度	24bit
	ダイナミックレンジ	115dB
D/Aコンバータ	解像度	24bit
	ダイナミックレンジ	115dB
付属品		ユーロブロックコネクタ×22、電源ケーブル

入力/出力仕様

アナログ入力仕様

入力端子	ゲイン	負荷インピーダンス	入力レベル			コネクタ	バランス/ アンバランス	
			最小値	公称値	最大値			
MIC / LINE1~10	MIC	20~60dB	1.6kΩ	-60dBu	-40dBu	-20dBu	ユーロブロック	バランス
	LINE	20~60dB	10kΩ	-40dBu	+4dBu / 0dBV / -10dBV / -20dBV	+24dBu	ユーロブロック	バランス
SRI、2(L/R)	-	10kΩ	-	-	0dBV / -10dBV / -20dBV	+20dBV	ユーロブロック	アンバランス

アナログ出力仕様

出力端子	負荷インピーダンス	出力レベル			コネクタ	バランス/ アンバランス
		最小値	公称値	最大値		
BAL 1~8	150Ω	-	+4dBu / -10dBV / 0dBV	+24dBu	ユーロブロック	バランス
UNBAL 1、2(L/R)	150Ω	-	0dBV / -10dBV / -33dBV	+20dBV	ユーロブロック	アンバランス

